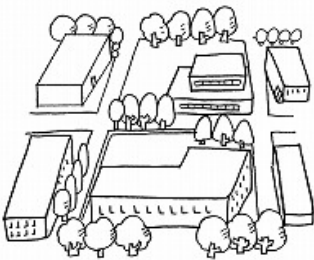


2-2 各取組の調査分析結果

県がこれまで行ってきた「宮城の将来ビジョン」で定めた33の取組について、それぞれ【認知度】・【関心度】・【重視度】・【満足度】・【特に優先すべきと思う項目】を調査・分析した結果は次のとおりです。

取組1 地域経済を力強くけん引するものづくり産業（製造業）の振興



取組概要

市場拡大が期待される分野での新製品開発や取引拡大等の支援、高度電子機械産業、自動車関連産業など経済波及効果の高い業種の企業誘致に取り組み、県内製造業の振興を目指します。

平成22年度の主な取組

- 高度電子機械産業の集積を目指し、地域企業との連携を推進するとともに、マッチング支援により、県内企業の新分野進出や取引拡大を支援しています。
- 自動車関連産業の集積を進めるため、専門のアドバイザー及び産業技術総合センターを活用した新製品の開発や技術力の向上を支援するとともに、展示商談会の開催等による取引拡大を進めています。
[成果等] 商談会開催回数 5回予定
- 県内企業のものづくり基盤技術の高度化を図るため、地域の大学、高等専門学校等と連携し、技術的な相談対応や商品化に向けた助言など、県内企業の技術力の向上を支援しています。
- 設備投資を行う場合の初期負担を軽減し、県内での設備投資を更に促進させるため、県内での工場の新設・増設を行った企業に対して企業立地奨励金制度や県税の優遇制度により支援しています。
- 産業集積の拠点形成のため、積極的な企業誘致により、これまでの第二仙台北部中核工業団地・大和リサーチパークへの大型企業等の立地に引き続き、今年度は周辺及び県北地域への関連企業の立地が決定しています。
- 各地方振興（地域）事務所等が企業のニーズを把握し、相談等へ迅速に対応するため、企業訪問を実施し、富県宮城の実現に向けた産業活動を支援しています。
[成果等] 訪問件数 1,117件(平成22年10月末現在)

【認知度】（県がこの取組を行っていたことについて、どのくらい知っているか）

<概要>

■県全体

「知っている」「ある程度知っている」を合わせた『高認知群』は58.0%、
「あまり知らない」「知らない」を合わせた『低認知群』は42.0%である。

■性別

男性の『高認知群』は64.6%で、県全体より6.6ポイント高い。

女性の『高認知群』は52.0%で、県全体より6.0ポイント低い。

■年齢別

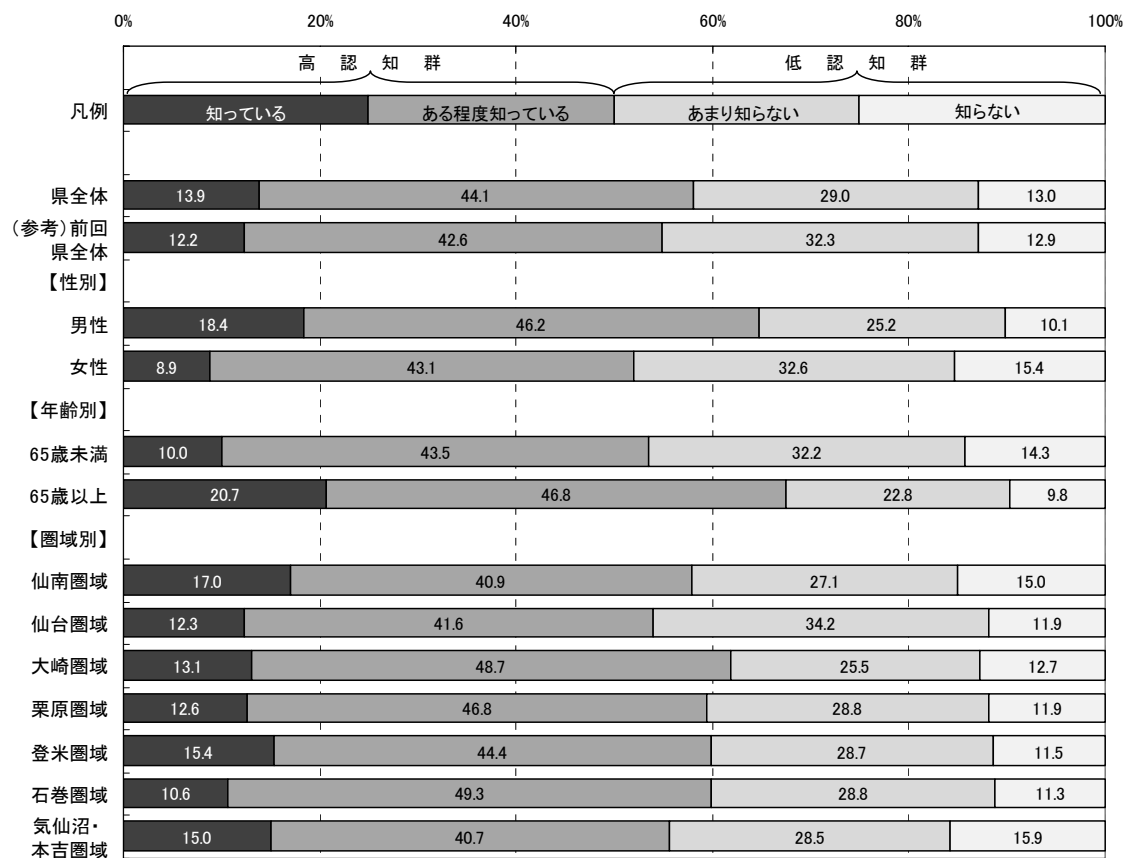
65歳未満の『高認知群』は53.5%で、県全体より4.5ポイント低い。

65歳以上の『高認知群』は67.5%で、県全体より9.5ポイント高い。

■圏域別

各圏域の『高認知群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-1-1 取組1 認知度割合(属性別)



取組1 「地域経済を力強くけん引する
ものづくり産業（製造業）の振興」

表2-2-1-1 取組1 認知度集計(属性別)

		有 効					欠 損 値	合 計
		知っている	ある程度 知っている	あまり 知らない	知らない	合計		
県全体	度数	274	872	574	256	1,976	77	2,053
	パーセント	13.9	44.1	29.0	13.0	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	231	804	610	243	1,888	56	1,944
	パーセント	12.2	42.6	32.3	12.9	100.0		
【性別】								
男性	度数	169	424	231	93	917	32	949
	パーセント	18.4	46.2	25.2	10.1	100.0		
女性	度数	88	428	324	153	993	38	1,031
	パーセント	8.9	43.1	32.6	15.4	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	128	555	411	182	1,276	21	1,297
	パーセント	10.0	43.5	32.2	14.3	100.0		
65歳以上	度数	129	292	142	61	624	49	673
	パーセント	20.7	46.8	22.8	9.8	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	42	101	67	37	247	3	250
	パーセント	17.0	40.9	27.1	15.0	100.0		
仙台圏域	度数	33	112	92	32	269	7	276
	パーセント	12.3	41.6	34.2	11.9	100.0		
大崎圏域	度数	35	130	68	34	267	20	287
	パーセント	13.1	48.7	25.5	12.7	100.0		
栗原圏域	度数	35	130	80	33	278	9	287
	パーセント	12.6	46.8	28.8	11.9	100.0		
登米圏域	度数	43	124	80	32	279	5	284
	パーセント	15.4	44.4	28.7	11.5	100.0		
石巻圏域	度数	29	135	79	31	274	5	279
	パーセント	10.6	49.3	28.8	11.3	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	37	100	70	39	246	10	256
	パーセント	15.0	40.7	28.5	15.9	100.0		

【関心度】（県が行ってきたこの取組の内容について、どのくらい関心があるか）

<概要>

■ 県全体

「関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた『高関心群』は70.3%、
「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた『低関心群』は29.7%である。

■ 性別

男性の『高関心群』は77.2%で、県全体より6.9ポイント高い。

女性の『高関心群』は64.0%で、県全体より6.3ポイント低い。

■ 年齢別

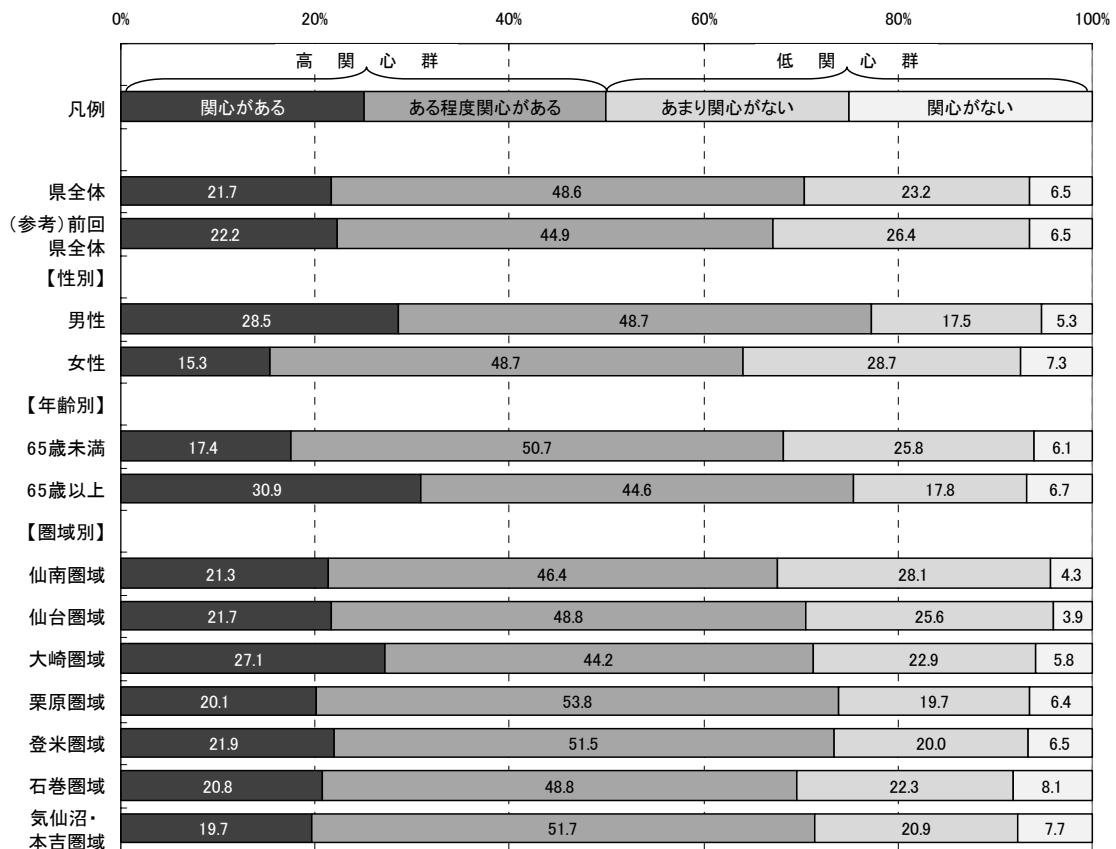
65歳未満の『高関心群』は68.1%で、県全体より2.2ポイント低い。

65歳以上の『高関心群』は75.5%で、県全体より5.2ポイント高い。

■ 圏域別

各圏域の『高関心群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-1-2 取組1 関心度割合(属性別)



取組1 「地域経済を力強くけん引する
ものづくり産業（製造業）の振興」

表2-2-1-2 取組1 関心度集計(属性別)

		有 効					欠 損 値	合 計
		関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	関心がない	合計		
県全体	度数	408	912	436	122	1,878	175	2,053
	パーセント	21.7	48.6	23.2	6.5	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	402	813	477	118	1,810	134	1,944
	パーセント	22.2	44.9	26.4	6.5	100.0		
【性別】								
男性	度数	248	423	152	46	869	80	949
	パーセント	28.5	48.7	17.5	5.3	100.0		
女性	度数	145	460	271	69	945	86	1,031
	パーセント	15.3	48.7	28.7	7.3	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	216	628	319	75	1,238	59	1,297
	パーセント	17.4	50.7	25.8	6.1	100.0		
65歳以上	度数	175	253	101	38	567	106	673
	パーセント	30.9	44.6	17.8	6.7	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	50	109	66	10	235	15	250
	パーセント	21.3	46.4	28.1	4.3	100.0		
仙台圏域	度数	55	124	65	10	254	22	276
	パーセント	21.7	48.8	25.6	3.9	100.0		
大崎圏域	度数	70	114	59	15	258	29	287
	パーセント	27.1	44.2	22.9	5.8	100.0		
栗原圏域	度数	53	142	52	17	264	23	287
	パーセント	20.1	53.8	19.7	6.4	100.0		
登米圏域	度数	57	134	52	17	260	24	284
	パーセント	21.9	51.5	20.0	6.5	100.0		
石巻圏域	度数	54	127	58	21	260	19	279
	パーセント	20.8	48.8	22.3	8.1	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	46	121	49	18	234	22	256
	パーセント	19.7	51.7	20.9	7.7	100.0		

【重視度】（県がこの取組を今後行っていくことが、どのくらい重要と考えるか）

<概要>

■県全体

「重要」「やや重要」を合わせた『高重視群』は70.3%、「あまり重要ではない」「重要ではない」を合わせた『低重視群』は14.7%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『高重視群』が82.6%、『低重視群』は17.3%となる。

■性別

男性の『高重視群』は75.6%で、県全体より5.3ポイント高い。

女性の『高重視群』は65.4%で、県全体より4.9ポイント低い。

■年齢別

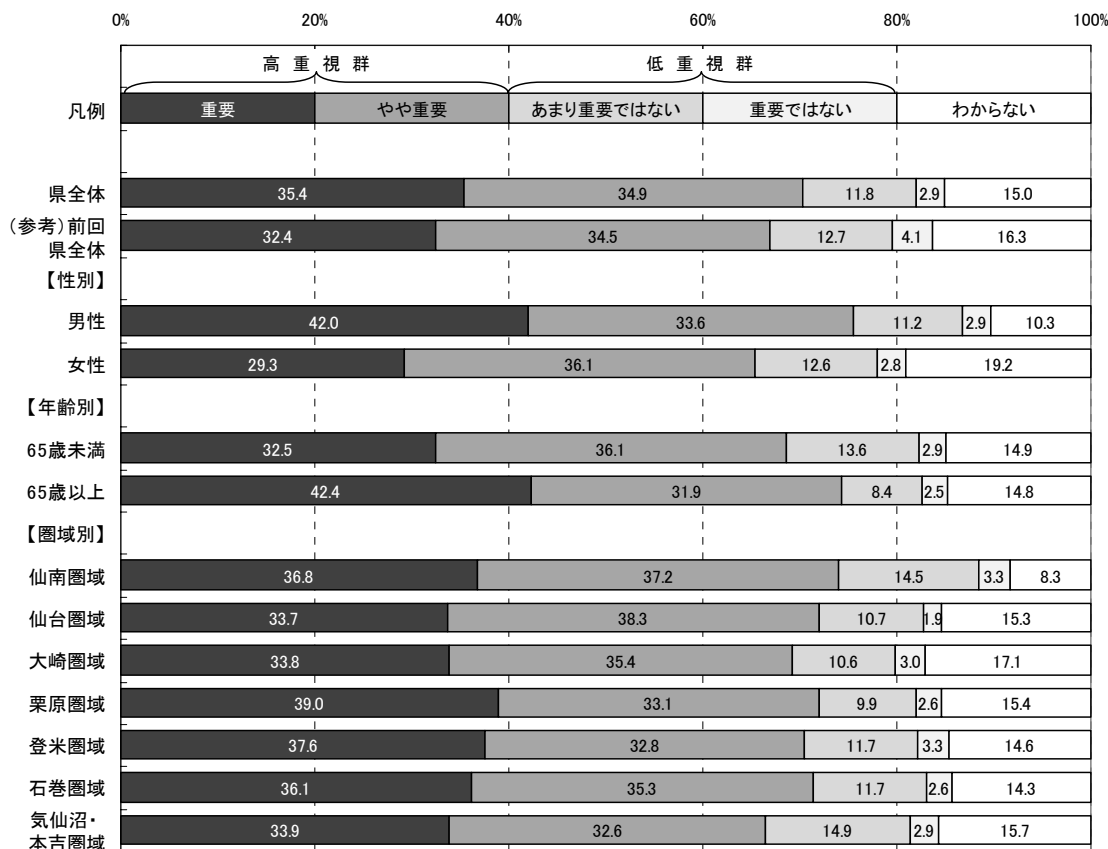
65歳未満の『高重視群』は68.6%で、県全体より1.7ポイント低い。

65歳以上の『高重視群』は74.3%で、県全体より4.0ポイント高い。

■圏域別

各圏域の『高重視群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-1-3 取組1 重視度割合(属性別)



取組1 「地域経済を力強くけん引する
ものづくり産業（製造業）の振興」

表2-2-1-3 取組1 重視度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		重要	やや重要	あまり重要 ではない	重要では ない	わからない			
県全体	度数	683	673	228	56	290	1,930	123	2,053
	パーセント	35.4	34.9	11.8	2.9	15.0	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	41.6	41.0	13.9	3.4		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	599	637	235	76	302	1,849	95	1,944
	パーセント	32.4	34.5	12.7	4.1	16.3	100.0		
【性別】									
男性	度数	378	302	101	26	93	900	49	949
	パーセント	42.0	33.6	11.2	2.9	10.3	100.0		
女性	度数	283	349	122	27	185	966	65	1,031
	パーセント	29.3	36.1	12.6	2.8	19.2	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	410	456	172	36	188	1,262	35	1,297
	パーセント	32.5	36.1	13.6	2.9	14.9	100.0		
65歳以上	度数	252	190	50	15	88	595	78	673
	パーセント	42.4	31.9	8.4	2.5	14.8	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	89	90	35	8	20	242	8	250
	パーセント	36.8	37.2	14.5	3.3	8.3	100.0		
仙台圏域	度数	88	100	28	5	40	261	15	276
	パーセント	33.7	38.3	10.7	1.9	15.3	100.0		
大崎圏域	度数	89	93	28	8	45	263	24	287
	パーセント	33.8	35.4	10.6	3.0	17.1	100.0		
栗原圏域	度数	106	90	27	7	42	272	15	287
	パーセント	39.0	33.1	9.9	2.6	15.4	100.0		
登米圏域	度数	103	90	32	9	40	274	10	284
	パーセント	37.6	32.8	11.7	3.3	14.6	100.0		
石巻圏域	度数	96	94	31	7	38	266	13	279
	パーセント	36.1	35.3	11.7	2.6	14.3	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	82	79	36	7	38	242	14	256
	パーセント	33.9	32.6	14.9	2.9	15.7	100.0		

【満足度】 （県が行ってきたこの取組について、どのくらい満足しているか）

<概要>

■県全体

「満足」「やや満足」を合わせた『満足群』は49.2%、「やや不満」「不満」を合わせた『不満群』は22.9%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『満足群』が68.3%、『不満群』は31.7%となる。

また、前回の『満足群』は43.4%で、今回は前回より5.8ポイント高い。

■性別

男性の『満足群』は55.2%で、県全体より6.0ポイント高い。

女性の『満足群』は43.7%で、県全体より5.5ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『満足群』は43.9%で、県全体より5.3ポイント低い。

65歳以上の『満足群』は60.7%で、県全体より11.5ポイント高い。

■圏域別

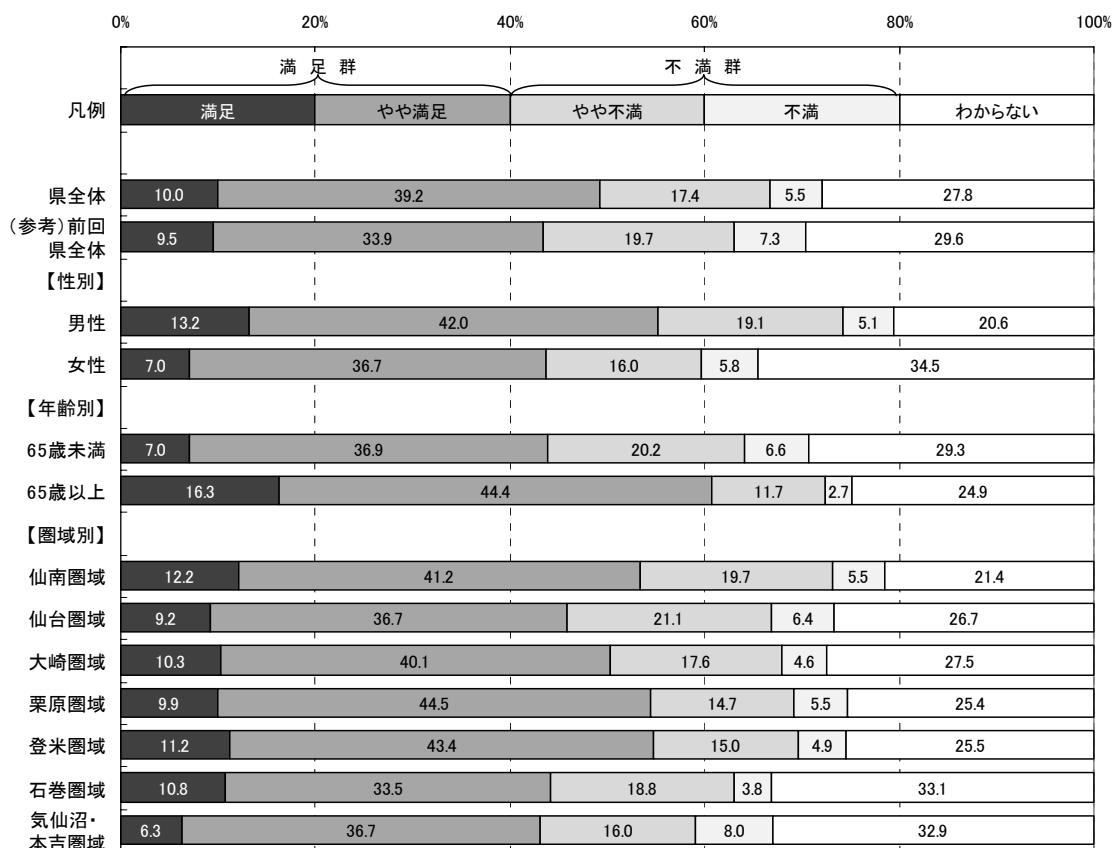
栗原圏域の『満足群』は54.4%で、県全体より5.2ポイント高い。

登米圏域の『満足群』は54.6%で、県全体より5.4ポイント高い。

気仙沼・本吉圏域の『満足群』は43.0%で、県全体より6.2ポイント低い。

その他の圏域の『満足群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-1-4 取組1 満足度割合(属性別)



取組1 「地域経済を力強くけん引する
ものづくり産業（製造業）の振興」

表2-2-1-4 取組1 満足度集計(属性別)

		有 効						欠 損 値	合 計
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	合計		
県全体	度数	190	744	330	104	528	1,896	157	2,053
	パーセント	10.0	39.2	17.4	5.5	27.8	100.0		
	「わからない」を除くパーセント	13.9	54.4	24.1	7.6		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	172	617	359	133	538	1,819	125	1,944
	パーセント	9.5	33.9	19.7	7.3	29.6	100.0		
【性別】									
男性	度数	116	369	168	45	181	879	70	949
	パーセント	13.2	42.0	19.1	5.1	20.6	100.0		
女性	度数	67	351	153	55	330	956	75	1,031
	パーセント	7.0	36.7	16.0	5.8	34.5	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	87	456	250	82	362	1,237	60	1,297
	パーセント	7.0	36.9	20.2	6.6	29.3	100.0		
65歳以上	度数	96	262	69	16	147	590	83	673
	パーセント	16.3	44.4	11.7	2.7	24.9	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	29	98	47	13	51	238	12	250
	パーセント	12.2	41.2	19.7	5.5	21.4	100.0		
仙台圏域	度数	23	92	53	16	67	251	25	276
	パーセント	9.2	36.7	21.1	6.4	26.7	100.0		
大崎圏域	度数	27	105	46	12	72	262	25	287
	パーセント	10.3	40.1	17.6	4.6	27.5	100.0		
栗原圏域	度数	27	121	40	15	69	272	15	287
	パーセント	9.9	44.5	14.7	5.5	25.4	100.0		
登米圏域	度数	30	116	40	13	68	267	17	284
	パーセント	11.2	43.4	15.0	4.9	25.5	100.0		
石巻圏域	度数	28	87	49	10	86	260	19	279
	パーセント	10.8	33.5	18.8	3.8	33.1	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	15	87	38	19	78	237	19	256
	パーセント	6.3	36.7	16.0	8.0	32.9	100.0		

【特に優先すべきと思う項目】

取組1に関し、目標とする宮城の姿を目指して、県が下記の項目の中で今後特に優先すべきと思う項目について調査した。（複数回答可）

- ア 半導体製造装置・太陽電池製造装置，医療・健康機器，エネルギーデバイス，航空機などの市場における県内企業の取引の創出及び拡大促進
- イ 東北各県と連携して関東・東海圏域で自動車関連産業の商談会を開催するなど，受注機会の拡大促進
- ウ 自動車関連産業への新規参入と取引拡大を進めるため，県内製造業の技術力の向上や設備投資への支援や隣接県の試験研究機関との連携による技術開発への支援
- エ 太陽光発電や環境対応車など市場拡大が期待される「クリーンエネルギー産業」の積極的な誘致，技術開発や製品開発への取組支援
- オ 経済波及効果や雇用拡大への貢献が大きい重点産業などを中心とした，地域経済の中核となる企業及びその関連企業の戦略的な誘致促進
- カ みやぎ産業振興機構などの産業支援機関と連携して行う，県内製造業の技術力，営業力，販売力などの強化への支援

（参考：目標とする宮城の姿）

- 高度電子機械産業，自動車関連産業の集積が，他産業や雇用に大きな波及効果をもたらすなど，地域経済のけん引役として県内製造業を支えています。
- 地域経済の活性化に寄与する大規模な企業や，成長市場関連の企業など，国内外からの企業立地が進んでいます。

<概要>

■県全体及び属性別（性別・年齢別・圏域別）の優先順位第1位から第3位までは以下のとおり。

	◆県全体	■性別		■年齢別	
		男性	女性	65歳未満	65歳以上
第1位：	オ	オ	カ	オ	カ
第2位：	カ	カ	オ	カ	オ
第3位：	エ	エ	エ	エ	ア

	■圏域別						
	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
第1位：	オカ	エ	オ	オ	オ	オ	カ
第2位：	-	カ	カ	カ	カ	カ	オ
第3位：	エ	オ	エ	ア	ア	エ	アエ

※属性別の優先順位が県全体と異なる場合，項目記号を網掛けしている。

図2-2-1-5 取組1 特に優先すべきと思う項目回答数(県全体)

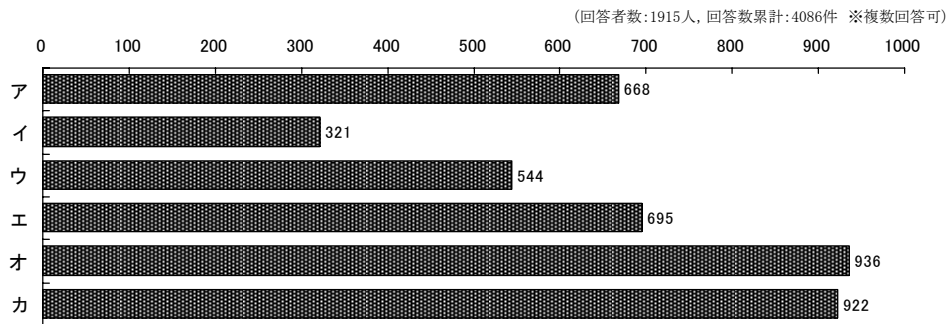
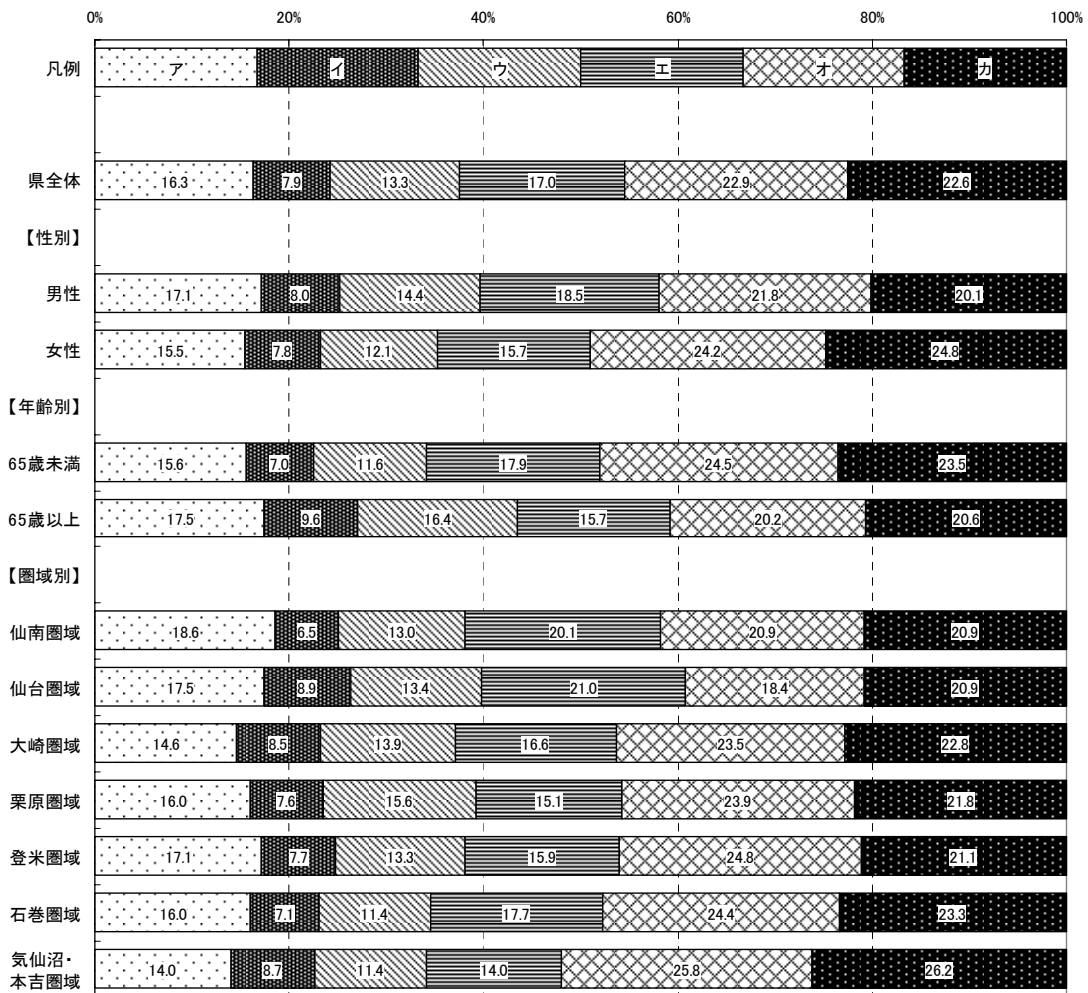


図2-2-1-6 取組1 特に優先すべきと思う項目割合(属性別)



※本図は、回答数累計に占める各項目の回答数の割合を属性別に示したものです。

取組1 「地域経済を力強くけん引する
ものづくり産業（製造業）の振興」

取組2 「産学官の連携による高度技術産業の集積促進」



取組概要

高度技術産業の創出を目指した企業と大学等との連携による技術開発を活発化するとともに、特許等の活用促進・新製品の開発支援を行うことによって、競争力の高い製品を持つ企業や独自技術を持つ企業の集積促進を目指します。

平成22年度の主な取組

- 平成20年度に「みやぎ高度電子機械産業振興協議会」を設立し、産学連携を基礎とした高成長・高付加価値市場への県内企業の新規参入を支援しています。
[成果等] みやぎ高度電子機械産業振興協議会会員数 291企業・団体(平成22年10月末現在)
- 今後、高い成長が見込まれる、半導体製造装置・太陽電池製造装置、医療・健康機器、エネルギーデバイス、航空機における市場・技術分野の研究活動として、新規参入に必要な市場・技術特性を学ぶセミナーの開催や取引拡大につながる企業マッチングの取組を進めています。
[成果等] セミナー開催回数 20回予定
- 県内の中小企業や生産者が、知的財産の重要性を認識し、競争力の強化と経営の持続的発展を進めていけるよう、セミナーの開催やアドバイザーによる支援活動等を行っています。
[成果等] セミナー開催回数 10回予定
- 学術機関等の技術を活用しながら、産学連携のもと行われる共同研究に対する積極的な支援を展開し、競争力のある新事業の創出を促進するとともに、企業等と連携し、研究開発や技術移転を行い、地域企業の高付加価値製品の開発や実用化を支援しています。

【認知度】 (県がこの取組を行っていたことについて、どのくらい知っているか)

<概要>

■県全体

「知っている」「ある程度知っている」を合わせた『高認知群』は30.6%、
「あまり知らない」「知らない」を合わせた『低認知群』は69.4%である。

■性別

男性の『高認知群』は36.5%で、県全体より5.9ポイント高い。

女性の『高認知群』は24.4%で、県全体より6.2ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『高認知群』は23.9%で、県全体より6.7ポイント低い。

65歳以上の『高認知群』は43.3%で、県全体より12.7ポイント高い。

■圏域別

各圏域の『高認知群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-2-1 取組2 認知度割合(属性別)

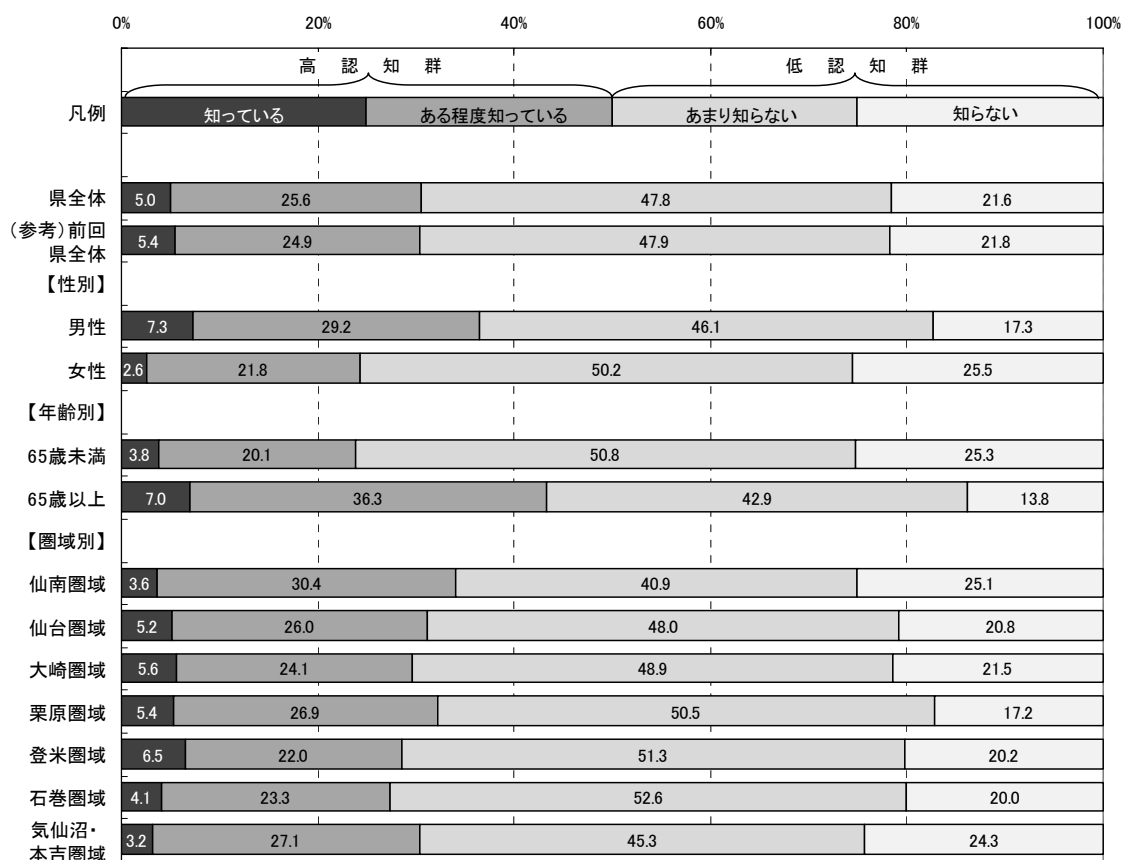


表2-2-2-1 取組2 認知度集計(属性別)

		有 効					欠 損 値	合 計
		知っている	ある程度 知っている	あまり 知らない	知らない	合計		
県全体	度数	98	506	945	428	1,977	76	2,053
	パーセント	5.0	25.6	47.8	21.6	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	102	470	903	410	1,885	59	1,944
	パーセント	5.4	24.9	47.9	21.8	100.0		
【性別】								
男性	度数	67	268	423	159	917	32	949
	パーセント	7.3	29.2	46.1	17.3	100.0		
女性	度数	26	216	498	253	993	38	1,031
	パーセント	2.6	21.8	50.2	25.5	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	49	256	648	322	1,275	22	1,297
	パーセント	3.8	20.1	50.8	25.3	100.0		
65歳以上	度数	44	227	268	86	625	48	673
	パーセント	7.0	36.3	42.9	13.8	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	9	75	101	62	247	3	250
	パーセント	3.6	30.4	40.9	25.1	100.0		
仙台圏域	度数	14	70	129	56	269	7	276
	パーセント	5.2	26.0	48.0	20.8	100.0		
大崎圏域	度数	15	65	132	58	270	17	287
	パーセント	5.6	24.1	48.9	21.5	100.0		
栗原圏域	度数	15	75	141	48	279	8	287
	パーセント	5.4	26.9	50.5	17.2	100.0		
登米圏域	度数	18	61	142	56	277	7	284
	パーセント	6.5	22.0	51.3	20.2	100.0		
石巻圏域	度数	11	63	142	54	270	9	279
	パーセント	4.1	23.3	52.6	20.0	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	8	67	112	60	247	9	256
	パーセント	3.2	27.1	45.3	24.3	100.0		

【関心度】 (県が行ってきたこの取組の内容について、どのくらい関心があるか)

<概要>

■県全体

「関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた『高関心群』は53.3%、
「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた『低関心群』は46.7%である。

■性別

男性の『高関心群』は61.3%で、県全体より8.0ポイント高い。
女性の『高関心群』は46.2%で、県全体より7.1ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『高関心群』は48.2%で、県全体より5.1ポイント低い。
65歳以上の『高関心群』は65.0%で、県全体より11.7ポイント高い。

■圏域別

各圏域の『高関心群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-2-2 取組2 関心度割合(属性別)

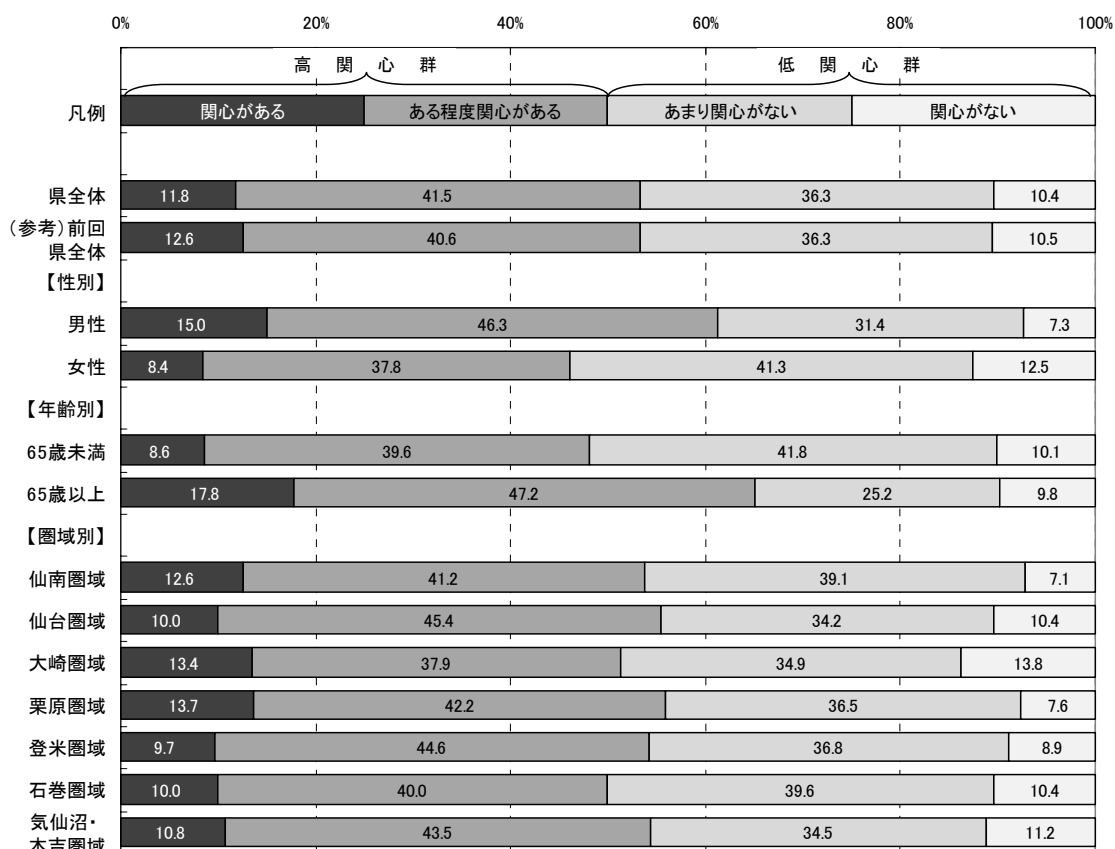


表2-2-2-2 取組2 関心度集計(属性別)

		有 効					欠 損 値	合 計
		関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	関心がない	合計		
県全体	度数	223	784	687	197	1,891	162	2,053
	パーセント	11.8	41.5	36.3	10.4	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	229	737	658	191	1,815	129	1,944
	パーセント	12.6	40.6	36.3	10.5	100.0		
【性別】								
男性	度数	131	404	274	64	873	76	949
	パーセント	15.0	46.3	31.4	7.3	100.0		
女性	度数	80	362	396	120	958	73	1,031
	パーセント	8.4	37.8	41.3	12.5	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	106	490	517	125	1,238	59	1,297
	パーセント	8.6	39.6	41.8	10.1	100.0		
65歳以上	度数	104	275	147	57	583	90	673
	パーセント	17.8	47.2	25.2	9.8	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	30	98	93	17	238	12	250
	パーセント	12.6	41.2	39.1	7.1	100.0		
仙台圏域	度数	26	118	89	27	260	16	276
	パーセント	10.0	45.4	34.2	10.4	100.0		
大崎圏域	度数	35	99	91	36	261	26	287
	パーセント	13.4	37.9	34.9	13.8	100.0		
栗原圏域	度数	36	111	96	20	263	24	287
	パーセント	13.7	42.2	36.5	7.6	100.0		
登米圏域	度数	26	120	99	24	269	15	284
	パーセント	9.7	44.6	36.8	8.9	100.0		
石巻圏域	度数	26	104	103	27	260	19	279
	パーセント	10.0	40.0	39.6	10.4	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	25	101	80	26	232	24	256
	パーセント	10.8	43.5	34.5	11.2	100.0		

【重視度】 (県がこの取組を今後行っていくことが、どのくらい重要と考えるか)

<概要>

■県全体

「重要」「やや重要」を合わせた『高重視群』は57.2%、「あまり重要ではない」「重要ではない」を合わせた『低重視群』は20.0%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『高重視群』が74.1%、『低重視群』は25.9%となる。

■性別

男性の『高重視群』は63.4%で、県全体より6.2ポイント高い。

女性の『高重視群』は51.5%で、県全体より5.7ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『高重視群』は53.9%で、県全体より3.3ポイント低い。

65歳以上の『高重視群』は64.7%で、県全体より7.5ポイント高い。

■圏域別

各圏域の『高重視群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-2-3 取組2 重視度割合(属性別)

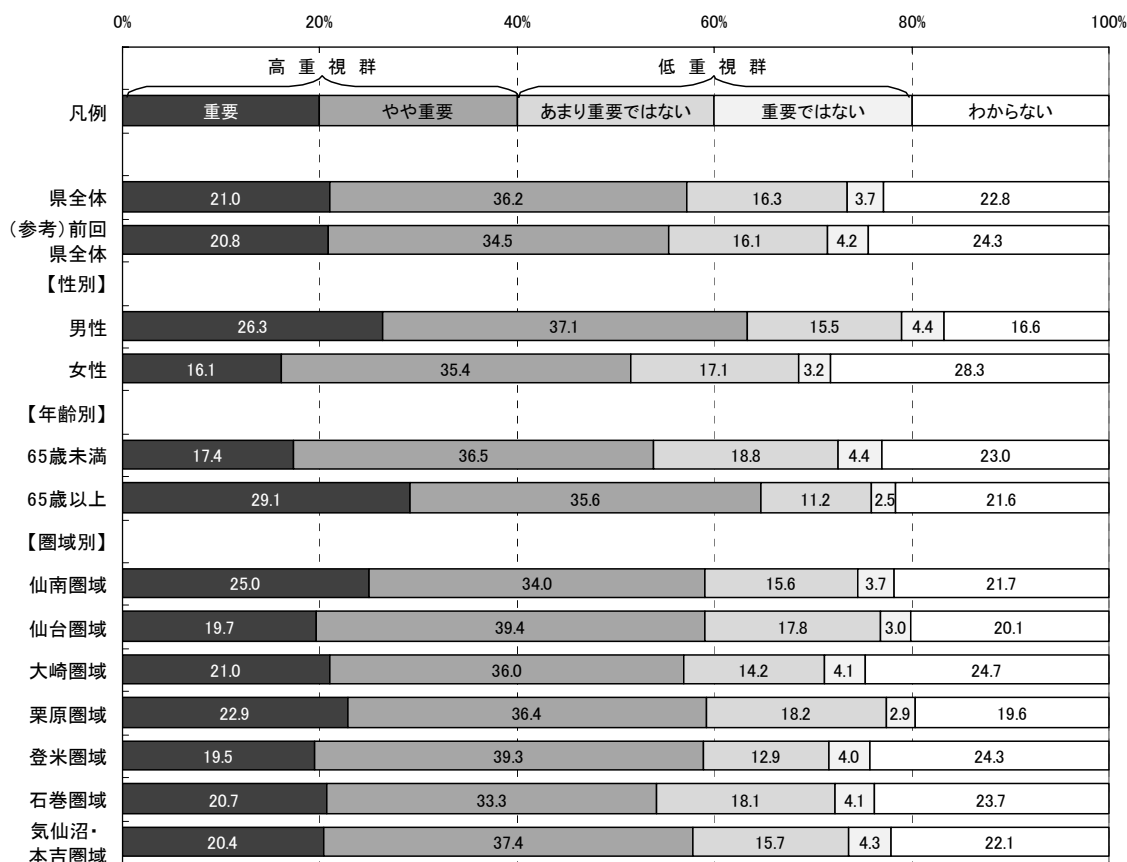


表2-2-2-3 取組2 重視度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		重要	やや重要	あまり重要 ではない	重要では ない	わからない			
県全体	度数	407	700	315	72	442	1,936	117	2,053
	パーセント	21.0	36.2	16.3	3.7	22.8	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	27.2	46.9	21.1	4.8		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	384	636	297	77	448	1,842	102	1,944
	パーセント	20.8	34.5	16.1	4.2	24.3	100.0		
【性別】									
男性	度数	237	334	140	40	150	901	48	949
	パーセント	26.3	37.1	15.5	4.4	16.6	100.0		
女性	度数	157	344	166	31	275	973	58	1,031
	パーセント	16.1	35.4	17.1	3.2	28.3	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	220	462	238	56	291	1,267	30	1,297
	パーセント	17.4	36.5	18.8	4.4	23.0	100.0		
65歳以上	度数	174	213	67	15	129	598	75	673
	パーセント	29.1	35.6	11.2	2.5	21.6	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	61	83	38	9	53	244	6	250
	パーセント	25.0	34.0	15.6	3.7	21.7	100.0		
仙台圏域	度数	52	104	47	8	53	264	12	276
	パーセント	19.7	39.4	17.8	3.0	20.1	100.0		
大崎圏域	度数	56	96	38	11	66	267	20	287
	パーセント	21.0	36.0	14.2	4.1	24.7	100.0		
栗原圏域	度数	63	100	50	8	54	275	12	287
	パーセント	22.9	36.4	18.2	2.9	19.6	100.0		
登米圏域	度数	53	107	35	11	66	272	12	284
	パーセント	19.5	39.3	12.9	4.0	24.3	100.0		
石巻圏域	度数	56	90	49	11	64	270	9	279
	パーセント	20.7	33.3	18.1	4.1	23.7	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	48	88	37	10	52	235	21	256
	パーセント	20.4	37.4	15.7	4.3	22.1	100.0		

【満足度】 (県が行ってきたこの取組について、どのくらい満足しているか)

<概要>

■ 県全体

「満足」「やや満足」を合わせた『満足群』は38.1%、「やや不満」「不満」を合わせた『不満群』は21.5%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『満足群』が63.9%、『不満群』は36.1%となる。

■ 性別

男性の『満足群』は42.9%で、県全体より4.8ポイント高い。

女性の『満足群』は33.2%で、県全体より4.9ポイント低い。

■ 年齢別

65歳未満の『満足群』は31.5%で、県全体より6.6ポイント低い。

65歳以上の『満足群』は51.9%で、県全体より13.8ポイント高い。

■ 圏域別

栗原圏域の『満足群』は43.5%で、県全体より5.4ポイント高い。

石巻圏域の『満足群』は32.5%で、県全体より5.6ポイント低い。

その他の圏域の『満足群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-2-4 取組2 満足度割合(属性別)

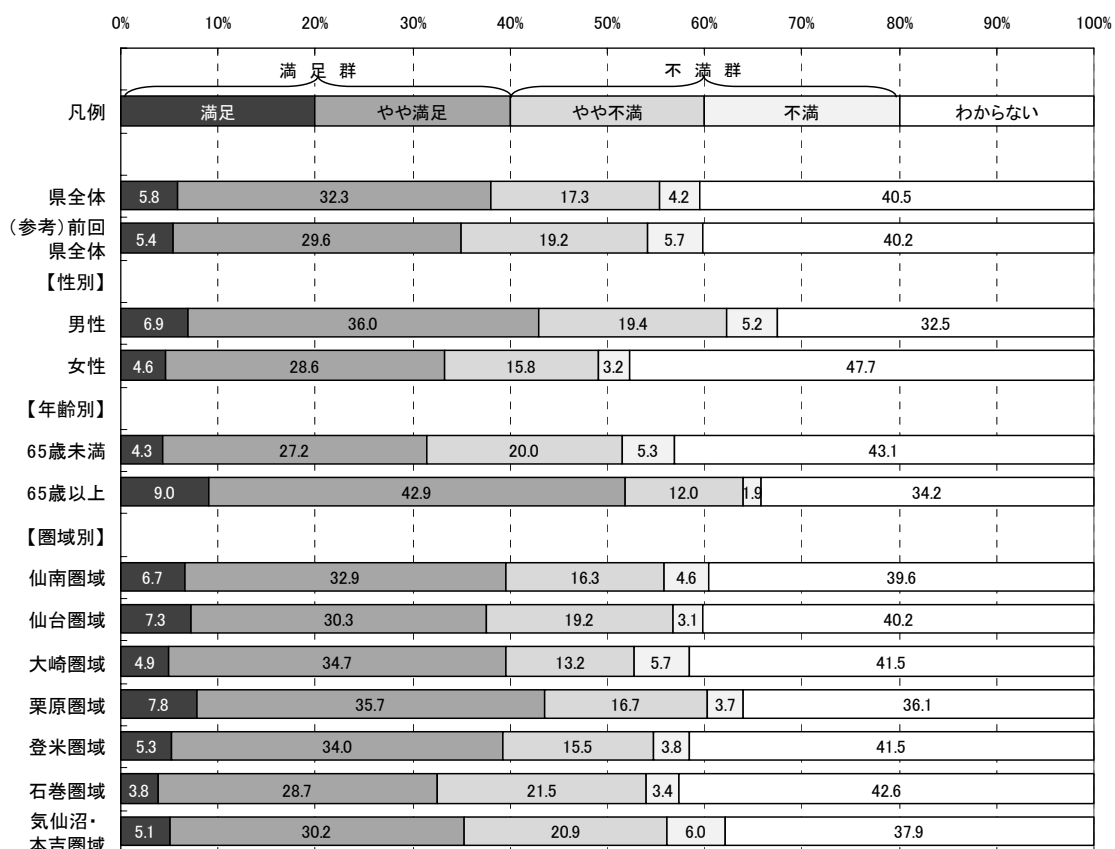


表2-2-2-4 取組2 満足度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない			
県全体	度数	110	615	329	81	771	1,906	147	2,053
	パーセント	5.8	32.3	17.3	4.2	40.5	100.0		
	「わからない」を除くパーセント	9.7	54.2	29.0	7.1		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	98	538	349	103	731	1,819	125	1,944
	パーセント	5.4	29.6	19.2	5.7	40.2	100.0		
【性別】									
男性	度数	61	316	170	46	285	878	71	949
	パーセント	6.9	36.0	19.4	5.2	32.5	100.0		
女性	度数	45	277	153	31	462	968	63	1,031
	パーセント	4.6	28.6	15.8	3.2	47.7	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	54	339	250	66	538	1,247	50	1,297
	パーセント	4.3	27.2	20.0	5.3	43.1	100.0		
65歳以上	度数	53	253	71	11	202	590	83	673
	パーセント	9.0	42.9	12.0	1.9	34.2	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	16	79	39	11	95	240	10	250
	パーセント	6.7	32.9	16.3	4.6	39.6	100.0		
仙台圏域	度数	19	79	50	8	105	261	15	276
	パーセント	7.3	30.3	19.2	3.1	40.2	100.0		
大崎圏域	度数	13	92	35	15	110	265	22	287
	パーセント	4.9	34.7	13.2	5.7	41.5	100.0		
栗原圏域	度数	21	96	45	10	97	269	18	287
	パーセント	7.8	35.7	16.7	3.7	36.1	100.0		
登米圏域	度数	14	90	41	10	110	265	19	284
	パーセント	5.3	34.0	15.5	3.8	41.5	100.0		
石巻圏域	度数	10	76	57	9	113	265	14	279
	パーセント	3.8	28.7	21.5	3.4	42.6	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	12	71	49	14	89	235	21	256
	パーセント	5.1	30.2	20.9	6.0	37.9	100.0		

【特に優先すべきと思う項目】

取組2に関し、目標とする宮城の姿を目指して、県が下記の項目の中で今後特に優先すべきと思う項目について調査した。(複数回答可)

- ア 高度電子機械産業の集積促進を目指した、企業と大学などの人材や技術の相互交流、共同研究、ネットワークづくりなどの推進
- イ 半導体製造装置・太陽電池製造装置、医療・健康機器、エネルギーデバイス、航空機の重点4分野における取引の創出・拡大促進
- ウ 大学や県内企業などによるプロジェクトに対する、国などの大規模な資金を導入するための支援
- エ 知的財産、未利用特許を持つ県内企業や大学などと、それを必要とする企業の仲介や、そのような技術を利用して行う新製品の開発支援

(参考: 目標とする宮城の姿)

- 県内の大学や高専などの学術研究機関と企業の連携による、高度技術の事業化が進んでいます。
- ベンチャー企業と既存企業が連携して、活発な事業活動が行われています。
また、そのような活動を通じて、県内に有望な企業が多く集まっています。
- 特許などを活用した競争力のある製品を持つ企業や世界に通用する独自技術を持つ企業など、存在感ある企業の数が増えています。

<概要>

■県全体及び属性別(性別・年齢別・圏域別)の優先順位第1位から第3位までは以下のとおり。

	◆県全体	■性別		■年齢別	
		男性	女性	65歳未満	65歳以上
第1位:	ア	イ	ア	ア	イ
第2位:	エ	ア	エ	エ	ア
第3位:	イ	エ	イ	イ	エ

	■圏域別						
	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
第1位:	ア	イ	ア	イ	ア	ア	エ
第2位:	イ	ア	エ	ア	イ	エ	ア
第3位:	エ	エ	イ	エ	エ	イ	イ

※属性別の優先順位が県全体と異なる場合、項目記号を網掛けしている。

図2-2-2-5 取組2 特に優先すべきと思う項目回答数(県全体)

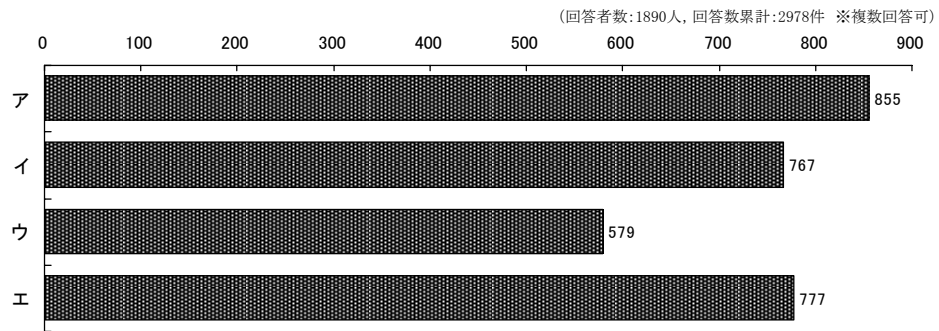
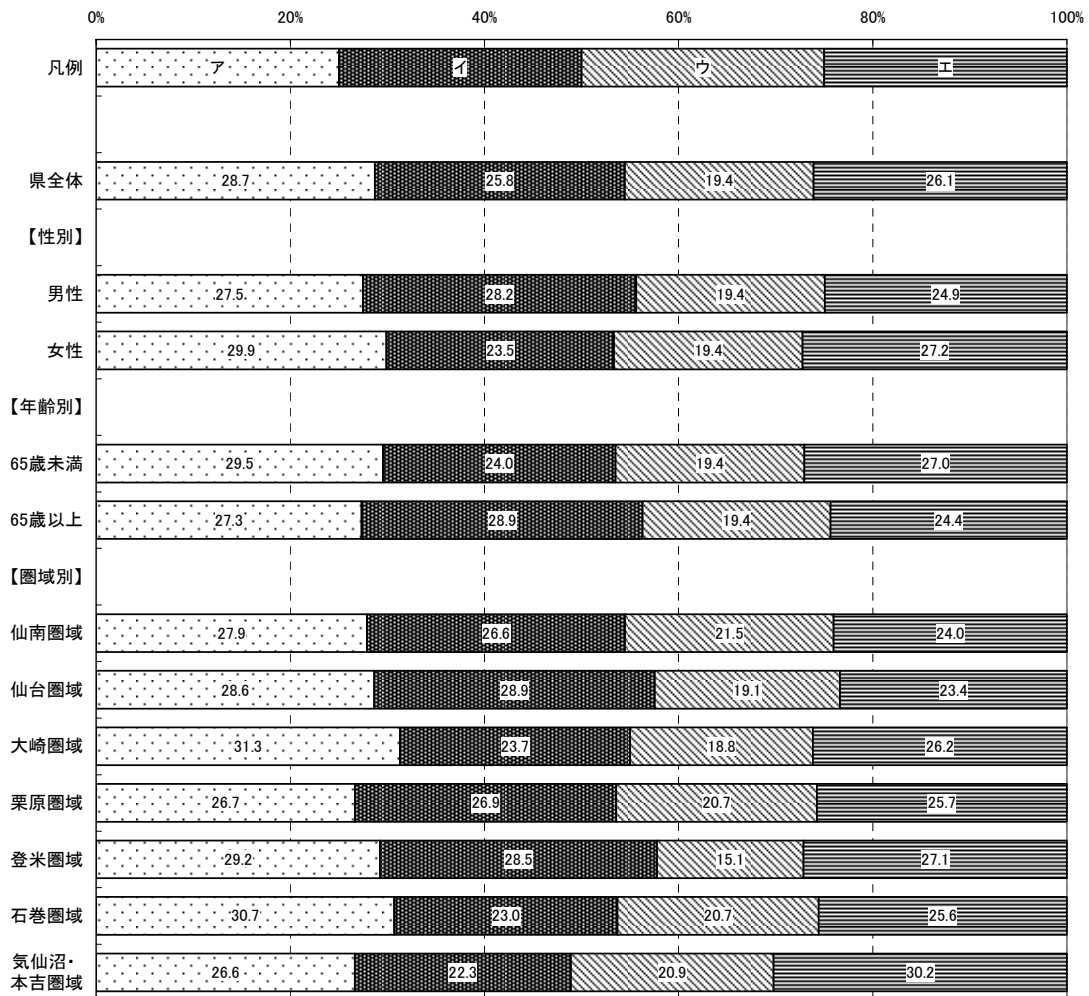


図2-2-2-6 取組2 特に優先すべきと思う項目割合(属性別)



※ 本図は、回答数累計に占める各項目の回答数の割合を属性別に示したものです。

取組2 「産学官の連携による
高度技術産業の集積促進」

取組3 豊かな農林水産資源と結びついた食品製造業の振興



取組概要

県内で生産される豊富な農林水産物や水産加工業を中心とした産業の集積を生かし、付加価値の高い製品の開発を支援するとともに、食品製造業を成長軌道に乗せ、出荷額の増加を目指します。

平成22年度の主な取組

○東アジア地域への輸出を促進するため、香港、台湾等での県内企業と現地企業との商談会開催、食品見本市への参加等を支援しています。

[成果等] 商談会開催回数 2回

○宮城の情報発信と売れる商品づくりを支援するため、東京都豊島区東池袋にアンテナショップを開設し、県産品販売を通して首都圏の消費者ニーズを県内企業等に提供しています。

○「みやぎの『食』ブランド化推進方針」を定め、ブランド化の基本的な考え方の整理など取組に統一性をもたせ、多彩で豊富な県産食材等のブランドイメージを高めています。

○県内食品製造業者を対象として、より付加価値の高い「売れる商品づくり」開発の支援や、販路拡大支援のための商談会を開催しました。

[成果等] 商談会開催回数 3回

○各地方振興(地域)事務所が圏域の課題を踏まえ、地域資源を効果的に活用し、地域の活性化を図るため、企業支援や観光、農林水産業等の産業振興を中心とした様々な取組を実施しています。

[成果等] 取組数 32事業

【認知度】 (県がこの取組を行っていたことについて、どのくらい知っているか)

<概要>

■県全体

「知っている」「ある程度知っている」を合わせた『高認知群』は52.9%、
「あまり知らない」「知らない」を合わせた『低認知群』は47.2%である。

■性別

男性の『高認知群』は54.8%で、県全体より1.9ポイント高い。
女性の『高認知群』は51.4%で、県全体より1.5ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『高認知群』は53.0%で、県全体より0.1ポイント高い。
65歳以上の『高認知群』は53.3%で、県全体より0.4ポイント高い。

■圏域別

大崎圏域の『高認知群』は46.8%で、県全体より6.1ポイント低い。
その他の圏域の『高認知群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-3-1 取組3 認知度割合(属性別)

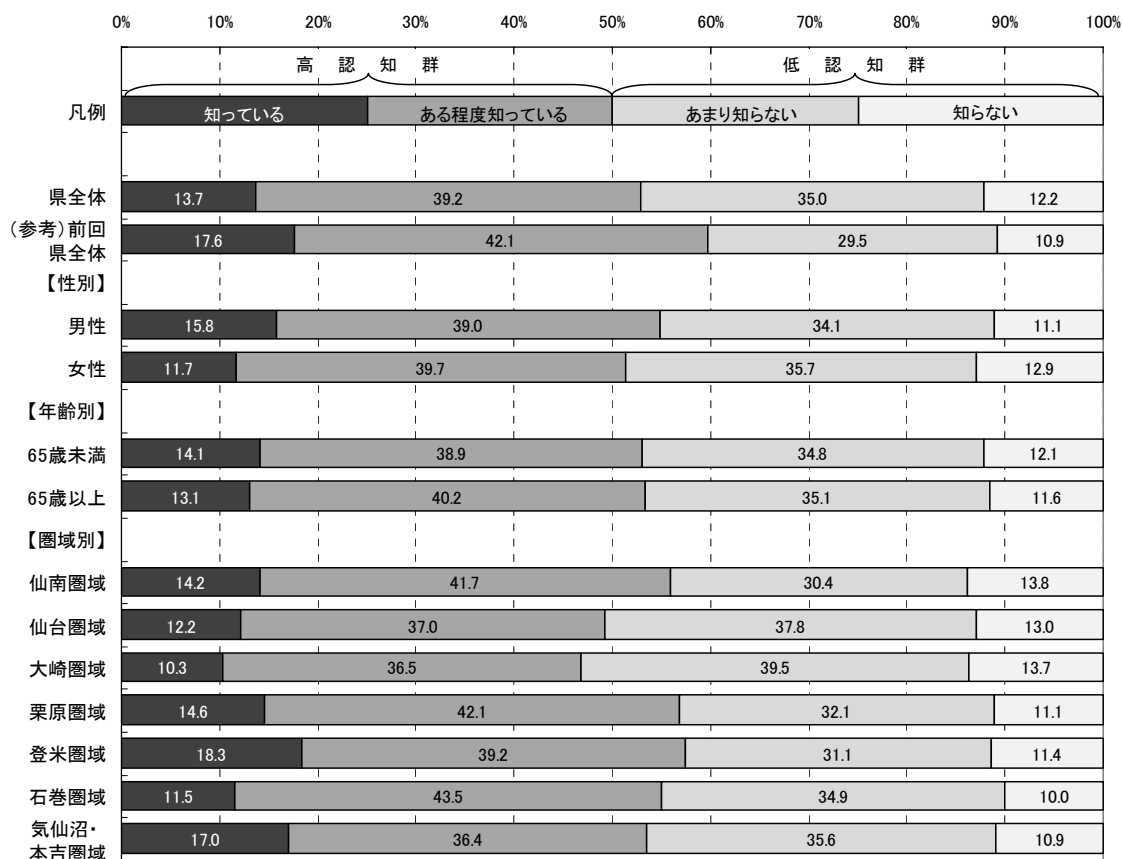


表2-2-3-1 取組3 認知度集計(属性別)

		有 効					欠 損 値	合 計
		知っている	ある程度 知っている	あまり 知らない	知らない	合計		
県全体	度数	270	773	690	240	1,973	80	2,053
	パーセント	13.7	39.2	35.0	12.2	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	330	791	554	204	1,879	65	1,944
	パーセント	17.6	42.1	29.5	10.9	100.0		
【性別】								
男性	度数	146	360	315	102	923	26	949
	パーセント	15.8	39.0	34.1	11.1	100.0		
女性	度数	115	391	352	127	985	46	1,031
	パーセント	11.7	39.7	35.7	12.9	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	179	493	441	153	1,266	31	1,297
	パーセント	14.1	38.9	34.8	12.1	100.0		
65歳以上	度数	83	254	222	73	632	41	673
	パーセント	13.1	40.2	35.1	11.6	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	35	103	75	34	247	3	250
	パーセント	14.2	41.7	30.4	13.8	100.0		
仙台圏域	度数	33	100	102	35	270	6	276
	パーセント	12.2	37.0	37.8	13.0	100.0		
大崎圏域	度数	28	99	107	37	271	16	287
	パーセント	10.3	36.5	39.5	13.7	100.0		
栗原圏域	度数	41	118	90	31	280	7	287
	パーセント	14.6	42.1	32.1	11.1	100.0		
登米圏域	度数	50	107	85	31	273	11	284
	パーセント	18.3	39.2	31.1	11.4	100.0		
石巻圏域	度数	31	117	94	27	269	10	279
	パーセント	11.5	43.5	34.9	10.0	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	42	90	88	27	247	9	256
	パーセント	17.0	36.4	35.6	10.9	100.0		

【関心度】 (県が行ってきたこの取組の内容について、どのくらい関心があるか)

<概要>

■県全体

「関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた『高関心群』は73.0%、
「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた『低関心群』は27.0%である。

■性別

男性の『高関心群』は73.9%で、県全体より0.9ポイント高い。

女性の『高関心群』は72.1%で、県全体より0.9ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『高関心群』は73.3%で、県全体より0.3ポイント高い。

65歳以上の『高関心群』は73.0%で、県全体と同じポイント。

■圏域別

各圏域の『高関心群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-3-2 取組3 関心度割合(属性別)

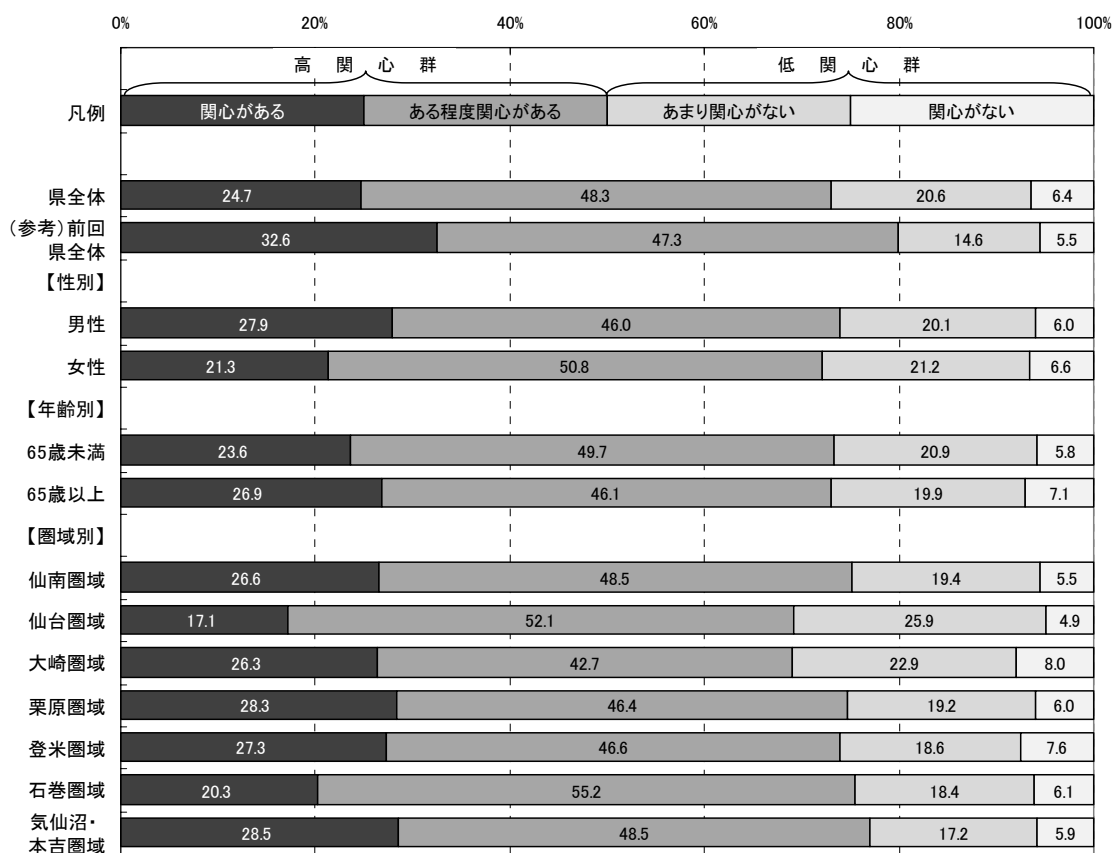


表2-2-3-2 取組3 関心度集計(属性別)

		有 効					欠 損 値	合 計
		関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	関心がない	合計		
県全体	度数	470	918	392	122	1,902	151	2,053
	パーセント	24.7	48.3	20.6	6.4	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	593	861	266	101	1,821	123	1,944
	パーセント	32.6	47.3	14.6	5.5	100.0		
【性別】								
男性	度数	248	409	179	53	889	60	949
	パーセント	27.9	46.0	20.1	6.0	100.0		
女性	度数	203	483	202	63	951	80	1,031
	パーセント	21.3	50.8	21.2	6.6	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	292	615	259	72	1,238	59	1,297
	パーセント	23.6	49.7	20.9	5.8	100.0		
65歳以上	度数	159	273	118	42	592	81	673
	パーセント	26.9	46.1	19.9	7.1	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	63	115	46	13	237	13	250
	パーセント	26.6	48.5	19.4	5.5	100.0		
仙台圏域	度数	45	137	68	13	263	13	276
	パーセント	17.1	52.1	25.9	4.9	100.0		
大崎圏域	度数	69	112	60	21	262	25	287
	パーセント	26.3	42.7	22.9	8.0	100.0		
栗原圏域	度数	75	123	51	16	265	22	287
	パーセント	28.3	46.4	19.2	6.0	100.0		
登米圏域	度数	72	123	49	20	264	20	284
	パーセント	27.3	46.6	18.6	7.6	100.0		
石巻圏域	度数	53	144	48	16	261	18	279
	パーセント	20.3	55.2	18.4	6.1	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	68	116	41	14	239	17	256
	パーセント	28.5	48.5	17.2	5.9	100.0		

【重視度】 (県がこの取組を今後行っていくことが、どのくらい重要と考えるか)

<概要>

■県全体

「重要」「やや重要」を合わせた『高重視群』は73.8%、「あまり重要ではない」「重要ではない」を合わせた『低重視群』は11.7%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『高重視群』が86.3%、『低重視群』は13.7%となる。

■性別

男性の『高重視群』は76.0%で、県全体より2.2ポイント高い。

女性の『高重視群』は72.0%で、県全体より1.8ポイント低い。

■年齢別

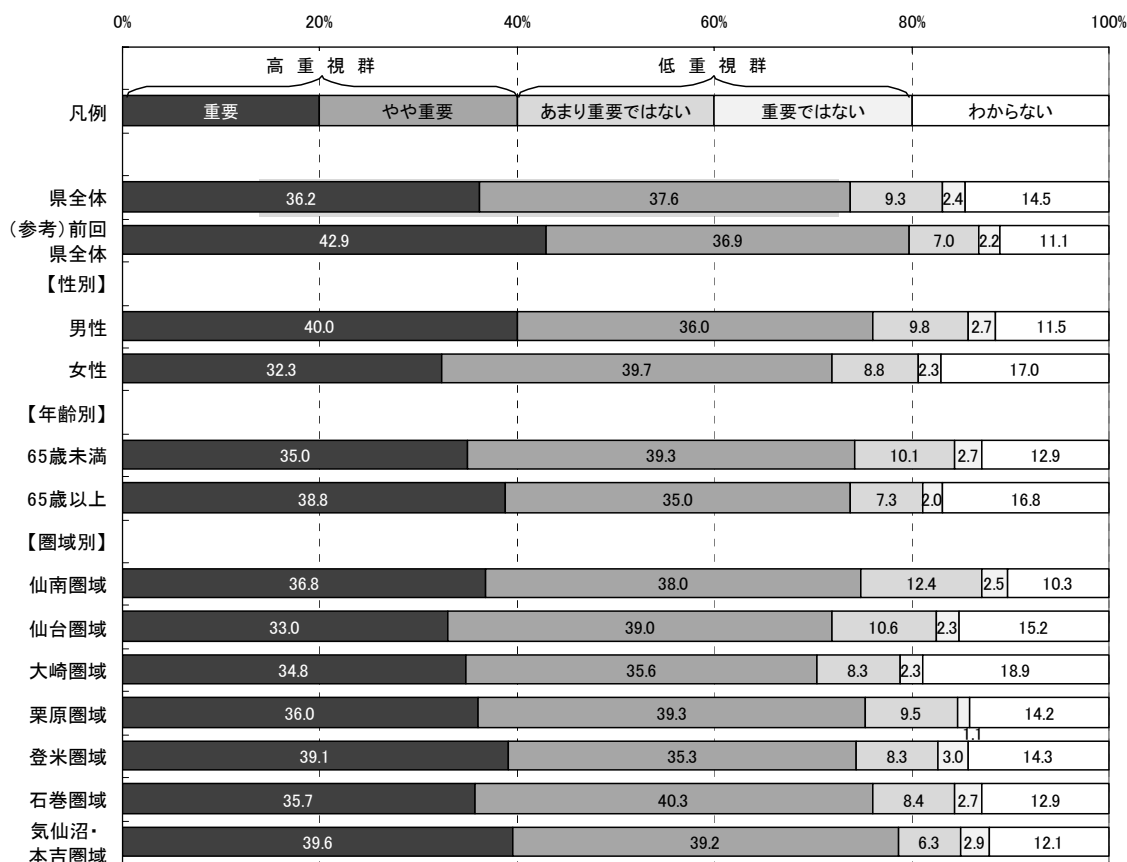
65歳未満の『高重視群』は74.3%で、県全体より0.5ポイント高い。

65歳以上の『高重視群』は73.8%で、県全体と同じポイント。

■圏域別

各圏域の『高重視群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-3-3 取組3 重視度割合(属性別)



取組3 「豊かな農林水産資源と結びついた
食品製造業の振興」

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		重要	やや重要	あまり重要 ではない	重要では ない	わからない			
県全体	度数	695	722	179	46	279	1,921	132	2,053
	パーセント	36.2	37.6	9.3	2.4	14.5	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	42.3	44.0	10.9	2.8		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	793	681	129	40	205	1,848	96	1,944
	パーセント	42.9	36.9	7.0	2.2	11.1	100.0		
【性別】									
男性	度数	361	325	88	24	104	902	47	949
	パーセント	40.0	36.0	9.8	2.7	11.5	100.0		
女性	度数	310	381	84	22	163	960	71	1,031
	パーセント	32.3	39.7	8.8	2.3	17.0	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	438	492	126	34	162	1,252	45	1,297
	パーセント	35.0	39.3	10.1	2.7	12.9	100.0		
65歳以上	度数	233	210	44	12	101	600	73	673
	パーセント	38.8	35.0	7.3	2.0	16.8	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	89	92	30	6	25	242	8	250
	パーセント	36.8	38.0	12.4	2.5	10.3	100.0		
仙台圏域	度数	87	103	28	6	40	264	12	276
	パーセント	33.0	39.0	10.6	2.3	15.2	100.0		
大崎圏域	度数	92	94	22	6	50	264	23	287
	パーセント	34.8	35.6	8.3	2.3	18.9	100.0		
栗原圏域	度数	99	108	26	3	39	275	12	287
	パーセント	36.0	39.3	9.5	1.1	14.2	100.0		
登米圏域	度数	104	94	22	8	38	266	18	284
	パーセント	39.1	35.3	8.3	3.0	14.3	100.0		
石巻圏域	度数	94	106	22	7	34	263	16	279
	パーセント	35.7	40.3	8.4	2.7	12.9	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	95	94	15	7	29	240	16	256
	パーセント	39.6	39.2	6.3	2.9	12.1	100.0		

【満足度】 (県が行ってきたこの取組について、どのくらい満足しているか)

<概要>

■県全体

「満足」「やや満足」を合わせた『満足群』は46.2%、「やや不満」「不満」を合わせた『不満群』は27.6%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『満足群』が62.5%、『不満群』は37.5%となる。

■性別

男性の『満足群』は46.5%で、県全体より0.3ポイント高い。

女性の『満足群』は46.1%で、県全体より0.1ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『満足群』は43.2%で、県全体より3.0ポイント低い。

65歳以上の『満足群』は53.5%で、県全体より7.3ポイント高い。

■圏域別

栗原圏域の『満足群』は53.5%で、県全体より7.3ポイント高い。

その他の圏域の『満足群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-3-4 取組3 満足度割合(属性別)

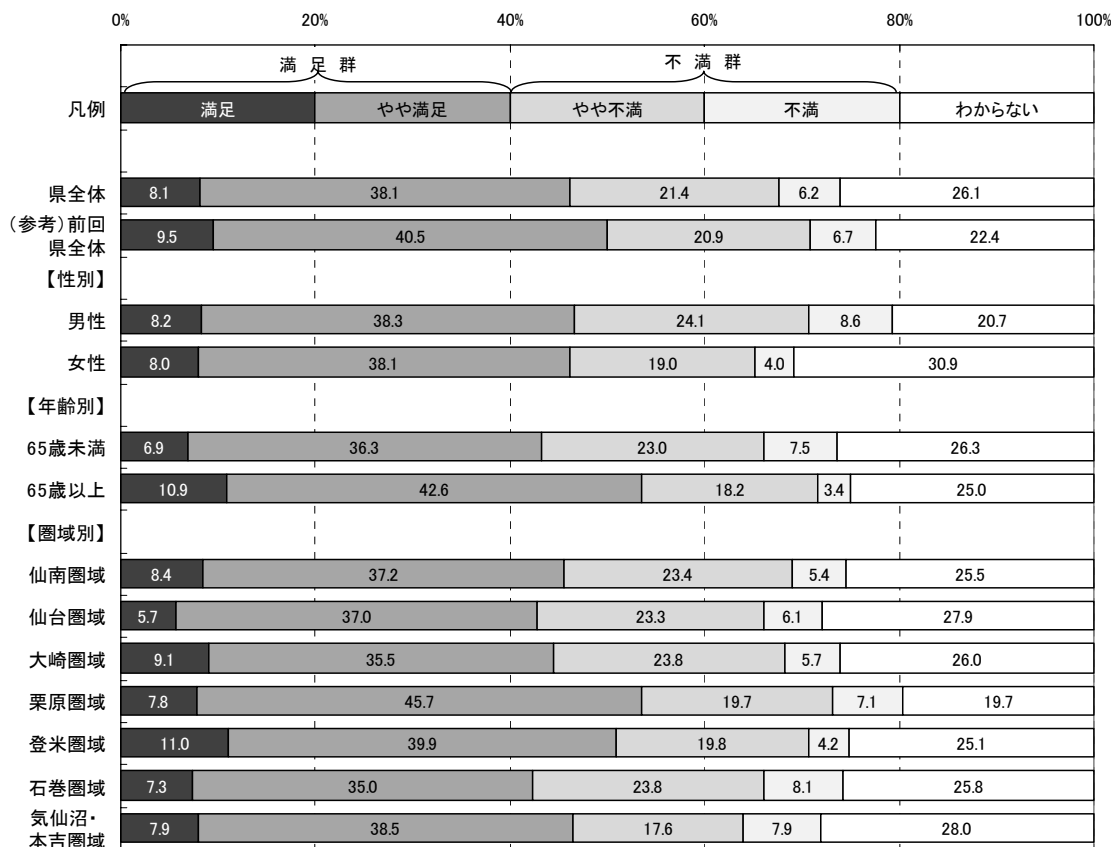


表2-2-3-4 取組3 満足度集計(属性別)

		有 効						欠 損 値	合 計
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	合計		
県全体	度数	154	726	408	119	498	1,905	148	2,053
	パーセント	8.1	38.1	21.4	6.2	26.1	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	10.9	51.6	29.0	8.5		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	174	740	382	123	409	1,828	116	1,944
	パーセント	9.5	40.5	20.9	6.7	22.4	100.0		
【性別】									
男性	度数	73	340	214	76	184	887	62	949
	パーセント	8.2	38.3	24.1	8.6	20.7	100.0		
女性	度数	77	365	182	38	296	958	73	1,031
	パーセント	8.0	38.1	19.0	4.0	30.9	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	86	452	286	94	328	1,246	51	1,297
	パーセント	6.9	36.3	23.0	7.5	26.3	100.0		
65歳以上	度数	64	251	107	20	147	589	84	673
	パーセント	10.9	42.6	18.2	3.4	25.0	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	20	89	56	13	61	239	11	250
	パーセント	8.4	37.2	23.4	5.4	25.5	100.0		
仙台圏域	度数	15	97	61	16	73	262	14	276
	パーセント	5.7	37.0	23.3	6.1	27.9	100.0		
大崎圏域	度数	24	94	63	15	69	265	22	287
	パーセント	9.1	35.5	23.8	5.7	26.0	100.0		
栗原圏域	度数	21	123	53	19	53	269	18	287
	パーセント	7.8	45.7	19.7	7.1	19.7	100.0		
登米圏域	度数	29	105	52	11	66	263	21	284
	パーセント	11.0	39.9	19.8	4.2	25.1	100.0		
石巻圏域	度数	19	91	62	21	67	260	19	279
	パーセント	7.3	35.0	23.8	8.1	25.8	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	19	92	42	19	67	239	17	256
	パーセント	7.9	38.5	17.6	7.9	28.0	100.0		

【特に優先すべきと思う項目】

取組3に関し、目標とする宮城の姿を目指して、県が下記の項目の中で今後特に優先すべきと思う項目について調査した。(複数回答可)

- ア 高齢社会や健康志向などを踏まえて行う、消費者が求める商品づくり
- イ 新たな加工食品などの開発を、農林水産業、食品製造業者等が協力しながら行う体制づくりへの支援
- ウ 県や関係機関が協力して行う大規模商談会や、首都圏などで開催される国際規模の商談会における、県産食品の取引拡大に向けた支援
- エ 県内での取引を活発にするための、企業間の取引などの仲介
- オ 産学官の連携や地域の食文化を生かした新商品開発促進
- カ 商品開発力や販売力を強化するための食品製造業の経営革新
- キ 販売競争を有利に進めるための県産食品のイメージアップ
- ク 首都圏などでの市場調査や、企業間の販売や取引の仲介の支援
- ケ 食品関連産業の企業立地の促進と、既存企業の生産性向上につながる事業の高度化の推進

(参考:目標とする宮城の姿)

- 食品製造業と農林水産業が連携し、地元の素材を生かした商品がたくさん生まれています。
- 「食材王国みやぎ」のイメージが広まり、県産食材の評判が高まって、宮城の農林水産物を使った加工食品の需要が伸びています。
- 宮城の加工食品がさまざまな場所・方法で販売されるようになり、東アジアなど海外でも販売されています。

<概要>

■県全体及び属性別（性別・年齢別・圏域別）の優先順位第1位から第3位までは以下のとおり。

	◆県全体	■性別		■年齢別	
		男性	女性	65歳未満	65歳以上
第1位:	ア	ア	ア	ア	ア
第2位:	キ	キ	キ	キ	イ
第3位:	イ	イ	イ	イ	キ

	■圏域別						
	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
第1位:	ア	ア	ア	ア	ア	ア	ア
第2位:	キ	キ	キ	キ	キ	キ	イ
第3位:	イ	イ	イ	イ	イ	イ	キ

※属性別の優先順位が県全体と異なる場合、項目記号を網掛けしている。

図2-2-3-5 取組3 特に優先すべきと思う項目回答数(県全体)

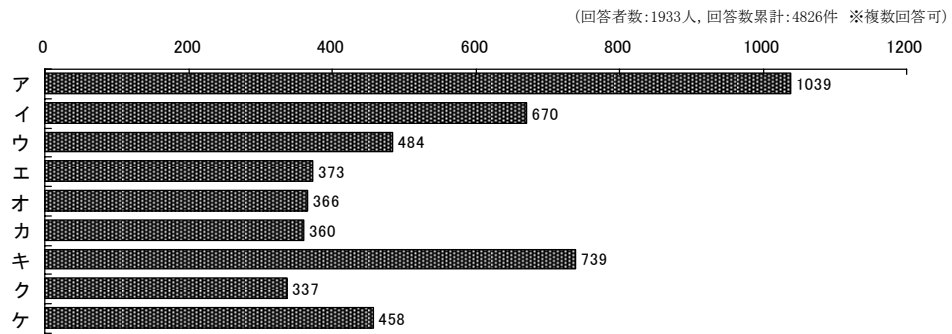
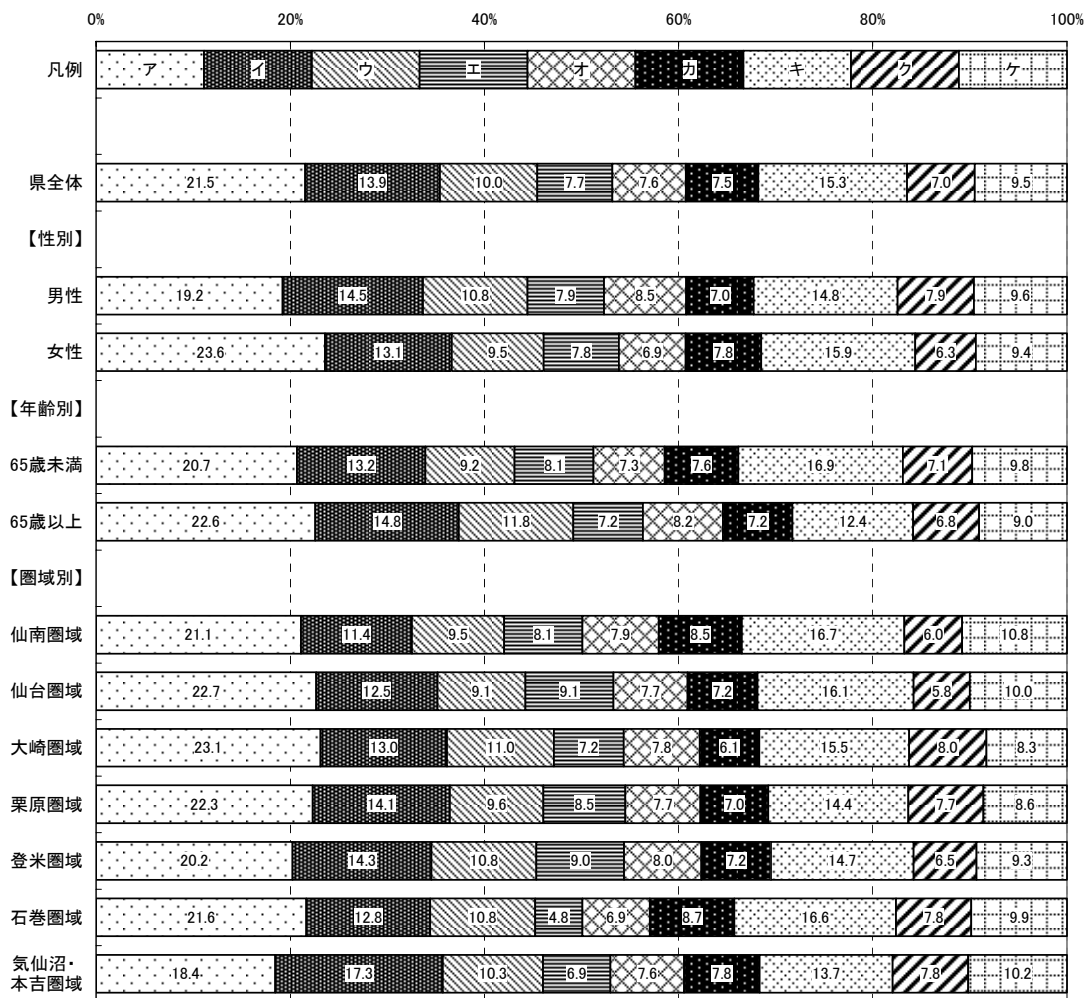


図2-2-3-6 取組3 特に優先すべきと思う項目割合(属性別)



※本図は、回答数累計に占める各項目の回答数の割合を属性別に示したものです。

取組3 「豊かな農林水産資源と結びついた
食品製造業の振興」

取組 4 高付加価値型サービス産業・情報産業及び地域商業の振興



取組概要

高付加価値型サービスの創出、まちづくりと連携した地域商業の活性化、情報関連産業の集積に向けた商品開発や人材の育成を目指します。

平成22年度の主な取組

- 県内サービス業の新たな創出と高付加価値化に向け、事業者連携による新たなサービスの開発環境を整備し、事業化に向けたビジネスプランの作成を支援しています。
- 商店街の活性化を図るため、商店街振興組合等が行う事業計画の作成から各種ソフト事業、ハード事業まで総合的な商店街活性化事業に対して支援しています。
[成果等] 商店街の賑わいづくりへの取組支援数 11 商店街
- 開発系 IT(情報技術)企業(ソフトウェア開発企業)の立地促進を図るため、一定の要件を満たした立地企業に対し、奨励金を交付するなどの支援を行っています。
- 技術力向上のための先進企業・大学への技術者派遣による人材育成を支援するとともに、産業技術総合センターで組込みソフトウェア研修を実施し、県内に立地が進む自動車関連産業や高度電子機械産業向けの人材育成を実施しています。
[成果等] ソフトウェア研修開催回数 4 回予定
- 県内の IT 企業等が開発した優良なソフトウェア商品を「みやぎ認定 IT 商品」として認定し、その販路開拓を支援しています。
[成果等] 認定件数 10 品
- 県内 IT 企業の市場獲得のための新分野への参入を促進するセミナーを開催しました。
[成果等] セミナー開催回数 6 回

【認知度】 (県がこの取組を行っていたことについて、どのくらい知っているか)

<概要>

■県全体

「知っている」「ある程度知っている」を合わせた『高認知群』は19.6%、
「あまり知らない」「知らない」を合わせた『低認知群』は80.5%である。

■性別

男性の『高認知群』は24.3%で、県全体より4.7ポイント高い。

女性の『高認知群』は14.8%で、県全体より4.8ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『高認知群』は15.1%で、県全体より4.5ポイント低い。

65歳以上の『高認知群』は28.0%で、県全体より8.4ポイント高い。

■圏域別

各圏域の『高認知群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-4-1 取組4 認知度割合(属性別)

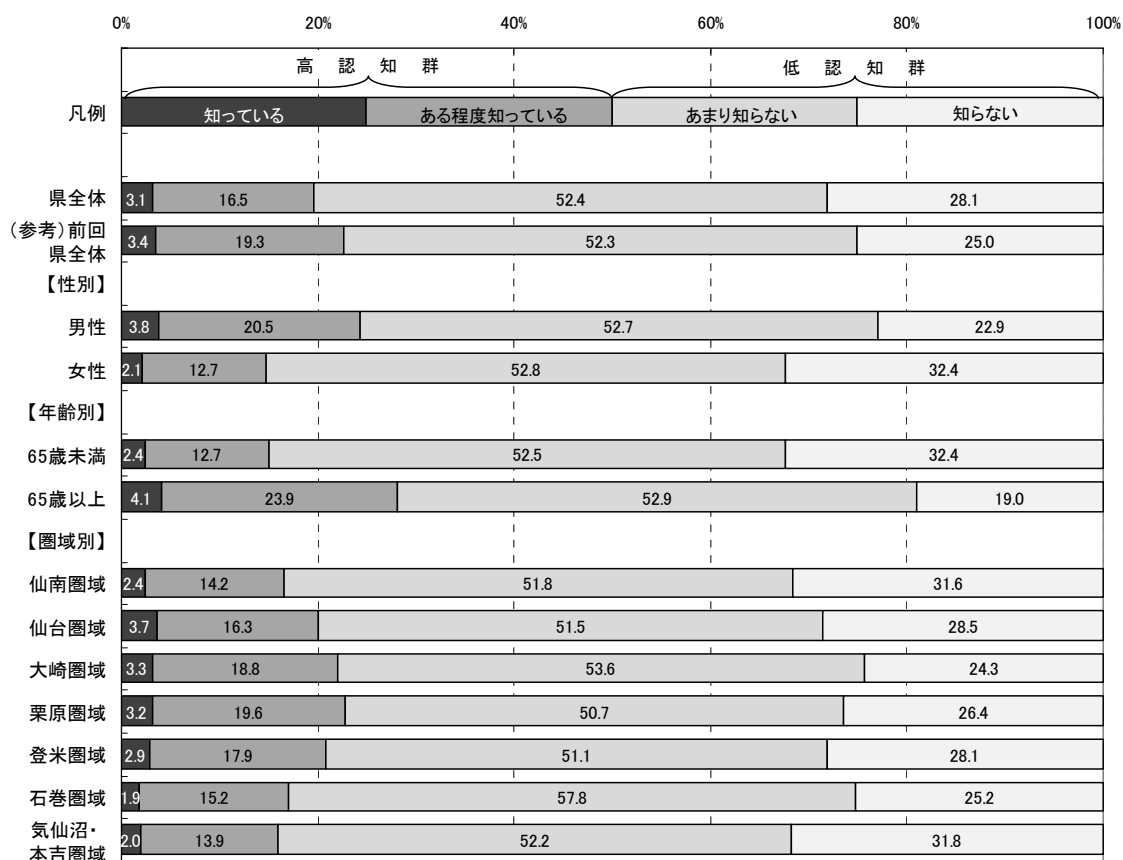


表2-2-4-1 取組4 認知度集計(属性別)

		有 効					欠 損 値	合 計
		知っている	ある程度 知っている	あまり 知らない	知らない	合計		
県全体	度数	62	325	1,034	554	1,975	78	2,053
	パーセント	3.1	16.5	52.4	28.1	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	65	366	992	475	1,898	46	1,944
	パーセント	3.4	19.3	52.3	25.0	100.0		
【性別】								
男性	度数	35	189	485	211	920	29	949
	パーセント	3.8	20.5	52.7	22.9	100.0		
女性	度数	21	126	524	322	993	38	1,031
	パーセント	2.1	12.7	52.8	32.4	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	30	162	668	412	1,272	25	1,297
	パーセント	2.4	12.7	52.5	32.4	100.0		
65歳以上	度数	26	151	334	120	631	42	673
	パーセント	4.1	23.9	52.9	19.0	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	6	35	128	78	247	3	250
	パーセント	2.4	14.2	51.8	31.6	100.0		
仙台圏域	度数	10	44	139	77	270	6	276
	パーセント	3.7	16.3	51.5	28.5	100.0		
大崎圏域	度数	9	52	148	67	276	11	287
	パーセント	3.3	18.8	53.6	24.3	100.0		
栗原圏域	度数	9	55	142	74	280	7	287
	パーセント	3.2	19.6	50.7	26.4	100.0		
登米圏域	度数	8	49	140	77	274	10	284
	パーセント	2.9	17.9	51.1	28.1	100.0		
石巻圏域	度数	5	41	156	68	270	9	279
	パーセント	1.9	15.2	57.8	25.2	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	5	34	128	78	245	11	256
	パーセント	2.0	13.9	52.2	31.8	100.0		

【関心度】 (県が行ってきたこの取組の内容について、どのくらい関心があるか)

<概要>

■県全体

「関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた『高関心群』は44.0%、
「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた『低関心群』は55.9%である。

■性別

男性の『高関心群』は49.8%で、県全体より5.8ポイント高い。

女性の『高関心群』は38.5%で、県全体より5.5ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『高関心群』は39.6%で、県全体より4.4ポイント低い。

65歳以上の『高関心群』は53.0%で、県全体より9.0ポイント高い。

■圏域別

各圏域の『高関心群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-4-2 取組4 関心度割合(属性別)

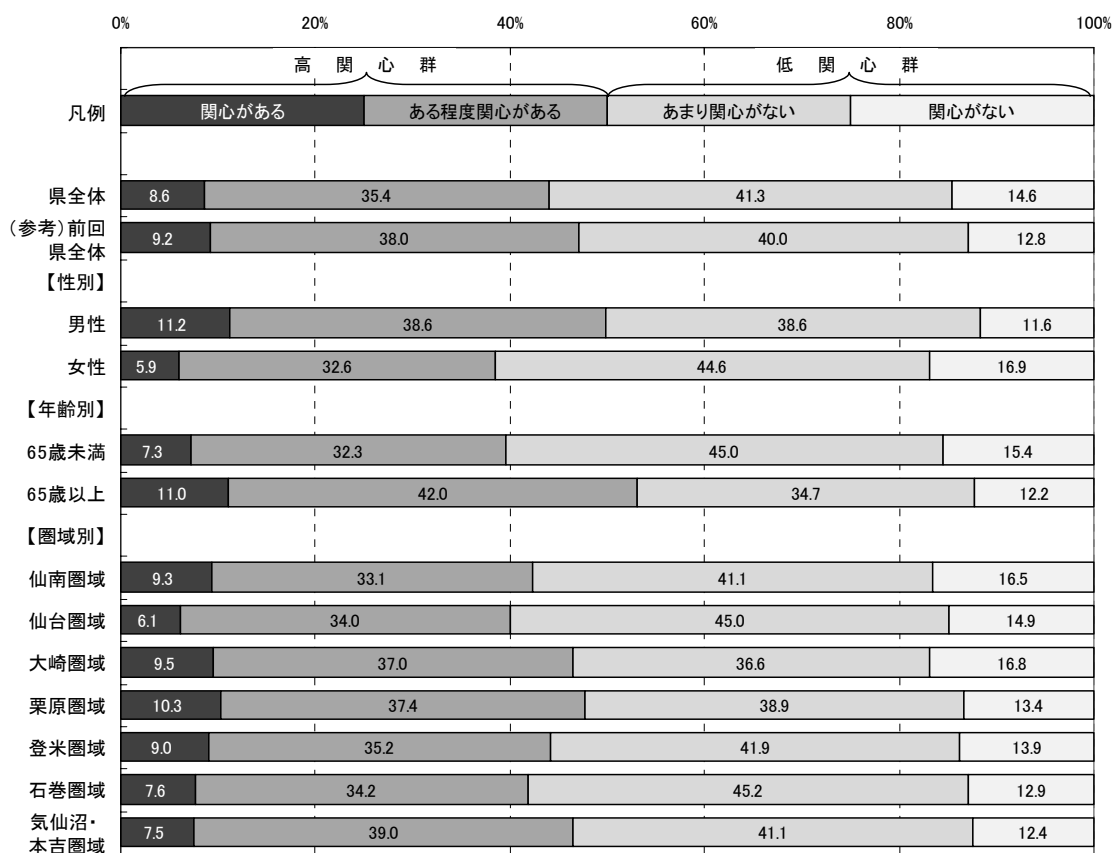


表2-2-4-2 取組4 関心度集計(属性別)

		有 効					欠 損 値	合 計
		関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	関心がない	合計		
県全体	度数	165	677	789	279	1,910	143	2,053
	パーセント	8.6	35.4	41.3	14.6	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	170	701	739	237	1,847	97	1,944
	パーセント	9.2	38.0	40.0	12.8	100.0		
【性別】								
男性	度数	99	342	342	103	886	63	949
	パーセント	11.2	38.6	38.6	11.6	100.0		
女性	度数	57	315	430	163	965	66	1,031
	パーセント	5.9	32.6	44.6	16.9	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	91	405	563	193	1,252	45	1,297
	パーセント	7.3	32.3	45.0	15.4	100.0		
65歳以上	度数	65	248	205	72	590	83	673
	パーセント	11.0	42.0	34.7	12.2	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	22	78	97	39	236	14	250
	パーセント	9.3	33.1	41.1	16.5	100.0		
仙台圏域	度数	16	89	118	39	262	14	276
	パーセント	6.1	34.0	45.0	14.9	100.0		
大崎圏域	度数	26	101	100	46	273	14	287
	パーセント	9.5	37.0	36.6	16.8	100.0		
栗原圏域	度数	27	98	102	35	262	25	287
	パーセント	10.3	37.4	38.9	13.4	100.0		
登米圏域	度数	24	94	112	37	267	17	284
	パーセント	9.0	35.2	41.9	13.9	100.0		
石巻圏域	度数	20	90	119	34	263	16	279
	パーセント	7.6	34.2	45.2	12.9	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	18	94	99	30	241	15	256
	パーセント	7.5	39.0	41.1	12.4	100.0		

【重視度】 (県がこの取組を今後行っていくことが、どのくらい重要と考えるか)

<概要>

■県全体

「重要」「やや重要」を合わせた『高重視群』は47.6%、「あまり重要ではない」「重要ではない」を合わせた『低重視群』は22.1%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『高重視群』が68.3%、『低重視群』は31.7%となる。

■性別

男性の『高重視群』は53.3%で、県全体より5.7ポイント高い。

女性の『高重視群』は42.3%で、県全体より5.3ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『高重視群』は44.5%で、県全体より3.1ポイント低い。

65歳以上の『高重視群』は54.5%で、県全体より6.9ポイント高い。

■圏域別

各圏域の『高重視群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-4-3 取組4 重視度割合(属性別)

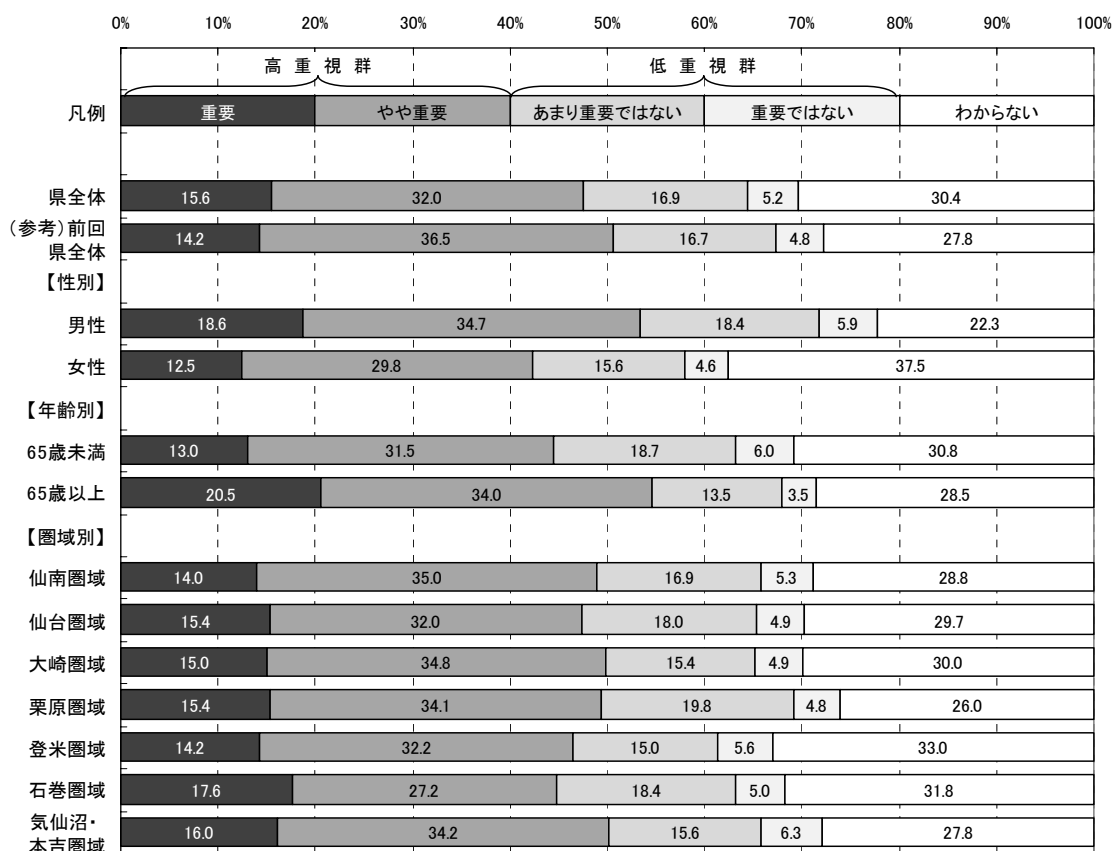


表2-2-4-3 取組4 重視度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		重要	やや重要	あまり重要 ではない	重要では ない	わからない			
県全体	度数	299	615	324	100	584	1,922	131	2,053
	パーセント	15.6	32.0	16.9	5.2	30.4	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	22.3	46.0	24.2	7.5		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	262	672	308	89	512	1,843	101	1,944
	パーセント	14.2	36.5	16.7	4.8	27.8	100.0		
【性別】									
男性	度数	168	313	166	53	201	901	48	949
	パーセント	18.6	34.7	18.4	5.9	22.3	100.0		
女性	度数	120	287	150	44	361	962	69	1,031
	パーセント	12.5	29.8	15.6	4.6	37.5	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	164	396	235	76	387	1,258	39	1,297
	パーセント	13.0	31.5	18.7	6.0	30.8	100.0		
65歳以上	度数	122	202	80	21	169	594	79	673
	パーセント	20.5	34.0	13.5	3.5	28.5	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	34	85	41	13	70	243	7	250
	パーセント	14.0	35.0	16.9	5.3	28.8	100.0		
仙台圏域	度数	41	85	48	13	79	266	10	276
	パーセント	15.4	32.0	18.0	4.9	29.7	100.0		
大崎圏域	度数	40	93	41	13	80	267	20	287
	パーセント	15.0	34.8	15.4	4.9	30.0	100.0		
栗原圏域	度数	42	93	54	13	71	273	14	287
	パーセント	15.4	34.1	19.8	4.8	26.0	100.0		
登米圏域	度数	38	86	40	15	88	267	17	284
	パーセント	14.2	32.2	15.0	5.6	33.0	100.0		
石巻圏域	度数	46	71	48	13	83	261	18	279
	パーセント	17.6	27.2	18.4	5.0	31.8	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	38	81	37	15	66	237	19	256
	パーセント	16.0	34.2	15.6	6.3	27.8	100.0		

【満足度】 (県が行ってきたこの取組について、どのくらい満足しているか)

<概要>

■県全体

「満足」「やや満足」を合わせた『満足群』は29.4%、「やや不満」「不満」を合わせた『不満群』は24.1%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『満足群』が54.9%、『不満群』は45.1%となる。

■性別

男性の『満足群』は34.1%で、県全体より4.7ポイント高い。

女性の『満足群』は25.2%で、県全体より4.2ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『満足群』は24.2%で、県全体より5.2ポイント低い。

65歳以上の『満足群』は41.4%で、県全体より12.0ポイント高い。

■圏域別

各圏域の『満足群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-4-4 取組4 満足度割合(属性別)

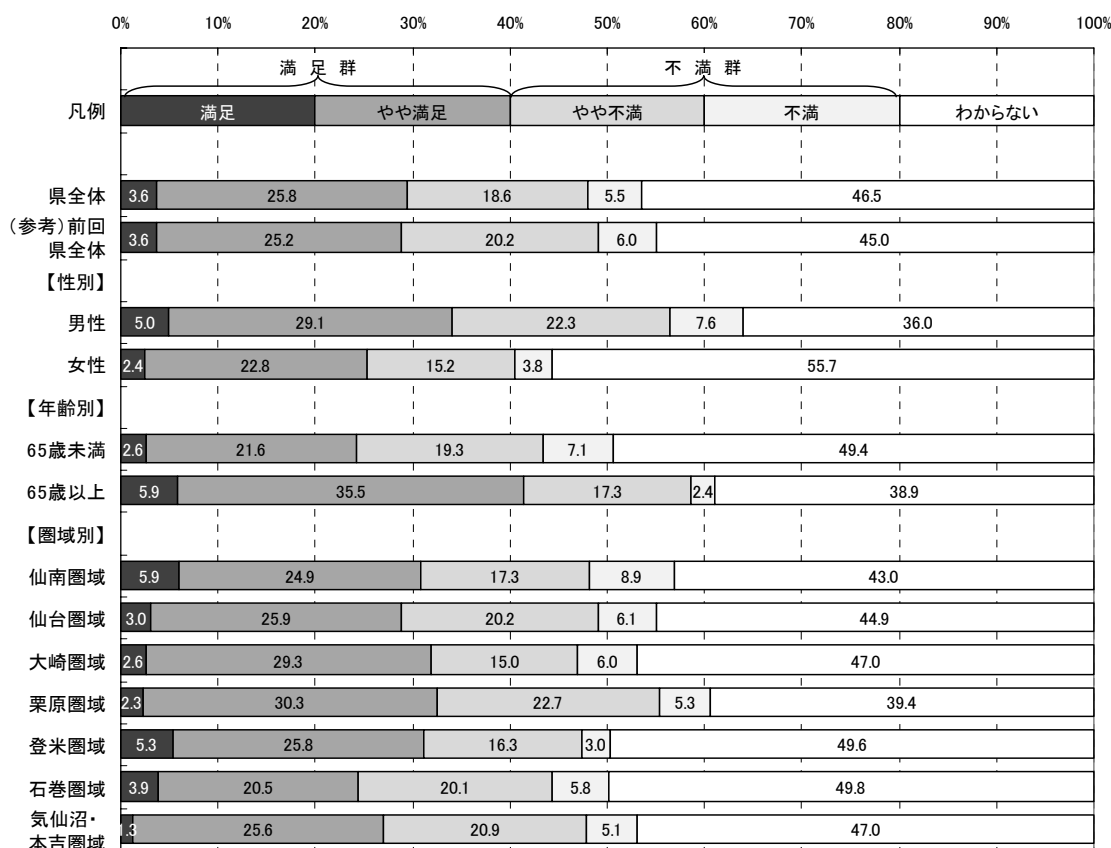


表2-2-4-4 取組4 満足度集計(属性別)

		有 効						欠 損 値	合 計
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	合計		
県全体	度数	69	488	352	105	881	1,895	158	2,053
	パーセント	3.6	25.8	18.6	5.5	46.5	100.0		
	「わからない」を除くパーセント	6.8	48.1	34.7	10.4		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	66	458	367	108	816	1,815	129	1,944
	パーセント	3.6	25.2	20.2	6.0	45.0	100.0		
【性別】									
男性	度数	44	257	197	67	318	883	66	949
	パーセント	5.0	29.1	22.3	7.6	36.0	100.0		
女性	度数	23	217	145	36	530	951	80	1,031
	パーセント	2.4	22.8	15.2	3.8	55.7	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	32	269	240	89	616	1,246	51	1,297
	パーセント	2.6	21.6	19.3	7.1	49.4	100.0		
65歳以上	度数	34	205	100	14	225	578	95	673
	パーセント	5.9	35.5	17.3	2.4	38.9	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	14	59	41	21	102	237	13	250
	パーセント	5.9	24.9	17.3	8.9	43.0	100.0		
仙台圏域	度数	8	68	53	16	118	263	13	276
	パーセント	3.0	25.9	20.2	6.1	44.9	100.0		
大崎圏域	度数	7	78	40	16	125	266	21	287
	パーセント	2.6	29.3	15.0	6.0	47.0	100.0		
栗原圏域	度数	6	80	60	14	104	264	23	287
	パーセント	2.3	30.3	22.7	5.3	39.4	100.0		
登米圏域	度数	14	68	43	8	131	264	20	284
	パーセント	5.3	25.8	16.3	3.0	49.6	100.0		
石巻圏域	度数	10	53	52	15	129	259	20	279
	パーセント	3.9	20.5	20.1	5.8	49.8	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	3	60	49	12	110	234	22	256
	パーセント	1.3	25.6	20.9	5.1	47.0	100.0		

【特に優先すべきと思う項目】

取組4に関し、目標とする宮城の姿を目指して、県が下記の項目の中で今後特に優先すべきと思う項目について調査した。(複数回答可)

- ア サービス産業の新たな事業展開や高付加価値化に向けたアドバイザーやコーディネート機能の強化
- イ コミュニティビジネスなど、地域や生活に密着したサービス業を行う場合の支援と今後成長が期待されるサービス分野の高付加価値化に向けた活動支援
- ウ 地域の実情に応じた、まちづくりと連携した地域商業の活性化支援
- エ 開発系IT企業(ソフトウェア開発企業)の誘致支援
- オ 情報関連技術者の養成と、情報関連産業の市場拡大につながる情報通信技術の活用促進
- カ 組込みシステム分野やデジタルコンテンツ分野など、成長が期待される分野における市場の獲得を目指した技術習得、人材交流、商品開発の支援

(参考:目標とする宮城の姿)

- 福祉サービスや育児サービスなど、社会構造の変化に合わせた魅力的なサービスを行う企業などが県内に増えています。
- 中心市街地の再生が進み、消費者にとって魅力ある商店街づくりが進んでいます。
- 全国・世界に通用する、専門的知識や技術力のある情報関連企業の数が増えています。

<概要>

■県全体及び属性別(性別・年齢別・圏域別)の優先順位第1位から第3位までは以下のとおり。

	◆県全体	■性別		■年齢別	
		男性	女性	65歳未満	65歳以上
第1位:	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ
第2位:	イ	イ	イ	イ	イ
第3位:	カ	カ	カ	カ	カ

	■圏域別						
	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
第1位:	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ
第2位:	イ	イ	イ	イ	イ	カ	イ
第3位:	カ	カ	カ	カ	カ	イ	カ

※属性別の優先順位が県全体と異なる場合、項目記号を網掛けしている。

図2-2-4-5 取組4 特に優先すべきと思う項目回答数(県全体)

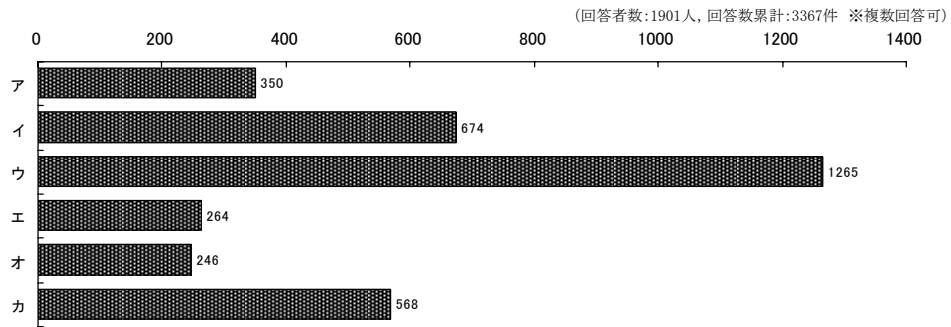
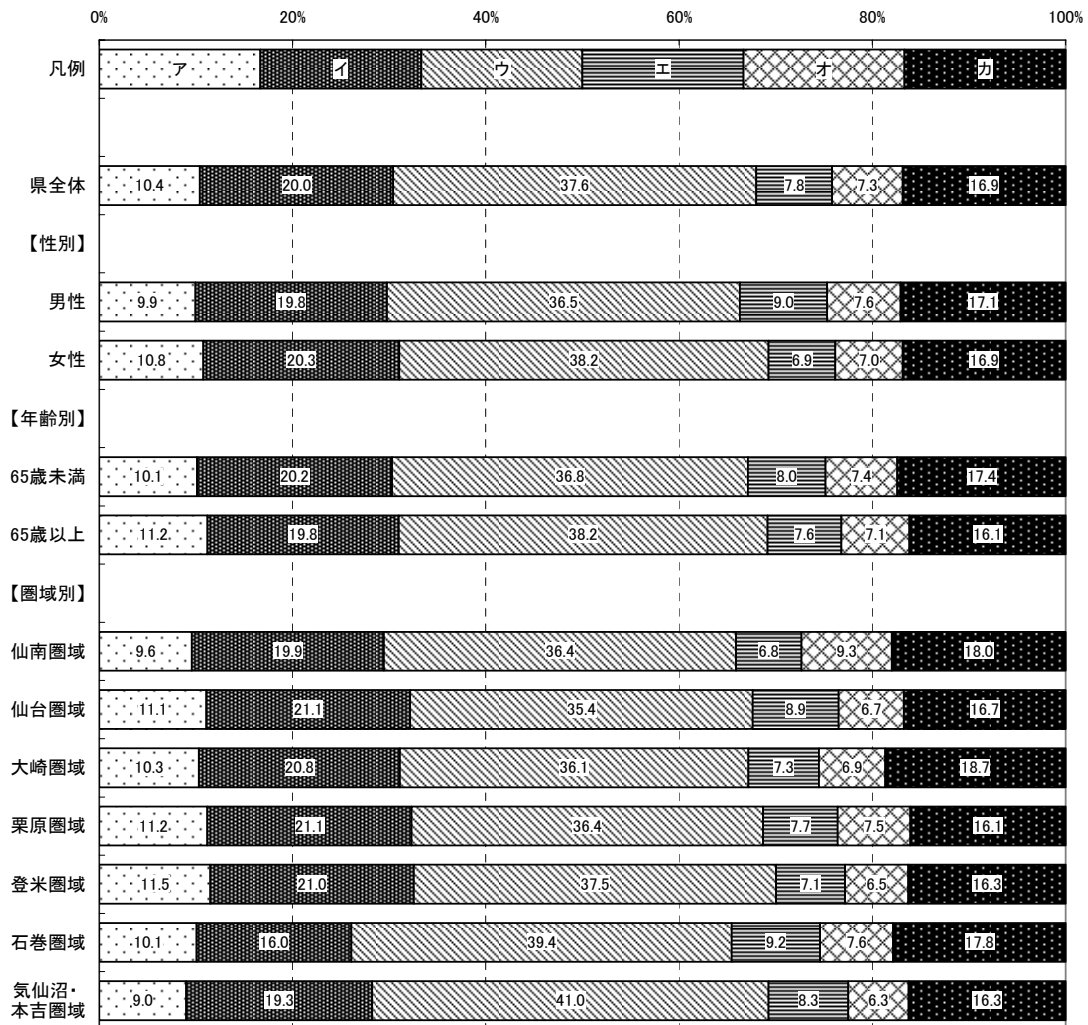


図2-2-4-6 取組4 特に優先すべきと思う項目割合(属性別)



※本図は、回答数累計に占める各項目の回答数の割合を属性別に示したものです。

取組 4 「高付加価値型サービス産業・
情報産業及び地域商業の振興」

取組5 地域が潤う、訪れてよしの観光王国みやぎの実現



取組概要

大型観光キャンペーンの実施や観光資源の磨き上げ、人材の育成、外国人観光客の誘致など、観光客の増加に向けた諸施策に積極的に取り組み、観光王国みやぎの実現を目指します。

平成22年度の主な取組

- 自治体、観光関係者、農業水産業・商工業など幅広い関係機関が連携し、県内及び全国各地から観光客を誘致する大型観光キャンペーン(仙台・宮城【伊達な旅】キャンペーン)を実施しました。
- 本県への誘客と県産食材・物産等の購入促進を図るため、BSデジタル放送のテレビ番組「伊達な旅紀行～いいトコ!みやぎ」(BS-TBS 月曜 19:54～20:00)により、観光や食等の情報を全国に向けて発信しています。
- 外国人観光客誘致のため、東アジアを中心とした国々の旅行会社等を招き、観光施設視察を通じた本県への理解促進や海外のマスコミへの本県観光施設紹介、国際旅行博等での本県のPRに努めています。

[成果等] 海外の旅行会社等の招へい 香港等から11社、国際旅行博等への出展 上海・香港・広州・大連にて各1回

- 農林漁業、商工業、民泊などの体験を伴う教育旅行を、学校や旅行会社向けにPRしています。
- 観光産業従事者などのおもてなし実践者による観光情報の発信や観光授業等を実施しています。
- 蔵王・栗駒両国定公園及び松島県立公園において、高齢者や子ども等の安全な利用にも配慮した自然公園施設の整備を行っています。また、主要な観光地、駅などに多言語表記の広域観光案内板を設置するとともに、ミニ観光案内誘導板の多言語による再整備を行っています。

[成果等] 広域観光案内板整備総数 20基(平成18年度から平成22年度まで、うち平成22年度新規 3基)

【認知度】 (県がこの取組を行っていたことについて、どのくらい知っているか)

<概要>

■県全体

「知っている」「ある程度知っている」を合わせた『高認知群』は64.5%、
「あまり知らない」「知らない」を合わせた『低認知群』は35.5%である。

■性別

男性の『高認知群』は65.0%で、県全体より0.5ポイント高い。

女性の『高認知群』は64.9%で、県全体より0.4ポイント高い。

■年齢別

65歳未満の『高認知群』は64.3%で、県全体より0.2ポイント低い。

65歳以上の『高認知群』は66.3%で、県全体より1.8ポイント高い。

■圏域別

仙南圏域の『高認知群』は75.0%で、県全体より10.5ポイント高い。

その他の圏域の『高認知群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-5-1 取組5 認知度割合(属性別)

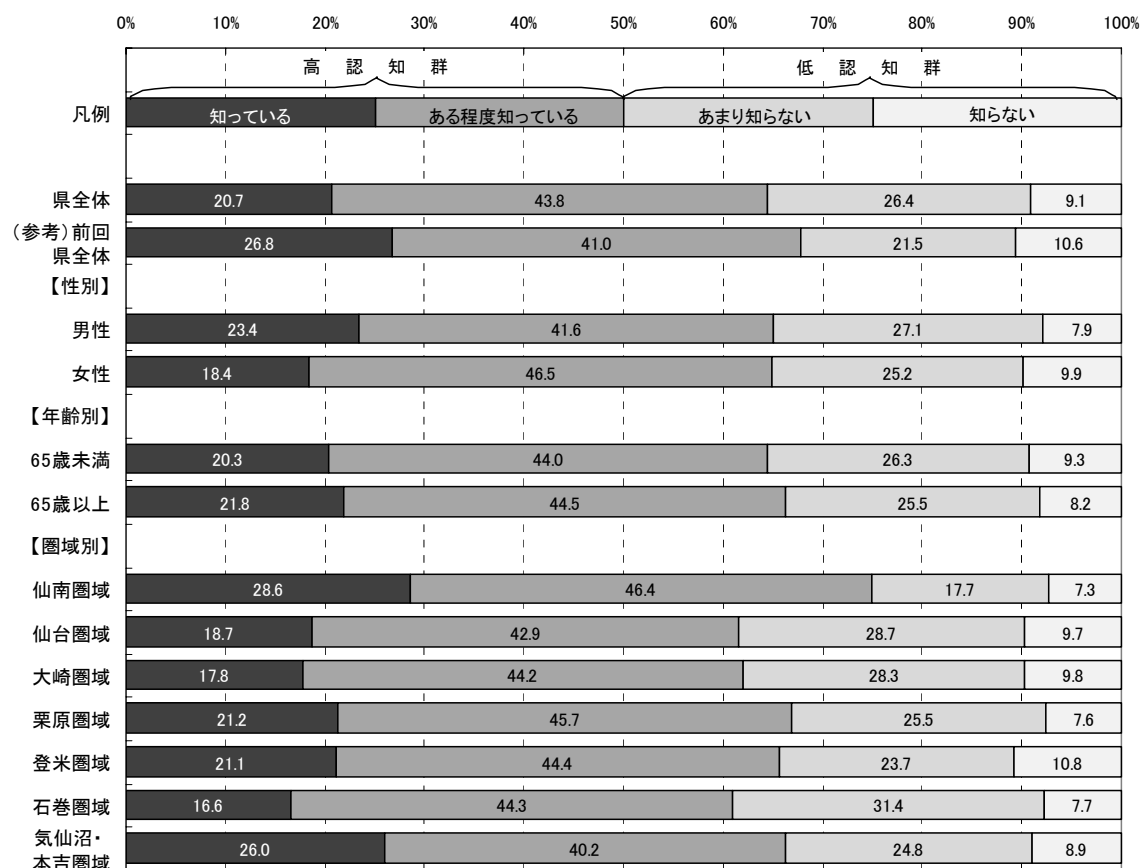


表2-2-5-1 取組5 認知度集計(属性別)

		有 効				合計	欠 損 値	合 計
		知っている	ある程度 知っている	あまり 知らない	知らない			
県全体	度数	410	868	523	181	1,982	71	2,053
	パーセント	20.7	43.8	26.4	9.1	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	502	768	403	199	1,872	72	1,944
	パーセント	26.8	41.0	21.5	10.6	100.0		
【性別】								
男性	度数	215	383	249	73	920	29	949
	パーセント	23.4	41.6	27.1	7.9	100.0		
女性	度数	183	463	251	99	996	35	1,031
	パーセント	18.4	46.5	25.2	9.9	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	259	561	335	119	1,274	23	1,297
	パーセント	20.3	44.0	26.3	9.3	100.0		
65歳以上	度数	138	281	161	52	632	41	673
	パーセント	21.8	44.5	25.5	8.2	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	71	115	44	18	248	2	250
	パーセント	28.6	46.4	17.7	7.3	100.0		
仙台圏域	度数	50	115	77	26	268	8	276
	パーセント	18.7	42.9	28.7	9.7	100.0		
大崎圏域	度数	49	122	78	27	276	11	287
	パーセント	17.8	44.2	28.3	9.8	100.0		
栗原圏域	度数	59	127	71	21	278	9	287
	パーセント	21.2	45.7	25.5	7.6	100.0		
登米圏域	度数	59	124	66	30	279	5	284
	パーセント	21.1	44.4	23.7	10.8	100.0		
石巻圏域	度数	45	120	85	21	271	8	279
	パーセント	16.6	44.3	31.4	7.7	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	64	99	61	22	246	10	256
	パーセント	26.0	40.2	24.8	8.9	100.0		

【関心度】 (県が行ってきたこの取組の内容について、どのくらい関心があるか)

< 概要 >

■ 県全体

「関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた『高関心群』は74.3%、
「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた『低関心群』は25.7%である。

■ 性別

男性の『高関心群』は74.4%で、県全体より0.1ポイント高い。

女性の『高関心群』は75.1%で、県全体より0.8ポイント高い。

■ 年齢別

65歳未満の『高関心群』は75.0%で、県全体より0.7ポイント高い。

65歳以上の『高関心群』は74.4%で、県全体より0.1ポイント高い。

■ 圏域別

各圏域の『高関心群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-5-2 取組5 関心度割合(属性別)

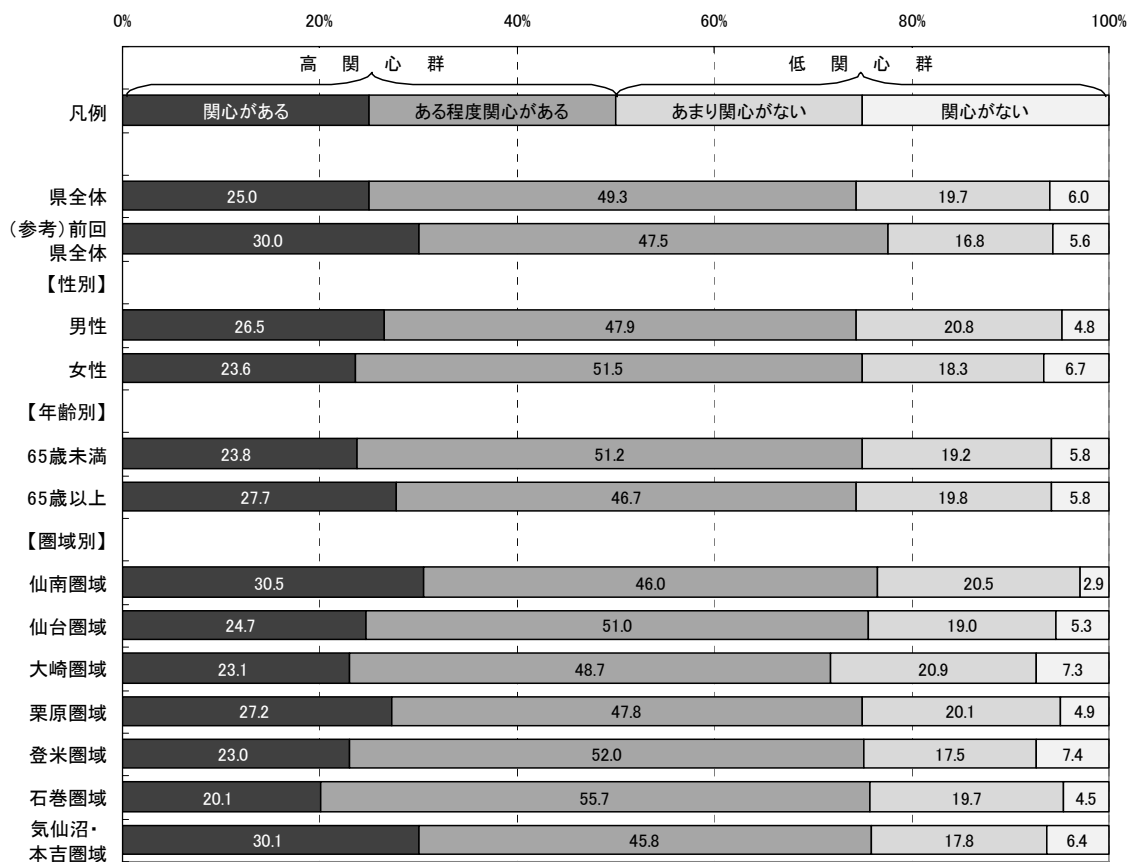


表2-2-5-2 取組5 関心度集計(属性別)

		有 効				合計	欠 損 値	合 計
		関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	関心がない			
県全体	度数	482	949	379	115	1,925	128	2,053
	パーセント	25.0	49.3	19.7	6.0	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	543	859	304	102	1,808	136	1,944
	パーセント	30.0	47.5	16.8	5.6	100.0		
【性別】								
男性	度数	239	432	188	43	902	47	949
	パーセント	26.5	47.9	20.8	4.8	100.0		
女性	度数	227	495	176	64	962	69	1,031
	パーセント	23.6	51.5	18.3	6.7	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	298	641	240	72	1,251	46	1,297
	パーセント	23.8	51.2	19.2	5.8	100.0		
65歳以上	度数	167	281	119	35	602	71	673
	パーセント	27.7	46.7	19.8	5.8	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	73	110	49	7	239	11	250
	パーセント	30.5	46.0	20.5	2.9	100.0		
仙台圏域	度数	65	134	50	14	263	13	276
	パーセント	24.7	51.0	19.0	5.3	100.0		
大崎圏域	度数	63	133	57	20	273	14	287
	パーセント	23.1	48.7	20.9	7.3	100.0		
栗原圏域	度数	73	128	54	13	268	19	287
	パーセント	27.2	47.8	20.1	4.9	100.0		
登米圏域	度数	62	140	47	20	269	15	284
	パーセント	23.0	52.0	17.5	7.4	100.0		
石巻圏域	度数	53	147	52	12	264	15	279
	パーセント	20.1	55.7	19.7	4.5	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	71	108	42	15	236	20	256
	パーセント	30.1	45.8	17.8	6.4	100.0		

【重視度】 (県がこの取組を今後行っていくことが、どのくらい重要と考えるか)

<概要>

■県全体

「重要」「やや重要」を合わせた『高重視群』は72.6%、「あまり重要ではない」「重要ではない」を合わせた『低重視群』は15.1%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『高重視群』が82.7%、『低重視群』は17.2%となる。

■性別

男性の『高重視群』は74.4%で、県全体より1.8ポイント高い。

女性の『高重視群』は71.7%で、県全体より0.9ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『高重視群』は73.0%で、県全体より0.4ポイント高い。

65歳以上の『高重視群』は73.4%で、県全体より0.8ポイント高い。

■圏域別

各圏域の『高重視群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-5-3 取組5 重視度割合(属性別)

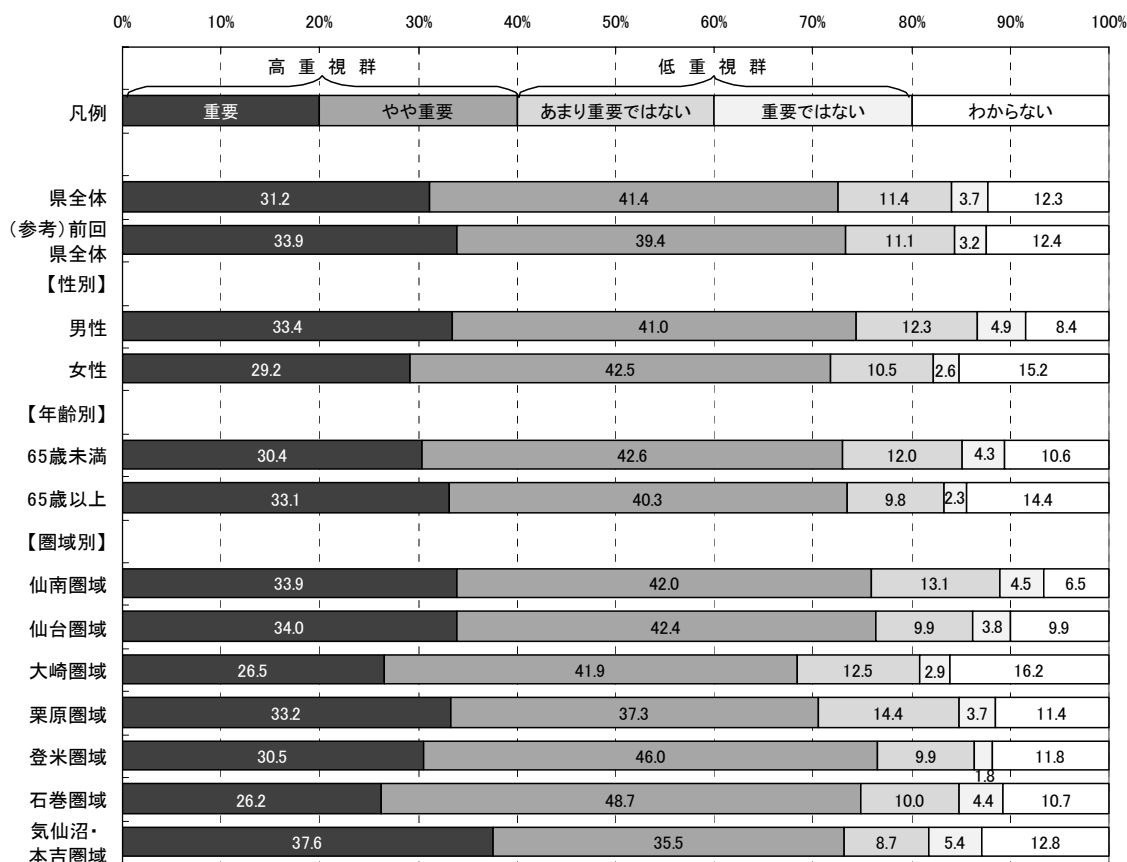


表2-2-5-3 取組5 重視度集計(属性別)

		有 効						欠 損 値	合 計
		重要	やや重要	あまり重要 ではない	重要では ない	わからない	合計		
県全体	度数	606	806	222	72	239	1,945	108	2,053
	パーセント	31.2	41.4	11.4	3.7	12.3	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	35.5	47.2	13.0	4.2		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	619	721	202	59	227	1,828	116	1,944
	パーセント	33.9	39.4	11.1	3.2	12.4	100.0		
【性別】									
男性	度数	305	374	112	45	77	913	36	949
	パーセント	33.4	41.0	12.3	4.9	8.4	100.0		
女性	度数	284	414	102	25	148	973	58	1,031
	パーセント	29.2	42.5	10.5	2.6	15.2	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	385	539	152	55	134	1,265	32	1,297
	パーセント	30.4	42.6	12.0	4.3	10.6	100.0		
65歳以上	度数	202	246	60	14	88	610	63	673
	パーセント	33.1	40.3	9.8	2.3	14.4	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	83	103	32	11	16	245	5	250
	パーセント	33.9	42.0	13.1	4.5	6.5	100.0		
仙台圏域	度数	89	111	26	10	26	262	14	276
	パーセント	34.0	42.4	9.9	3.8	9.9	100.0		
大崎圏域	度数	72	114	34	8	44	272	15	287
	パーセント	26.5	41.9	12.5	2.9	16.2	100.0		
栗原圏域	度数	90	101	39	10	31	271	16	287
	パーセント	33.2	37.3	14.4	3.7	11.4	100.0		
登米圏域	度数	83	125	27	5	32	272	12	284
	パーセント	30.5	46.0	9.9	1.8	11.8	100.0		
石巻圏域	度数	71	132	27	12	29	271	8	279
	パーセント	26.2	48.7	10.0	4.4	10.7	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	91	86	21	13	31	242	14	256
	パーセント	37.6	35.5	8.7	5.4	12.8	100.0		

【満足度】 (県が行ってきたこの取組について、どのくらい満足しているか)

<概要>

■県全体

「満足」「やや満足」を合わせた『満足群』は54.4%、「やや不満」「不満」を合わせた『不満群』は21.1%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『満足群』が72.0%、『不満群』は28.0%となる。

■性別

男性の『満足群』は55.1%で、県全体より0.7ポイント高い。

女性の『満足群』は54.9%で、県全体より0.5ポイント高い。

■年齢別

65歳未満の『満足群』は51.4%で、県全体より3.0ポイント低い。

65歳以上の『満足群』は62.7%で、県全体より8.3ポイント高い。

■圏域別

仙南圏域の『満足群』は60.1%で、県全体より5.7ポイント高い。

登米圏域の『満足群』は62.2%で、県全体より7.8ポイント高い。

石巻圏域の『満足群』は48.7%で、県全体より5.7ポイント低い。

その他の圏域の『満足群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-5-4 取組5 満足度割合(属性別)

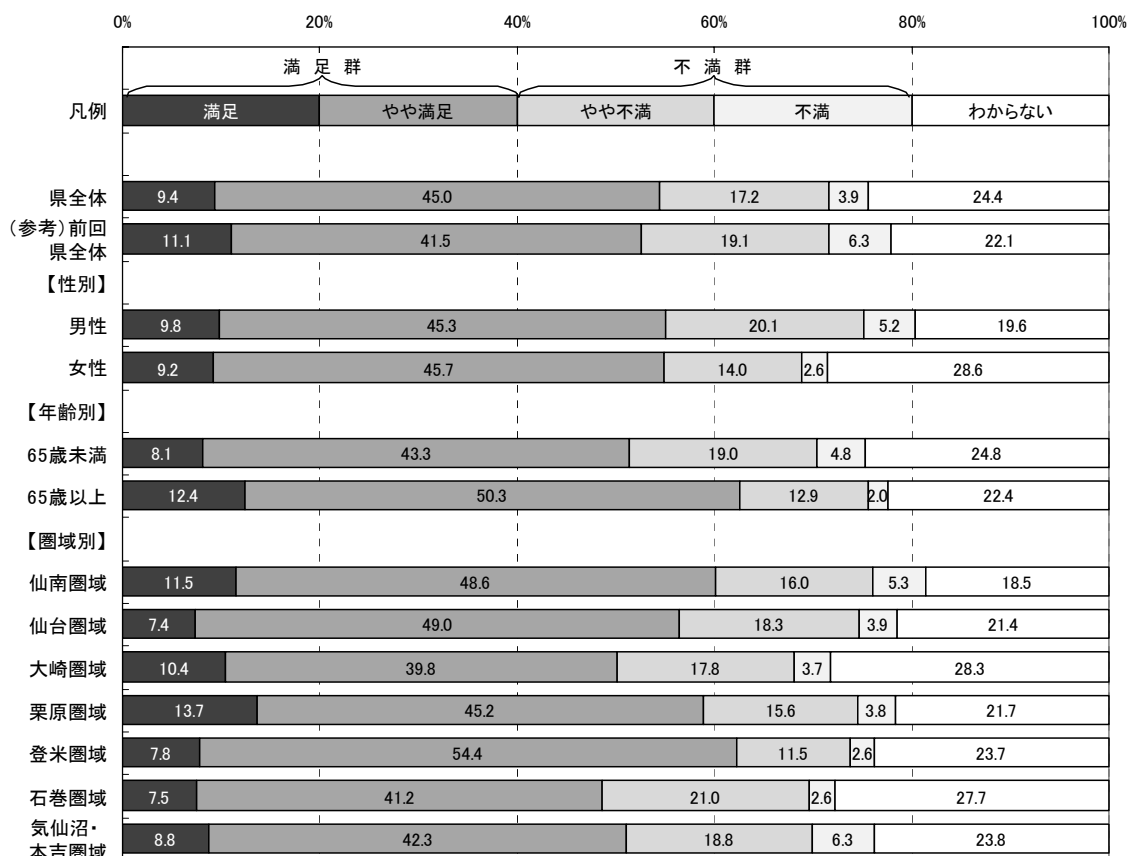


表2-2-5-4 取組5 満足度集計(属性別)

		有 効						欠 損 値	合 計
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	合計		
県全体	度数	181	863	331	75	469	1,919	134	2,053
	パーセント	9.4	45.0	17.2	3.9	24.4	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	12.5	59.5	22.8	5.2		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	200	747	344	113	398	1,802	142	1,944
	パーセント	11.1	41.5	19.1	6.3	22.1	100.0		
【性別】									
男性	度数	88	408	181	47	176	900	49	949
	パーセント	9.8	45.3	20.1	5.2	19.6	100.0		
女性	度数	88	438	134	25	274	959	72	1,031
	パーセント	9.2	45.7	14.0	2.6	28.6	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	102	542	238	60	310	1,252	45	1,297
	パーセント	8.1	43.3	19.0	4.8	24.8	100.0		
65歳以上	度数	74	300	77	12	134	597	76	673
	パーセント	12.4	50.3	12.9	2.0	22.4	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	28	118	39	13	45	243	7	250
	パーセント	11.5	48.6	16.0	5.3	18.5	100.0		
仙台圏域	度数	19	126	47	10	55	257	19	276
	パーセント	7.4	49.0	18.3	3.9	21.4	100.0		
大崎圏域	度数	28	107	48	10	76	269	18	287
	パーセント	10.4	39.8	17.8	3.7	28.3	100.0		
栗原圏域	度数	36	119	41	10	57	263	24	287
	パーセント	13.7	45.2	15.6	3.8	21.7	100.0		
登米圏域	度数	21	147	31	7	64	270	14	284
	パーセント	7.8	54.4	11.5	2.6	23.7	100.0		
石巻圏域	度数	20	110	56	7	74	267	12	279
	パーセント	7.5	41.2	21.0	2.6	27.7	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	21	101	45	15	57	239	17	256
	パーセント	8.8	42.3	18.8	6.3	23.8	100.0		

【特に優先すべきと思う項目】

取組5に関し、目標とする宮城の姿を目指して、県が下記の項目の中で今後特に優先すべきと思う項目について調査した。(複数回答可)

- ア 大型観光キャンペーンなど、官民一体となった積極的な観光客誘致の推進
- イ インターネットなど広報媒体を活用した効果的な情報発信や団塊の世代などの絞った集客活動
- ウ 県民の観光に対する意識の向上と、地域一体となった「もてなしの心」向上のための取組強化
- エ 温泉や食材、地域の産業など宮城独自の資源を生かした体験・滞在型観光の発掘、観光ルートの整備
- オ 観光施設及び案内板・標識の整備、バリアフリー・ユニバーサルデザインの普及
- カ 地域が主体的に観光振興に取り組む組織・体制づくりの強化と地域の魅力を売り出していける人材づくりの推進
- キ 都市と農山漁村が理解し合い、互いに支え合うグリーン・ツーリズムを目指した推進環境の整備、人材育成、情報発信、地域活動の活性化支援
- ク 県内市町村や関係機関との連携による観光推進組織の強化

(参考:目標とする宮城の姿)

- 宮城の魅力が国内外に発信され、「観光王国みやぎ」のイメージが定着しています。
- 県民が観光のもたらす効果を理解するとともに、自然環境や食文化など地域の観光資源が磨き上げられ、観光客の受入体制が整っています。
- 外国人や高齢者、障害者、子ども連れなど、だれもが訪れやすい観光地づくりが進んでいます。
- 県単独ではなく、東北各県と一体となった観光地づくりが進んでいます。

<概要>

■県全体及び属性別(性別・年齢別・圏域別)の優先順位第1位から第3位までは以下のとおり。

	◆県全体	■性別		■年齢別	
		男性	女性	65歳未満	65歳以上
第1位:	エ	エ	エ	エ	エ
第2位:	ア	ア	ア	ア	ア
第3位:	キ	キ	キ	キ	ウ

	■圏域別						
	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
第1位:	エ	エ	エ	エ	エ	エ	キ
第2位:	ア	ア	ア	ア	ア	ア	エ
第3位:	ウ	ク	キ	ク	ウ	キ	ウ

※属性別の優先順位が県全体と異なる場合、項目記号を網掛けしている。

図2-2-5-5 取組5 特に優先すべきと思う項目回答数(県全体)

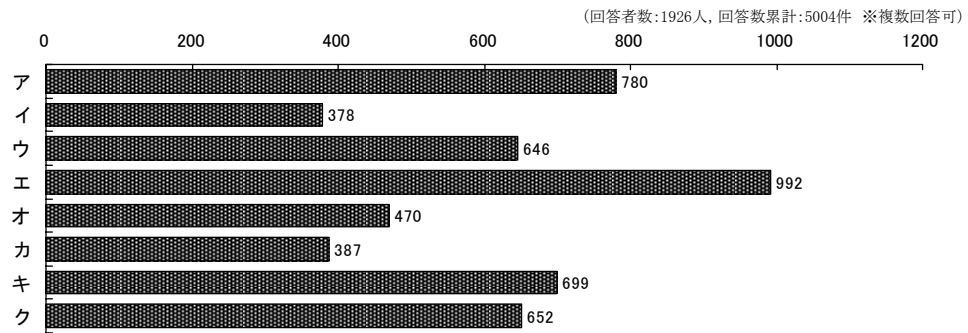
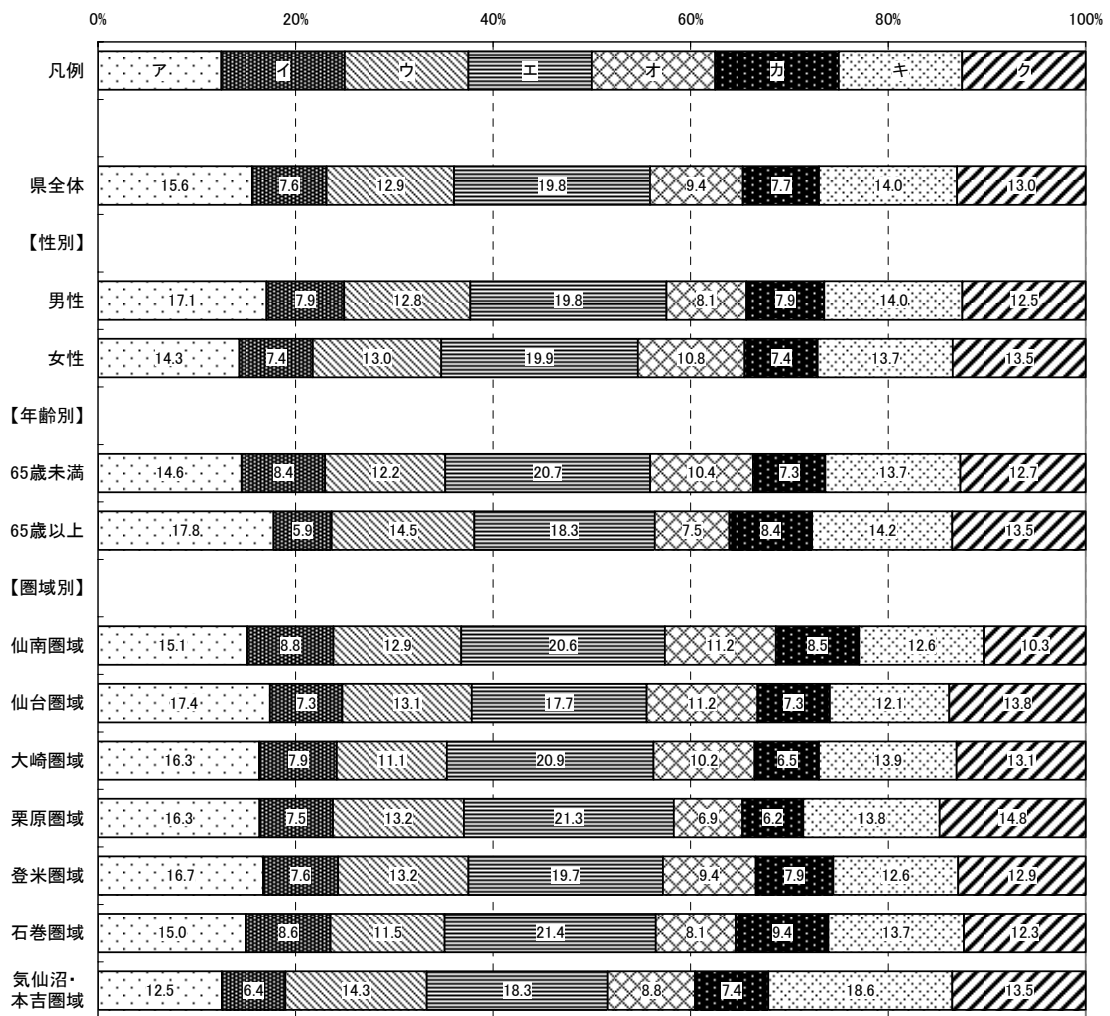


図2-2-5-6 取組5 特に優先すべきと思う項目割合(属性別)



※本図は、回答数累計に占める各項目の回答数の割合を属性別に示したものです。

取組5 「地域が潤う，訪れてよしの
観光王国みやぎの実現」

取組6 競争力ある農林水産業への転換



取組概要

消費者の声を重視した生産・流通構造への転換や経営力の向上等を進め、農林水産物のブランド化や他産業との連携を進めていくとともに、意欲的に事業展開に取り組む経営体を支援し、競争力ある農林水産業への転換を目指します。

平成22年度の主な取組

- 農林水産業のビジネスチャンス拡大に向けて、マッチングフェアや生産現場見学会の開催、県産食材による新商品開発の取組を支援しているほか、地域経済を担う企業的アグリビジネス経営体の育成にも取り組んでいます。
- 農林水産物のブランド化を推進するため、県産食材のフェア開催や「宮城のぎんざけ」「気仙沼メカジキ」について新たなブランド化への取組を支援しています。
- 県産木材の利用拡大のため、木材生産の一層の低コスト化とともに、「優良みやぎ材」を使用した住宅や木造公共施設への支援に取り組んでいます。
- 東アジア地域への輸出を促進するため、香港、台湾等での県内企業と現地企業との商談会開催、食品見本市への参加等を支援しています。

[成果等]商談会開催回数 2回

【認知度】 (県がこの取組を行っていたことについて、どのくらい知っているか)

< 概要 >

■ 県全体

「知っている」「ある程度知っている」を合わせた『高認知群』は36.4%、
「あまり知らない」「知らない」を合わせた『低認知群』は63.6%である。

■ 性別

男性の『高認知群』は42.8%で、県全体より6.4ポイント高い。

女性の『高認知群』は30.8%で、県全体より5.6ポイント低い。

■ 年齢別

65歳未満の『高認知群』は33.0%で、県全体より3.4ポイント低い。

65歳以上の『高認知群』は43.8%で、県全体より7.4ポイント高い。

■ 圏域別

仙台圏域の『高認知群』は28.8%で、県全体より7.6ポイント低い。

気仙沼・本吉圏域の『高認知群』は49.2%で、県全体より12.8ポイント高い。

その他の圏域の『高認知群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-6-1 取組6 認知度割合(属性別)

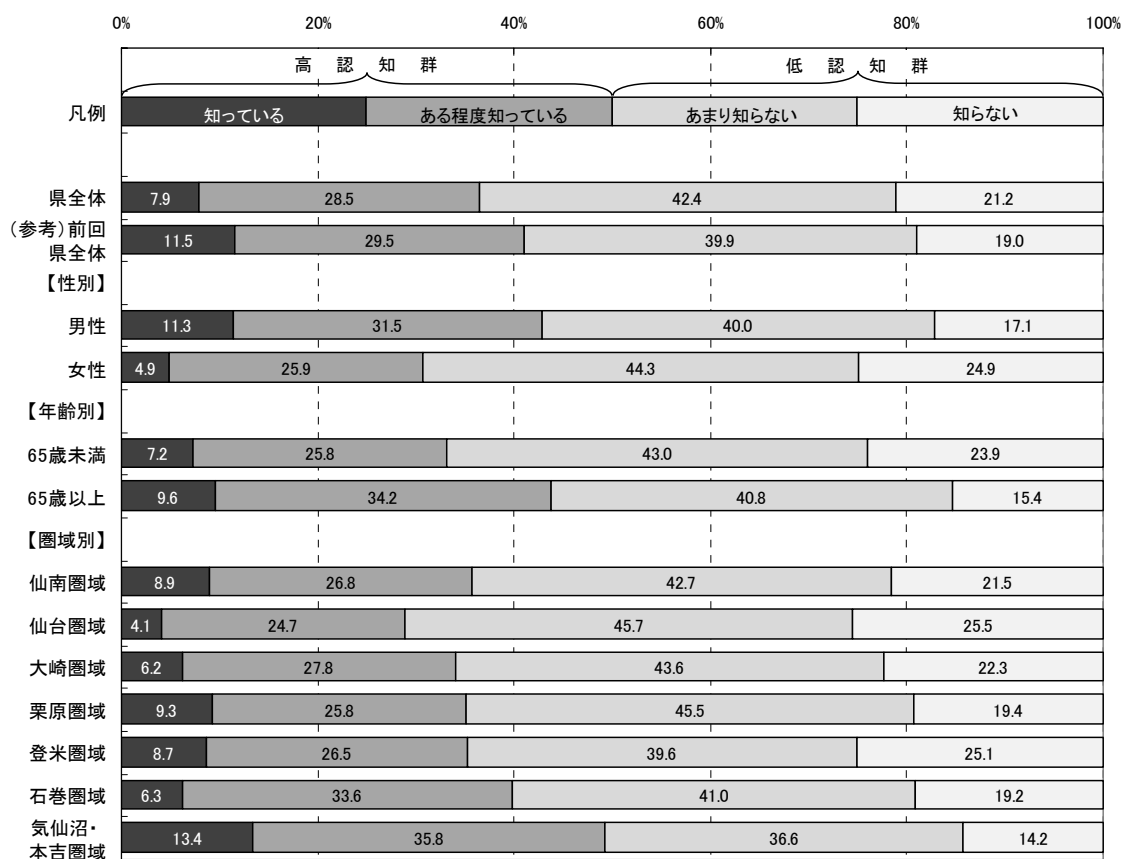


表2-2-6-1 取組6 認知度集計(属性別)

		有 効					欠 損 値	合 計
		知っている	ある程度 知っている	あまり 知らない	知らない	合計		
県全体	度数	156	562	836	418	1,972	81	2,053
	パーセント	7.9	28.5	42.4	21.2	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	217	555	750	357	1,879	65	1,944
	パーセント	11.5	29.5	39.9	19.0	100.0		
【性別】								
男性	度数	104	289	367	157	917	32	949
	パーセント	11.3	31.5	40.0	17.1	100.0		
女性	度数	48	256	438	246	988	43	1,031
	パーセント	4.9	25.9	44.3	24.9	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	92	328	546	304	1,270	27	1,297
	パーセント	7.2	25.8	43.0	23.9	100.0		
65歳以上	度数	60	214	255	96	625	48	673
	パーセント	9.6	34.2	40.8	15.4	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	22	66	105	53	246	4	250
	パーセント	8.9	26.8	42.7	21.5	100.0		
仙台圏域	度数	11	66	122	68	267	9	276
	パーセント	4.1	24.7	45.7	25.5	100.0		
大崎圏域	度数	17	76	119	61	273	14	287
	パーセント	6.2	27.8	43.6	22.3	100.0		
栗原圏域	度数	26	72	127	54	279	8	287
	パーセント	9.3	25.8	45.5	19.4	100.0		
登米圏域	度数	24	73	109	69	275	9	284
	パーセント	8.7	26.5	39.6	25.1	100.0		
石巻圏域	度数	17	91	111	52	271	8	279
	パーセント	6.3	33.6	41.0	19.2	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	33	88	90	35	246	10	256
	パーセント	13.4	35.8	36.6	14.2	100.0		

【関心度】 (県が行ってきたこの取組の内容について、どのくらい関心があるか)

< 概要 >

■ 県全体

「関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた『高関心群』は60.5%、
「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた『低関心群』は39.5%である。

■ 性別

男性の『高関心群』は67.4%で、県全体より6.9ポイント高い。

女性の『高関心群』は54.6%で、県全体より5.9ポイント低い。

■ 年齢別

65歳未満の『高関心群』は57.5%で、県全体より3.0ポイント低い。

65歳以上の『高関心群』は67.8%で、県全体より7.3ポイント高い。

■ 圏域別

仙台圏域の『高関心群』は52.1%で、県全体より8.4ポイント低い。

気仙沼・本吉圏域の『高関心群』は74.7%で、県全体より14.2ポイント高い。

その他の圏域の『高関心群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-6-2 取組6 関心度割合(属性別)

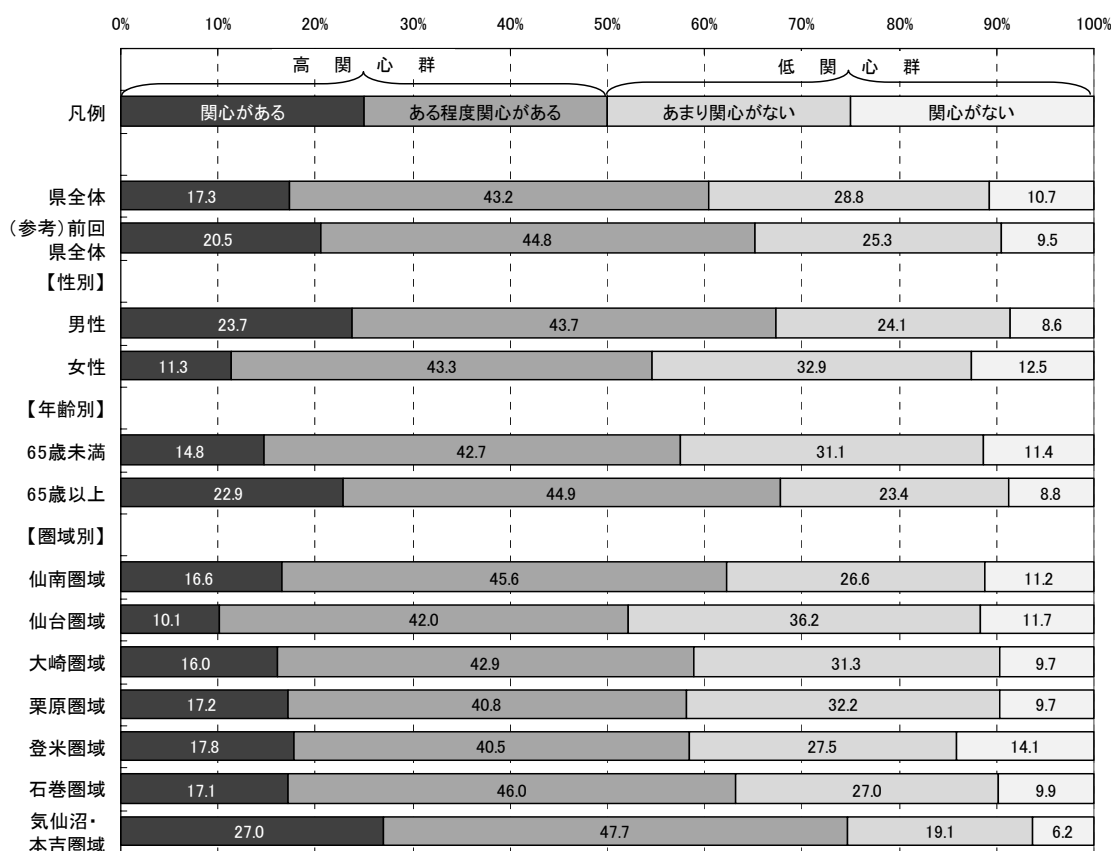


表2-2-6-2 取組6 関心度集計(属性別)

		有 効					欠 損 値	合 計
		関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	関心がない	合計		
県全体	度数	332	829	552	206	1,919	134	2,053
	パーセント	17.3	43.2	28.8	10.7	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	375	819	463	173	1,830	114	1,944
	パーセント	20.5	44.8	25.3	9.5	100.0		
【性別】								
男性	度数	213	392	216	77	898	51	949
	パーセント	23.7	43.7	24.1	8.6	100.0		
女性	度数	108	415	315	120	958	73	1,031
	パーセント	11.3	43.3	32.9	12.5	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	184	531	387	142	1,244	53	1,297
	パーセント	14.8	42.7	31.1	11.4	100.0		
65歳以上	度数	138	270	141	53	602	71	673
	パーセント	22.9	44.9	23.4	8.8	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	40	110	64	27	241	9	250
	パーセント	16.6	45.6	26.6	11.2	100.0		
仙台圏域	度数	26	108	93	30	257	19	276
	パーセント	10.1	42.0	36.2	11.7	100.0		
大崎圏域	度数	43	115	84	26	268	19	287
	パーセント	16.0	42.9	31.3	9.7	100.0		
栗原圏域	度数	46	109	86	26	267	20	287
	パーセント	17.2	40.8	32.2	9.7	100.0		
登米圏域	度数	48	109	74	38	269	15	284
	パーセント	17.8	40.5	27.5	14.1	100.0		
石巻圏域	度数	45	121	71	26	263	16	279
	パーセント	17.1	46.0	27.0	9.9	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	65	115	46	15	241	15	256
	パーセント	27.0	47.7	19.1	6.2	100.0		

【重視度】 (県がこの取組を今後行っていくことが、どのくらい重要と考えるか)

< 概要 >

■ 県全体

「重要」「やや重要」を合わせた『高重視群』は61.7%、「あまり重要ではない」「重要ではない」を合わせた『低重視群』は16.4%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『高重視群』が79.0%、『低重視群』は21.0%となる。

■ 性別

男性の『高重視群』は67.6%で、県全体より5.9ポイント高い。

女性の『高重視群』は56.4%で、県全体より5.3ポイント低い。

■ 年齢別

65歳未満の『高重視群』は58.2%で、県全体より3.5ポイント低い。

65歳以上の『高重視群』は69.7%で、県全体より8.0ポイント高い。

■ 圏域別

仙台圏域の『高重視群』は52.9%で、県全体より8.8ポイント低い。

気仙沼・本吉圏域の『高重視群』は72.1%で、県全体より10.4ポイント高い。

その他の圏域の『高重視群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-6-3 取組6 重視度割合(属性別)

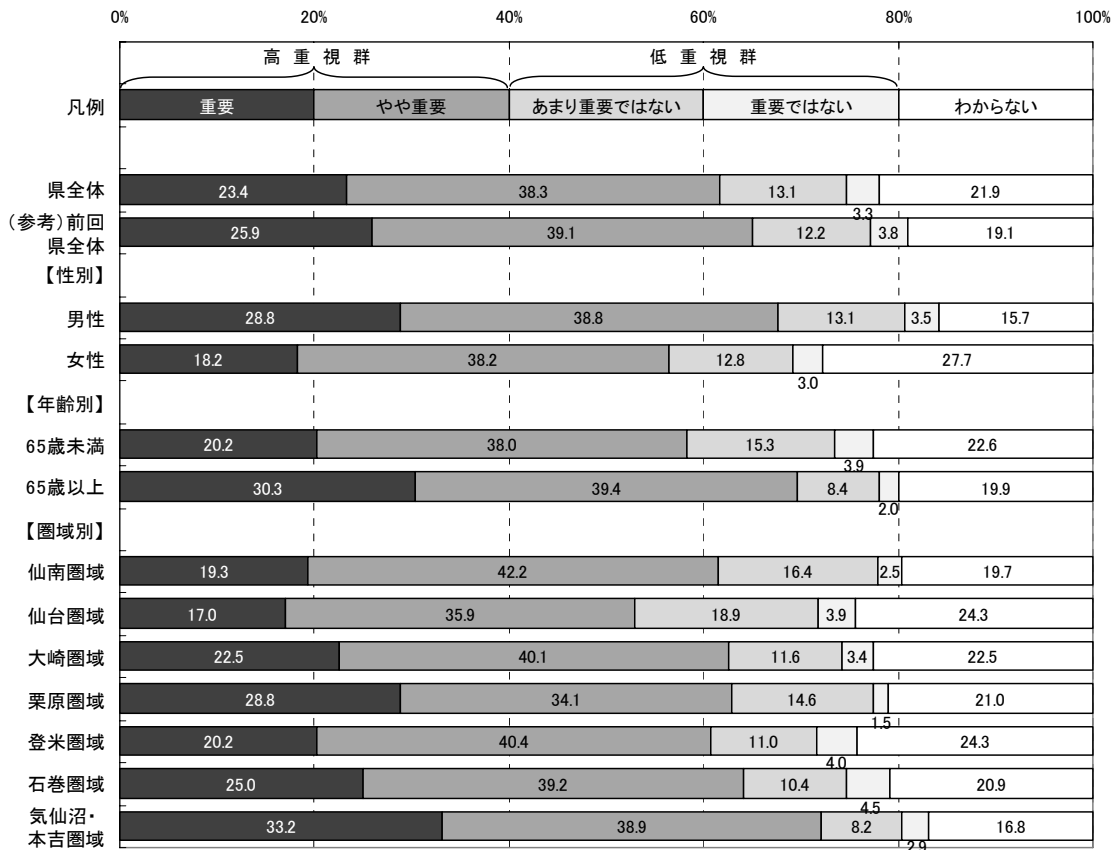


表2-2-6-3 取組6 重視度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		重要	やや重要	あまり重要 ではない	重要では ない	わからない			
県全体	度数	452	740	253	64	424	1,933	120	2,053
	パーセント	23.4	38.3	13.1	3.3	21.9	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	30.0	49.0	16.8	4.2		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	475	716	223	69	350	1,833	111	1,944
	パーセント	25.9	39.1	12.2	3.8	19.1	100.0		
【性別】									
男性	度数	262	353	119	32	143	909	40	949
	パーセント	28.8	38.8	13.1	3.5	15.7	100.0		
女性	度数	175	366	123	29	266	959	72	1,031
	パーセント	18.2	38.2	12.8	3.0	27.7	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	253	475	191	49	282	1,250	47	1,297
	パーセント	20.2	38.0	15.3	3.9	22.6	100.0		
65歳以上	度数	184	239	51	12	121	607	66	673
	パーセント	30.3	39.4	8.4	2.0	19.9	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	47	103	40	6	48	244	6	250
	パーセント	19.3	42.2	16.4	2.5	19.7	100.0		
仙台圏域	度数	44	93	49	10	63	259	17	276
	パーセント	17.0	35.9	18.9	3.9	24.3	100.0		
大崎圏域	度数	60	107	31	9	60	267	20	287
	パーセント	22.5	40.1	11.6	3.4	22.5	100.0		
栗原圏域	度数	77	91	39	4	56	267	20	287
	パーセント	28.8	34.1	14.6	1.5	21.0	100.0		
登米圏域	度数	55	110	30	11	66	272	12	284
	パーセント	20.2	40.4	11.0	4.0	24.3	100.0		
石巻圏域	度数	67	105	28	12	56	268	11	279
	パーセント	25.0	39.2	10.4	4.5	20.9	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	81	95	20	7	41	244	12	256
	パーセント	33.2	38.9	8.2	2.9	16.8	100.0		

【満足度】 (県が行ってきたこの取組について、どのくらい満足しているか)

<概要>

■県全体

「満足」「やや満足」を合わせた『満足群』は36.4%、「やや不満」「不満」を合わせた『不満群』は27.2%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『満足群』が57.2%、『不満群』は42.8%となる。

■性別

男性の『満足群』は37.7%で、県全体より1.3ポイント高い。

女性の『満足群』は36.0%で、県全体より0.4ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『満足群』は32.9%で、県全体より3.5ポイント低い。

65歳以上の『満足群』は45.7%で、県全体より9.3ポイント高い。

■圏域別

各圏域の『満足群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-6-4 取組6 満足度割合(属性別)

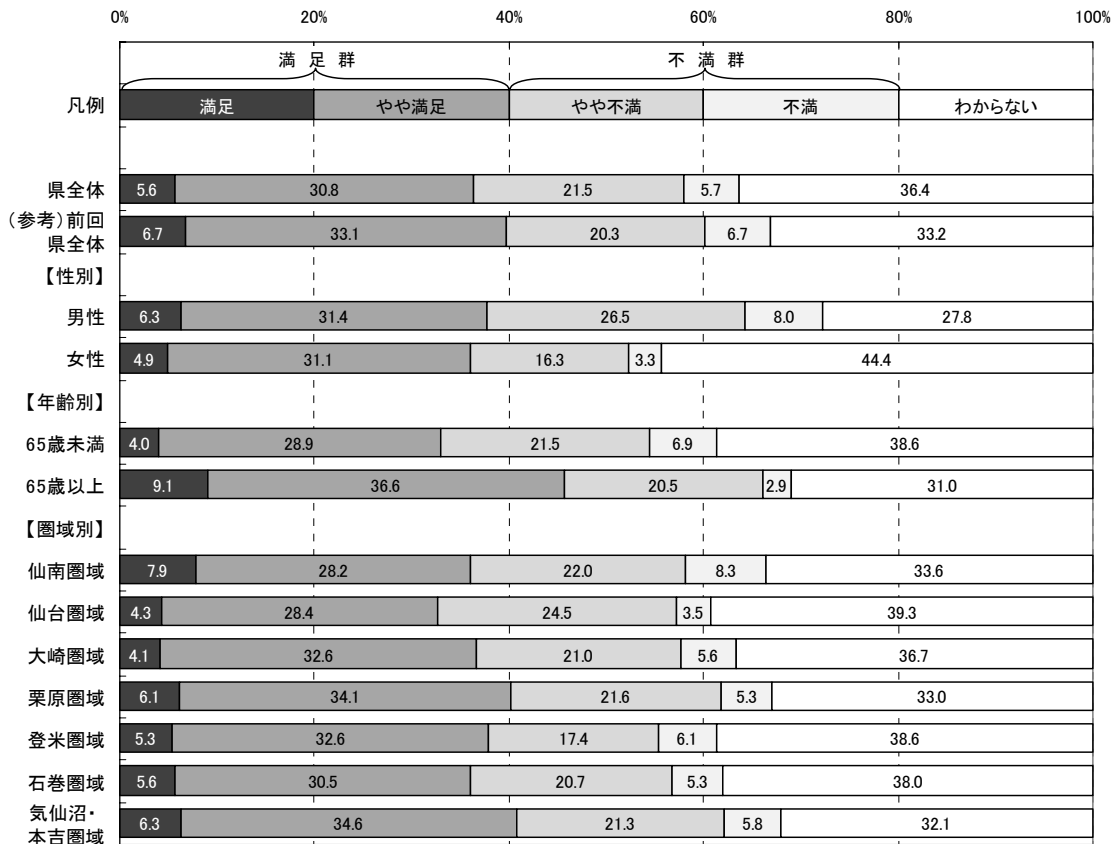


表2-2-6-4 取組6 満足度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない			
県全体	度数	107	588	411	108	694	1,908	145	2,053
	パーセント	5.6	30.8	21.5	5.7	36.4	100.0		
	「わからない」を除くパーセント	8.8	48.4	33.9	8.9		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	121	600	368	122	602	1,813	131	1,944
	パーセント	6.7	33.1	20.3	6.7	33.2	100.0		
【性別】									
男性	度数	57	283	239	72	251	902	47	949
	パーセント	6.3	31.4	26.5	8.0	27.8	100.0		
女性	度数	46	294	154	31	419	944	87	1,031
	パーセント	4.9	31.1	16.3	3.3	44.4	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	50	358	267	86	479	1,240	57	1,297
	パーセント	4.0	28.9	21.5	6.9	38.6	100.0		
65歳以上	度数	54	218	122	17	185	596	77	673
	パーセント	9.1	36.6	20.5	2.9	31.0	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	19	68	53	20	81	241	9	250
	パーセント	7.9	28.2	22.0	8.3	33.6	100.0		
仙台圏域	度数	11	73	63	9	101	257	19	276
	パーセント	4.3	28.4	24.5	3.5	39.3	100.0		
大崎圏域	度数	11	87	56	15	98	267	20	287
	パーセント	4.1	32.6	21.0	5.6	36.7	100.0		
栗原圏域	度数	16	90	57	14	87	264	23	287
	パーセント	6.1	34.1	21.6	5.3	33.0	100.0		
登米圏域	度数	14	86	46	16	102	264	20	284
	パーセント	5.3	32.6	17.4	6.1	38.6	100.0		
石巻圏域	度数	15	81	55	14	101	266	13	279
	パーセント	5.6	30.5	20.7	5.3	38.0	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	15	83	51	14	77	240	16	256
	パーセント	6.3	34.6	21.3	5.8	32.1	100.0		

【特に優先すべきと思う項目】

取組6に関し、目標とする宮城の姿を目指して、県が下記の項目の中で今後特に優先すべきと思う項目について調査した。(複数回答可)

- ア 消費者の視点に立って商品を生産していく農林水産業への転換支援
- イ 「食材王国みやぎ」を支える県産農林水産物のブランド化
- ウ 大規模生産法人や集落営農組織等の園芸生産拡大によるバランスの取れた農業生産構造への転換促進
- エ 農地の団地化など効率的利用の促進や米粉用米・飼料用米等の生産拡大による水田の有効活用の促進
- オ 農業者が生産から流通・加工・販売などを一体で行うアグリビジネスなど企業的经营の促進
- カ 森林整備推進, 低コストで安定的な木材の供給促進や良質な製材品等の加工・流通支援
- キ 水産資源の適切な管理と水産物の水揚げ強化や水産加工品等の商品開発による付加価値向上の支援
- ク 県内農林水産物の需要拡大を図るための、農林水産業と流通加工業者等との取引の仲介支援と農商工連携の促進
- ケ 香港・台湾・韓国・中国・ロシア等の重点地域に向けた県産食品の輸出促進
- コ 農林水産業における経営コストの低減や効率的な生産に資するための生産基盤の整備促進

(参考: 目標とする宮城の姿)

- 消費者からも支持され、「食材王国みやぎ」を代表するブランドとして、全国的にも有名な農林水産物が増えています。
- 効率的な生産体制や経営感覚に優れた生産者や法人が増えています。
- 東アジアへの輸出など、国外市場にも目を向けた農林水産業の新たな動きが始まっています。
- 食品製造業や卸小売業、外食産業などとの連携が進んでいます。

<概要>

■県全体及び属性別(性別・年齢別・圏域別)の優先順位第1位から第3位までは以下のとおり。

	◆県全体	■性別		■年齢別	
		男性	女性	65歳未満	65歳以上
第1位:	イ	イ	イ	イ	エ
第2位:	エ	エ	エ	エ	イ
第3位:	ア	ア	ア	ア	ア

	■圏域別						
	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
第1位:	イ	イ	イ	エ	イ	イ	イ
第2位:	ア	エ	エ	イ	エ	キ	キ
第3位:	エ	ア	ア	ア	ア	ア	ア

※属性別の優先順位が県全体と異なる場合、項目記号を網掛けしている。

図2-2-6-5 取組6 特に優先すべきと思う項目回答数(県全体)

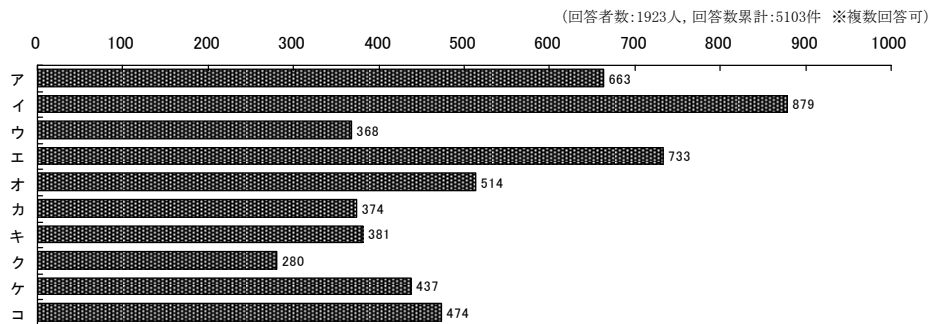
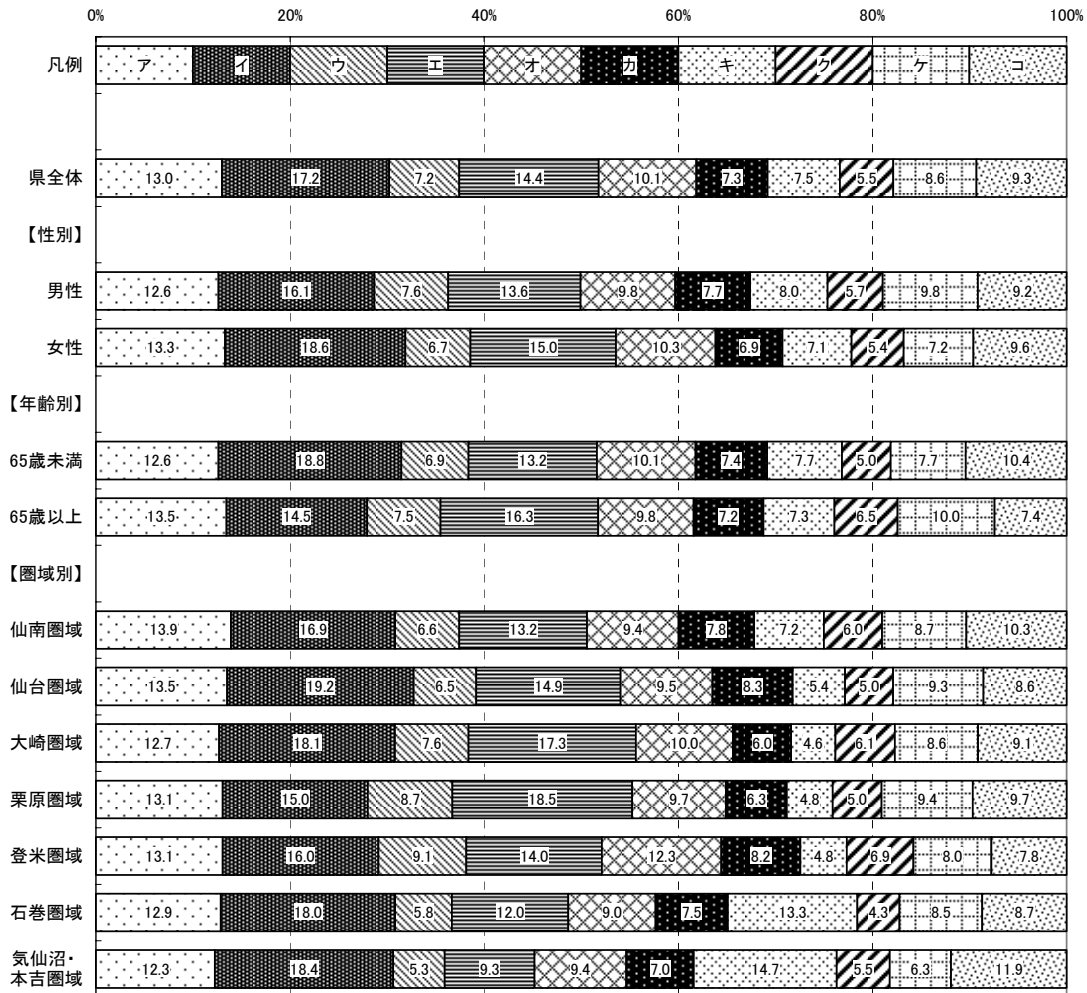


図2-2-6-6 取組6 特に優先すべきと思う項目割合(属性別)



※ 本図は、回答数累計に占める各項目の回答数の割合を属性別に示したものです。

取組7 地産地消や食育を通じた需要の創出と食の安全安心の確保



取組概要

県内産農林水産物や食品の県内での消費・供給力を向上させるため、生産・供給・流通体制の整備を進めるとともに、食に関する情報の提供に努め、食品の安全性に対する消費者の信頼にこたえられる生産体制の確立を目指します。

平成22年度の主な取組

- 「安全で安心できる食」の実現を目指し、みやぎ食の安全安心消費者モニター、みやぎ食の安全安心取組宣言を中心としたみやぎ食の安全安心県民総参加運動を展開しています。
- 県の食料自給率の向上を目指し、標語の募集や出前講座を通して、国内外の食料事情や宮城の食材への理解を深め、1団体1行動に取り組むみやぎ食料自給率向上県民運動を展開しています。
- 県産米粉の需要拡大に向け、「こめ粉レシピコンテスト」や米粉フェアの開催、産学官連携による県産米粉の用途別利用特性の把握などを行っています。
- 県産食材やその加工品への理解を深めるため、「食材王国みやぎ地産地消の日」を設定し県民全体の運動として推進しています。また、学校給食での地場産品の利用拡大を図るため、需要と供給とのマッチングの支援、「すくすくみやぎっ子みやぎのふるさと食材月間」の設定による普及啓発を行っています。
- 県の主要な森林資源であるスギ材の用途を拡大するため、新たな利用技術の開発を進めるとともに、関連する県内民間企業等への技術移転を行っています。
- 県内産かきの安全性を短時間で確認できる検査方法の開発を進めています。

【認知度】 (県がこの取組を行っていたことについて、どのくらい知っているか)

<概要>

■県全体

「知っている」「ある程度知っている」を合わせた『高認知群』は53.4%、
「あまり知らない」「知らない」を合わせた『低認知群』は46.7%である。

■性別

男性の『高認知群』は49.9%で、県全体より3.5ポイント低い。
女性の『高認知群』は56.6%で、県全体より3.2ポイント高い。

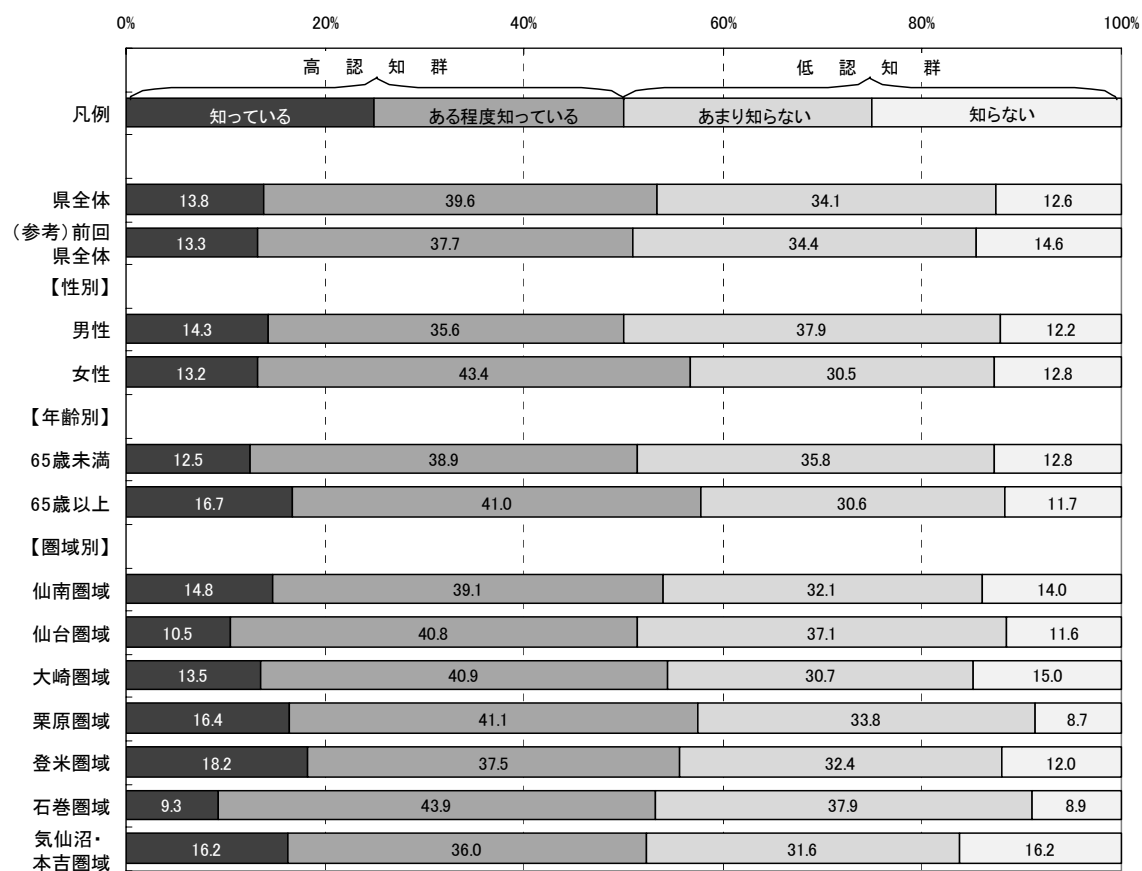
■年齢別

65歳未満の『高認知群』は51.4%で、県全体より2.0ポイント低い。
65歳以上の『高認知群』は57.7%で、県全体より4.3ポイント高い。

■圏域別

各圏域の『高認知群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-7-1 取組7 認知度割合(属性別)



取組7 「地産地消や食育を通じた需要の創出と
食の安全安心の確保」

表2-2-7-1 取組7 認知度集計(属性別)

		有 効					欠 損 値	合 計
		知っている	ある程度 知っている	あまり 知らない	知らない	合計		
県全体	度数	271	778	670	248	1,967	86	2,053
	パーセント	13.8	39.6	34.1	12.6	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	249	709	647	274	1,879	65	1,944
	パーセント	13.3	37.7	34.4	14.6	100.0		
【性別】								
男性	度数	131	325	346	111	913	36	949
	パーセント	14.3	35.6	37.9	12.2	100.0		
女性	度数	131	430	302	127	990	41	1,031
	パーセント	13.2	43.4	30.5	12.8	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	157	490	451	161	1,259	38	1,297
	パーセント	12.5	38.9	35.8	12.8	100.0		
65歳以上	度数	106	260	194	74	634	39	673
	パーセント	16.7	41.0	30.6	11.7	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	36	95	78	34	243	7	250
	パーセント	14.8	39.1	32.1	14.0	100.0		
仙台圏域	度数	28	109	99	31	267	9	276
	パーセント	10.5	40.8	37.1	11.6	100.0		
大崎圏域	度数	37	112	84	41	274	13	287
	パーセント	13.5	40.9	30.7	15.0	100.0		
栗原圏域	度数	45	113	93	24	275	12	287
	パーセント	16.4	41.1	33.8	8.7	100.0		
登米圏域	度数	50	103	89	33	275	9	284
	パーセント	18.2	37.5	32.4	12.0	100.0		
石巻圏域	度数	25	118	102	24	269	10	279
	パーセント	9.3	43.9	37.9	8.9	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	40	89	78	40	247	9	256
	パーセント	16.2	36.0	31.6	16.2	100.0		

【関心度】 (県が行ってきたこの取組の内容について、どのくらい関心があるか)

<概要>

■県全体

「関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた『高関心群』は74.6%、
「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた『低関心群』は25.4%である。

■性別

男性の『高関心群』は73.4%で、県全体より1.2ポイント低い。

女性の『高関心群』は75.9%で、県全体より1.3ポイント高い。

■年齢別

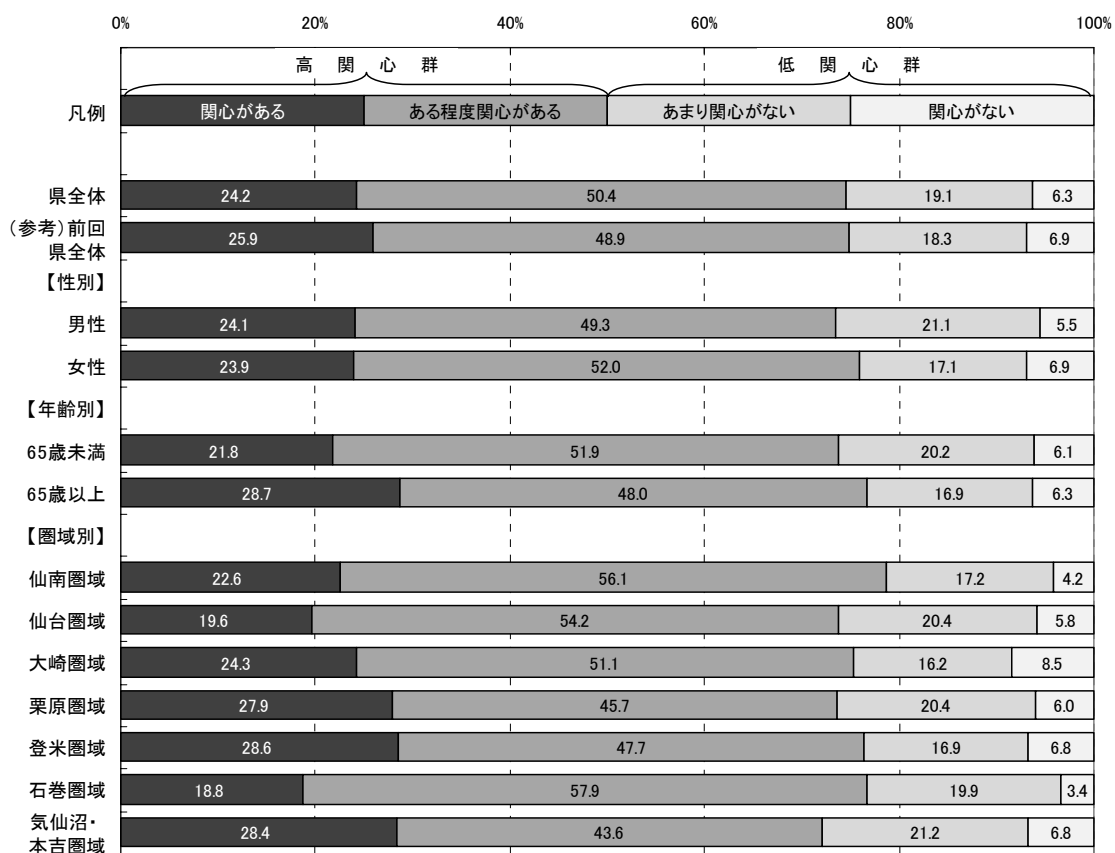
65歳未満の『高関心群』は73.7%で、県全体より0.9ポイント低い。

65歳以上の『高関心群』は76.7%で、県全体より2.1ポイント高い。

■圏域別

各圏域の『高関心群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-7-2 取組7 関心度割合(属性別)



取組7 「地産地消や食育を通じた需要の創出と
食の安全安心の確保」

表2-2-7-2 取組7 関心度集計(属性別)

		有 効					欠 損 値	合 計
		関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	関心がない	合計		
県全体	度数	463	962	364	121	1,910	143	2,053
	パーセント	24.2	50.4	19.1	6.3	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	476	900	337	126	1,839	105	1,944
	パーセント	25.9	48.9	18.3	6.9	100.0		
【性別】								
男性	度数	215	440	188	49	892	57	949
	パーセント	24.1	49.3	21.1	5.5	100.0		
女性	度数	229	498	164	66	957	74	1,031
	パーセント	23.9	52.0	17.1	6.9	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	270	642	250	75	1,237	60	1,297
	パーセント	21.8	51.9	20.2	6.1	100.0		
65歳以上	度数	173	289	102	38	602	71	673
	パーセント	28.7	48.0	16.9	6.3	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	54	134	41	10	239	11	250
	パーセント	22.6	56.1	17.2	4.2	100.0		
仙台圏域	度数	51	141	53	15	260	16	276
	パーセント	19.6	54.2	20.4	5.8	100.0		
大崎圏域	度数	66	139	44	23	272	15	287
	パーセント	24.3	51.1	16.2	8.5	100.0		
栗原圏域	度数	74	121	54	16	265	22	287
	パーセント	27.9	45.7	20.4	6.0	100.0		
登米圏域	度数	76	127	45	18	266	18	284
	パーセント	28.6	47.7	16.9	6.8	100.0		
石巻圏域	度数	49	151	52	9	261	18	279
	パーセント	18.8	57.9	19.9	3.4	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	67	103	50	16	236	20	256
	パーセント	28.4	43.6	21.2	6.8	100.0		

【重視度】 (県がこの取組を今後行っていくことが、どのくらい重要と考えるか)

<概要>

■県全体

「重要」「やや重要」を合わせた『高重視群』は73.2%、「あまり重要ではない」「重要ではない」を合わせた『低重視群』は12.5%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『高重視群』が85.4%、『低重視群』は14.7%となる。

■性別

男性の『高重視群』は73.3%で、県全体より0.1ポイント高い。

女性の『高重視群』は73.1%で、県全体より0.1ポイント低い。

■年齢別

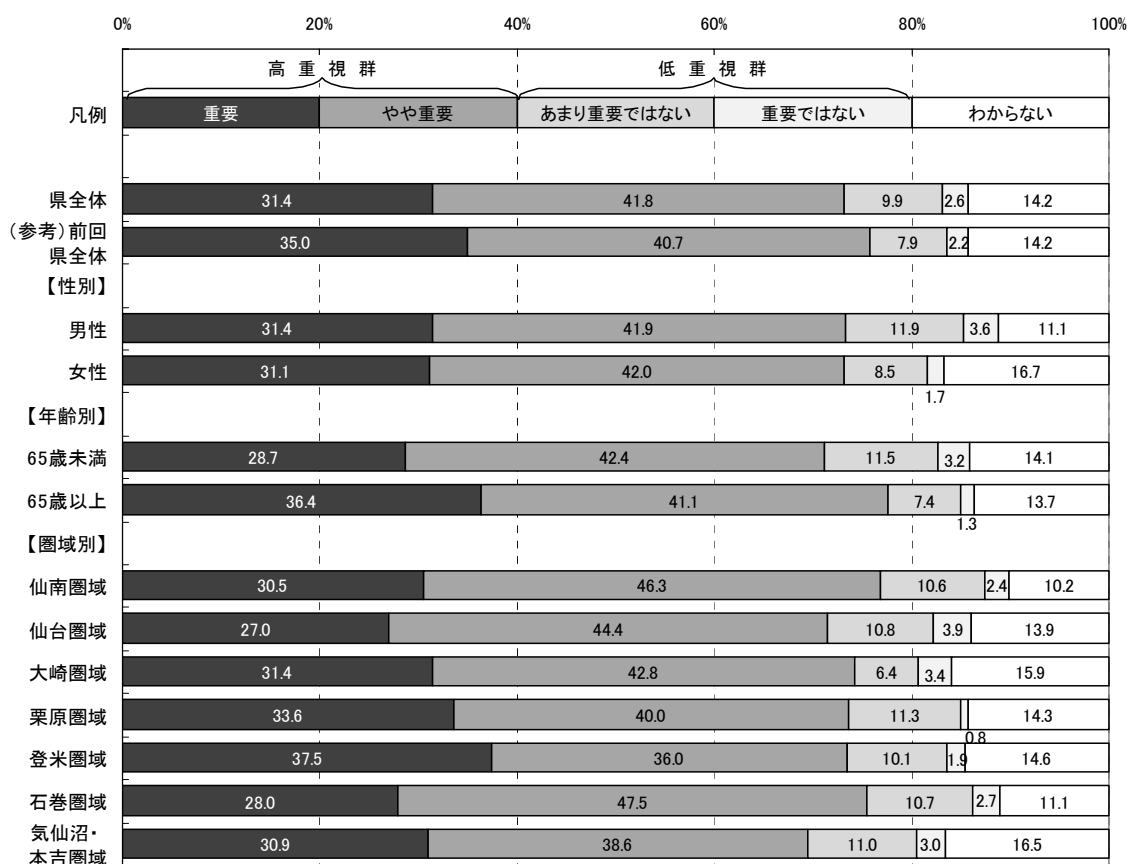
65歳未満の『高重視群』は71.1%で、県全体より2.1ポイント低い。

65歳以上の『高重視群』は77.5%で、県全体より4.3ポイント高い。

■圏域別

各圏域の『高重視群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-7-3 取組7 重視度割合(属性別)



取組7 「地産地消や食育を通じた需要の創出と
食の安全安心の確保」

表2-2-7-3 取組7 重視度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		重要	やや重要	あまり重要 ではない	重要では ない	わからない			
県全体	度数	599	796	189	50	271	1,905	148	2,053
	パーセント	31.4	41.8	9.9	2.6	14.2	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	36.7	48.7	11.6	3.1		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	640	746	144	41	260	1,831	113	1,944
	パーセント	35.0	40.7	7.9	2.2	14.2	100.0		
【性別】									
男性	度数	279	372	106	32	99	888	61	949
	パーセント	31.4	41.9	11.9	3.6	11.1	100.0		
女性	度数	298	402	81	16	160	957	74	1,031
	パーセント	31.1	42.0	8.5	1.7	16.7	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	357	527	143	40	175	1,242	55	1,297
	パーセント	28.7	42.4	11.5	3.2	14.1	100.0		
65歳以上	度数	216	244	44	8	81	593	80	673
	パーセント	36.4	41.1	7.4	1.3	13.7	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	75	114	26	6	25	246	4	250
	パーセント	30.5	46.3	10.6	2.4	10.2	100.0		
仙台圏域	度数	70	115	28	10	36	259	17	276
	パーセント	27.0	44.4	10.8	3.9	13.9	100.0		
大崎圏域	度数	83	113	17	9	42	264	23	287
	パーセント	31.4	42.8	6.4	3.4	15.9	100.0		
栗原圏域	度数	89	106	30	2	38	265	22	287
	パーセント	33.6	40.0	11.3	0.8	14.3	100.0		
登米圏域	度数	100	96	27	5	39	267	17	284
	パーセント	37.5	36.0	10.1	1.9	14.6	100.0		
石巻圏域	度数	73	124	28	7	29	261	18	279
	パーセント	28.0	47.5	10.7	2.7	11.1	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	73	91	26	7	39	236	20	256
	パーセント	30.9	38.6	11.0	3.0	16.5	100.0		

【満足度】 (県が行ってきたこの取組について、どのくらい満足しているか)

<概要>

■県全体

「満足」「やや満足」を合わせた『満足群』は49.6%、「やや不満」「不満」を合わせた『不満群』は23.7%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『満足群』が67.7%、『不満群』は32.3%となる。

■性別

男性の『満足群』は46.9%で、県全体より2.7ポイント低い。

女性の『満足群』は52.4%で、県全体より2.8ポイント高い。

■年齢別

65歳未満の『満足群』は46.5%で、県全体より3.1ポイント低い。

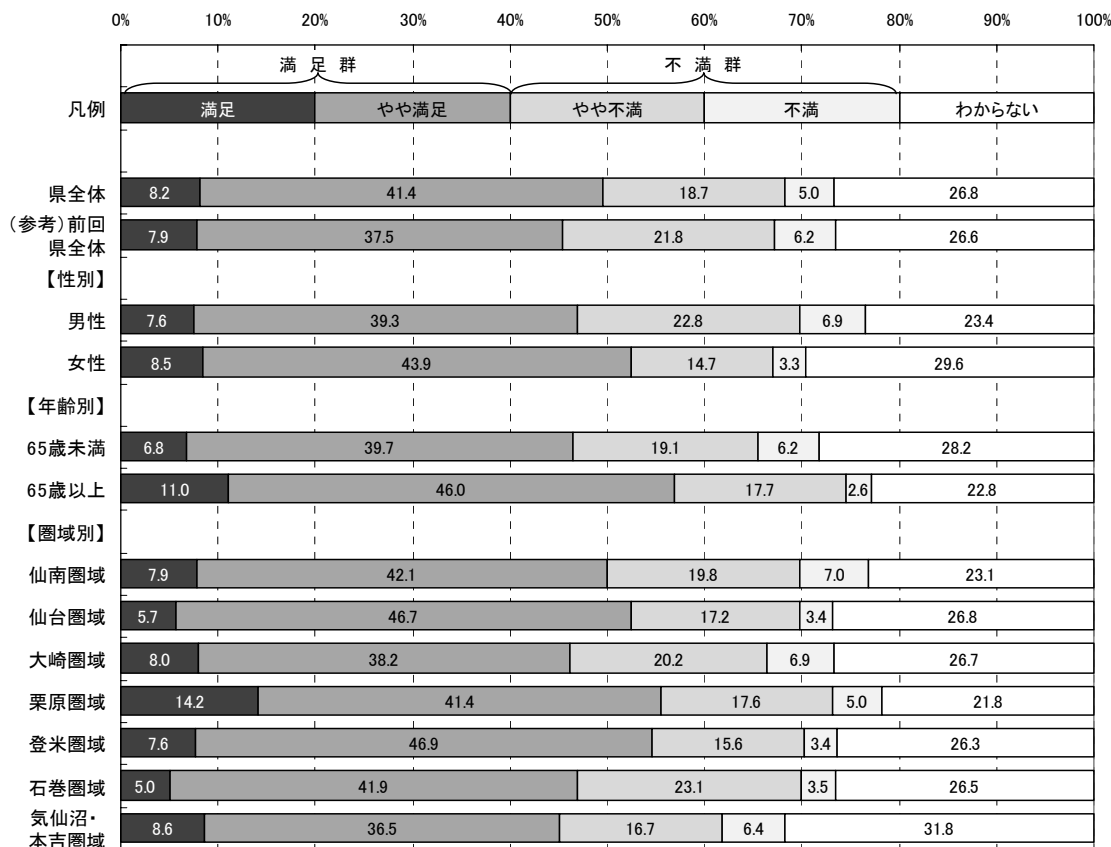
65歳以上の『満足群』は57.0%で、県全体より7.4ポイント高い。

■圏域別

栗原圏域の『満足群』は55.6%で、県全体より6.0ポイント高い。

その他の圏域の『満足群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-7-4 取組7 満足度割合(属性別)



取組7 「地産地消や食育を通じた需要の創出と食の安全安心の確保」

表2-2-7-4 取組7 満足度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない			
県全体	度数	154	780	352	94	504	1,884	169	2,053
	パーセント	8.2	41.4	18.7	5.0	26.8	100.0		
	「わからない」を除くパーセント	11.2	56.5	25.5	6.8		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	142	678	394	112	480	1,806	138	1,944
	パーセント	7.9	37.5	21.8	6.2	26.6	100.0		
【性別】									
男性	度数	67	348	202	61	207	885	64	949
	パーセント	7.6	39.3	22.8	6.9	23.4	100.0		
女性	度数	80	415	139	31	280	945	86	1,031
	パーセント	8.5	43.9	14.7	3.3	29.6	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	84	491	236	77	349	1,237	60	1,297
	パーセント	6.8	39.7	19.1	6.2	28.2	100.0		
65歳以上	度数	64	268	103	15	133	583	90	673
	パーセント	11.0	46.0	17.7	2.6	22.8	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	19	102	48	17	56	242	8	250
	パーセント	7.9	42.1	19.8	7.0	23.1	100.0		
仙台圏域	度数	15	122	45	9	70	261	15	276
	パーセント	5.7	46.7	17.2	3.4	26.8	100.0		
大崎圏域	度数	21	100	53	18	70	262	25	287
	パーセント	8.0	38.2	20.2	6.9	26.7	100.0		
栗原圏域	度数	37	108	46	13	57	261	26	287
	パーセント	14.2	41.4	17.6	5.0	21.8	100.0		
登米圏域	度数	20	123	41	9	69	262	22	284
	パーセント	7.6	46.9	15.6	3.4	26.3	100.0		
石巻圏域	度数	13	109	60	9	69	260	19	279
	パーセント	5.0	41.9	23.1	3.5	26.5	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	20	85	39	15	74	233	23	256
	パーセント	8.6	36.5	16.7	6.4	31.8	100.0		

【特に優先すべきと思う項目】

取組7に関し、目標とする宮城の姿を目指して、県が下記の項目の中で今後特に優先すべきと思う項目について調査した。(複数回答可)

- ア 食料自給率向上に向けた、関係機関・団体・行政等の協働による県民運動の推進
- イ 地産地消運動の展開による県内農林水産物への理解向上と消費・活用の促進
- ウ 地産地消につながる県産食材の学校給食への利用促進
- エ 宮城の豊かな「食」を生かした食育の推進
- オ 木材の利用意義について理解を深め、県産木材の利用促進を図る県民運動の展開
- カ 安全安心な農林水産物の安定供給の推進
- キ 生産者・事業者と消費者の間での食材や食品についての情報共有による相互理解など、安全安心についての信頼関係づくり
- ク 消費者、生産者・事業者、行政が連携して行う食の安全安心確保のための体制整備

(参考:目標とする宮城の姿)

- 安全安心な食材や食品が提供されるとともに、生産から消費までの情報の共有により、相互理解が進んでいます。
- 学校給食などで利用されることにより、地域で生産される食材への理解が深まっています。
- 地産地消の取組や食育を通じて、健全な食生活や食べ物を大切にする意識が県民に広まっています。また、安全面で信頼できる県産食品の需要が高まっています。
- 県産木材を活用する運動を進めることで県民の意識も高まり、地元の木材を利用して多くの住宅や施設が造られています。

<概要>

■県全体及び属性別(性別・年齢別・圏域別)の優先順位第1位から第3位までは以下のとおり。

	◆県全体	■性別		■年齢別				
		男性	女性	65歳未満	65歳以上			
第1位:	ウ	ウ	エ	エ	ウ			
第2位:	エ	エ	ウ	ウ	ク			
第3位:	ク	ア	ク	ク	ア			

	■圏域別						
	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
第1位:	ウ	ウ	エ	ウエ	ウ	エ	ク
第2位:	エ	エ	ウ	-	エ	ウ	エ
第3位:	ク	ク	ク	ク	ア	ク	ウ

※属性別の優先順位が県全体と異なる場合、項目記号を網掛けしている。

取組7 「地産地消や食育を通じた需要の創出と食の安全安心の確保」

図2-2-7-5 取組7 特に優先すべきと思う項目回答数(県全体)

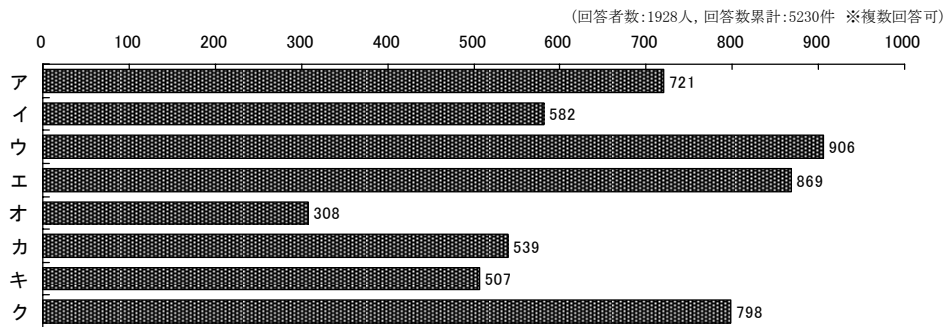
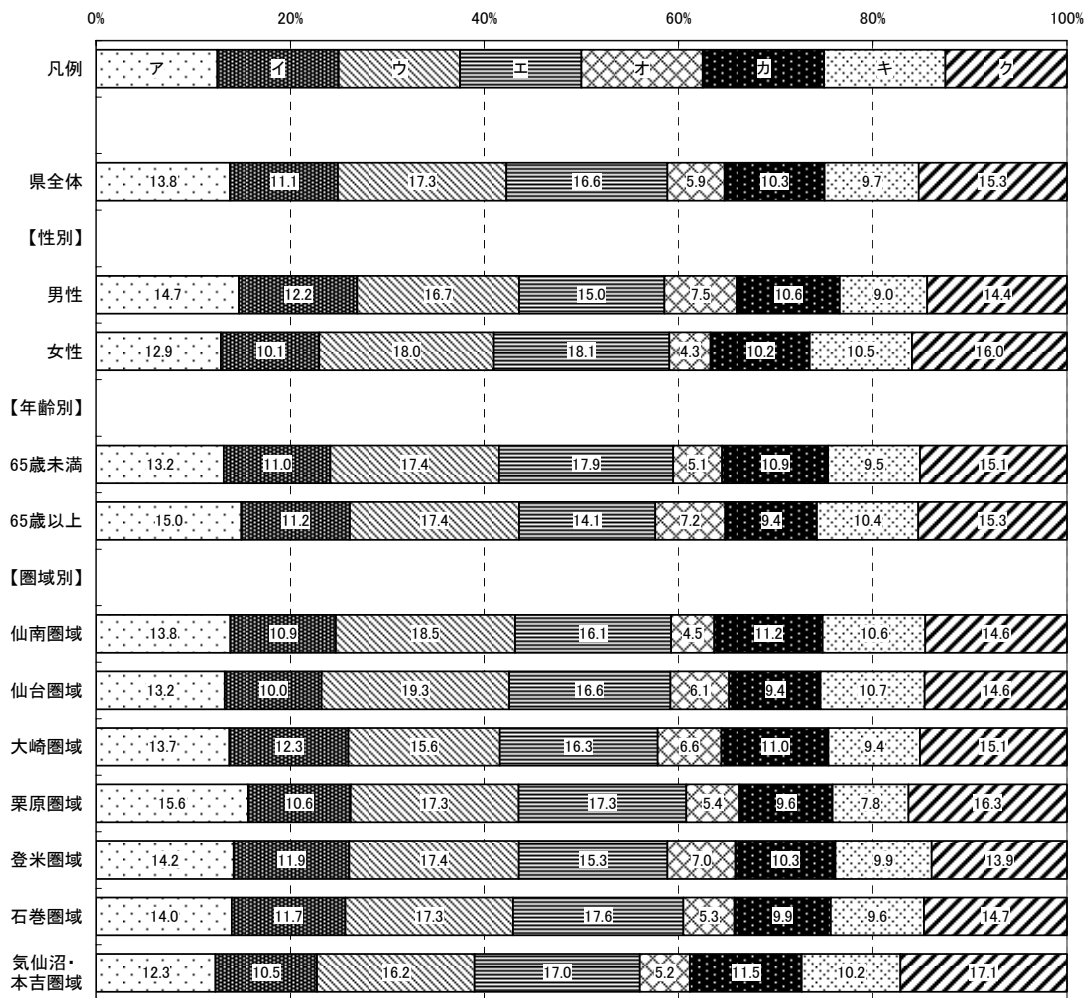


図2-2-7-6 取組7 特に優先すべきと思う項目割合(属性別)



※本図は、回答数累計に占める各項目の回答数の割合を属性別に示したものです。

取組 7 「地産地消や食育を通じた需要の創出と
食の安全安心の確保」

取組 8 県内企業のグローバルビジネスの推進と外資系企業の立地促進



取組概要

中国をはじめ成長を続ける東アジアやロシアなどを中心に、県内企業の海外販路開拓などを積極的に支援するとともに、県内企業の高度な技術、県内大学の研究実績や人材を必要としている海外企業とのビジネスマッチングなど、本県経済のグローバル化と国際的知名度の向上を目指します。

平成22年度の主な取組

- 県内企業の海外販路開拓や原材料等の調達先発掘などの活動を支援するため、専門アドバイザーによる個別相談や海外ビジネスに関する各種の情報を提供する講座を実施するとともに、中国をはじめとする東アジアやロシアなどで商談会等を開催し、県内企業と現地企業との商談機会の提供を行っています。
[成果等] 商談会開催回数 8回予定
- 外資系企業の本県進出や活動促進を図るため、成長分野に注目しながら、海外の大学や民間企業等とのネットワークを生かし、県内の大学や研究機関、企業とのビジネスマッチングなどによる誘致活動を行っています。
[成果等] ビジネスジェット運航支援会社の設立・開業(シアトル(米国)より) 等
- 国際協力活動を経済交流へと発展させていくため、友好関係にある吉林省(中国)など海外自治体から経済分野等を専門とする職員を研修員として受け入れ、宮城県への親近感と信頼感を持つ人材の育成を図っています。
[成果等] 研修員の受入 3人(吉林省(中国)2人, ニジェゴロド州(ロシア)1人)
- 海外との経済交流や観光交流などを促進するため、ニジェゴロド州(ロシア)との協議を行い、相互に協力していくことで合意するなど、海外自治体等との継続的で良好な関係を築いています。
[成果等] ニジェゴロド州(ロシア)との協力協定締結, 中華民国工商協進会(台湾)との協力協定締結 等

【認知度】 (県がこの取組を行っていたことについて、どのくらい知っているか)

<概要>

■県全体

「知っている」「ある程度知っている」を合わせた『高認知群』は17.5%、
「あまり知らない」「知らない」を合わせた『低認知群』は82.6%である。

■性別

男性の『高認知群』は22.0%で、県全体より4.5ポイント高い。

女性の『高認知群』は13.0%で、県全体より4.5ポイント低い。

■年齢別

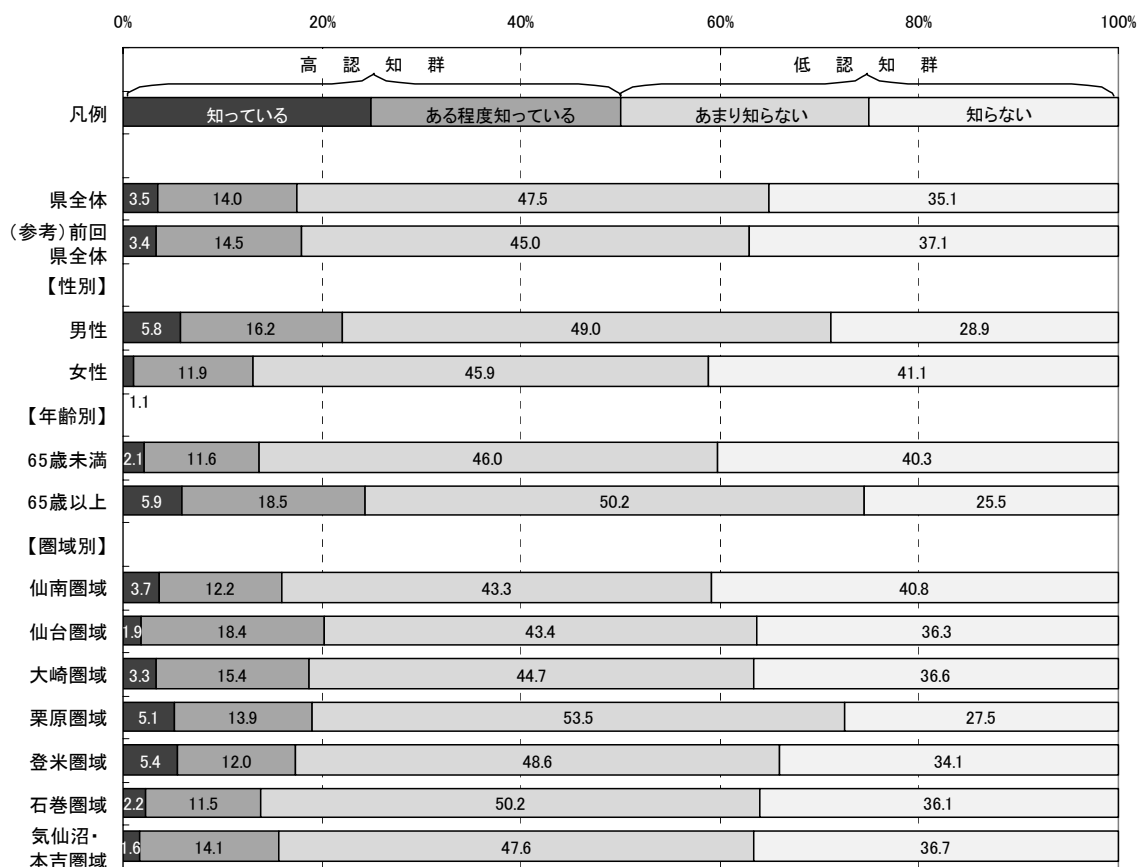
65歳未満の『高認知群』は13.7%で、県全体より3.8ポイント低い。

65歳以上の『高認知群』は24.4%で、県全体より6.9ポイント高い。

■圏域別

各圏域の『高認知群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-8-1 取組8 認知度割合(属性別)



取組8 「県内企業のグローバルビジネスの推進
と外資系企業の立地促進」

表2-2-8-1 取組8 認知度集計(属性別)

		有 効					欠 損 値	合 計
		知っている	ある程度 知っている	あまり 知らない	知らない	合計		
県全体	度数	68	275	935	690	1,968	85	2,053
	パーセント	3.5	14.0	47.5	35.1	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	63	273	844	697	1,877	67	1,944
	パーセント	3.4	14.5	45.0	37.1	100.0		
【性別】								
男性	度数	53	148	447	264	912	37	949
	パーセント	5.8	16.2	49.0	28.9	100.0		
女性	度数	11	118	455	408	992	39	1,031
	パーセント	1.1	11.9	45.9	41.1	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	26	147	580	509	1,262	35	1,297
	パーセント	2.1	11.6	46.0	40.3	100.0		
65歳以上	度数	37	117	317	161	632	41	673
	パーセント	5.9	18.5	50.2	25.5	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	9	30	106	100	245	5	250
	パーセント	3.7	12.2	43.3	40.8	100.0		
仙台圏域	度数	5	49	116	97	267	9	276
	パーセント	1.9	18.4	43.4	36.3	100.0		
大崎圏域	度数	9	42	122	100	273	14	287
	パーセント	3.3	15.4	44.7	36.6	100.0		
栗原圏域	度数	14	38	146	75	273	14	287
	パーセント	5.1	13.9	53.5	27.5	100.0		
登米圏域	度数	15	33	134	94	276	8	284
	パーセント	5.4	12.0	48.6	34.1	100.0		
石巻圏域	度数	6	31	135	97	269	10	279
	パーセント	2.2	11.5	50.2	36.1	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	4	35	118	91	248	8	256
	パーセント	1.6	14.1	47.6	36.7	100.0		

【関心度】 (県が行ってきたこの取組の内容について、どのくらい関心があるか)

<概要>

■県全体

「関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた『高関心群』は35.5%、
「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた『低関心群』は64.5%である。

■性別

男性の『高関心群』は42.2%で、県全体より6.7ポイント高い。

女性の『高関心群』は28.9%で、県全体より6.6ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『高関心群』は30.3%で、県全体より5.2ポイント低い。

65歳以上の『高関心群』は45.5%で、県全体より10.0ポイント高い。

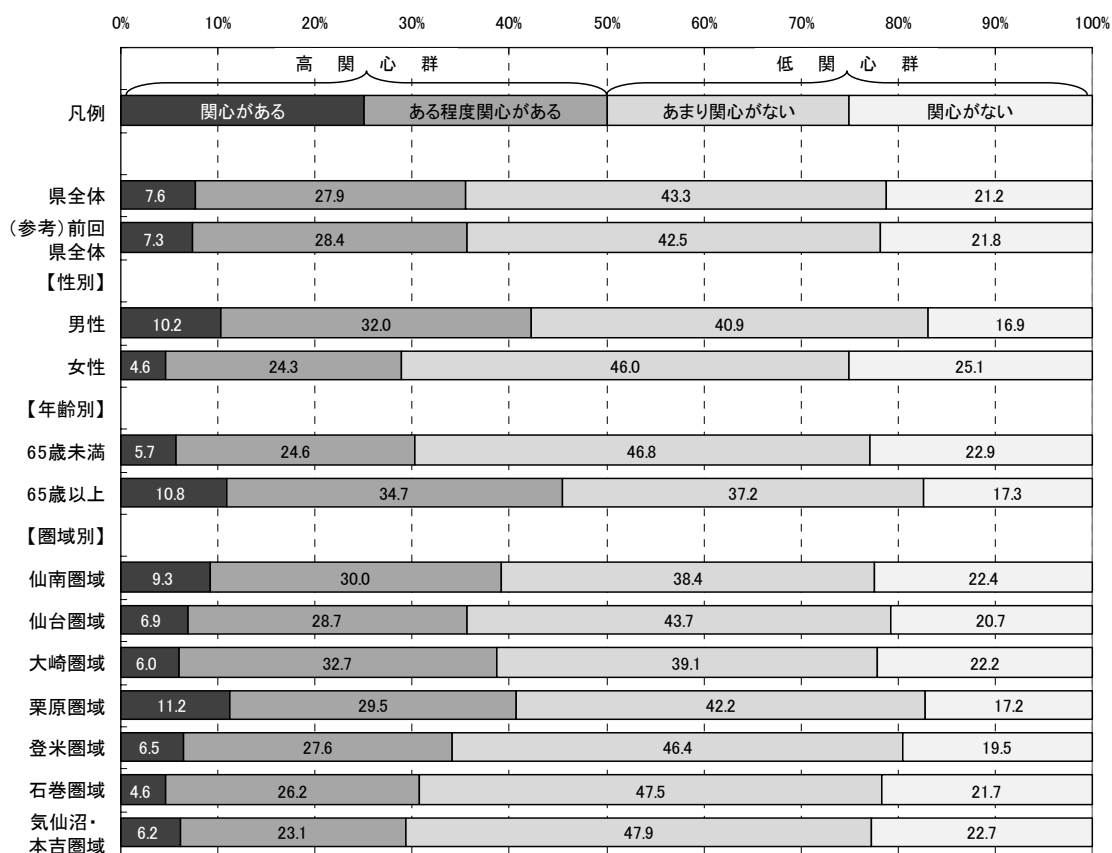
■圏域別

栗原圏域の『高関心群』は40.7%で、県全体より5.2ポイント高い。

気仙沼・本吉圏域の『高関心群』は29.3%で、県全体より6.2ポイント低い。

その他の圏域の『高関心群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-8-2 取組8 関心度割合(属性別)



取組8 「県内企業のグローバルビジネスの推進
と外資系企業の立地促進」

表2-2-8-2 取組8 関心度集計(属性別)

		有 効					欠 損 値	合 計
		関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	関心がない	合計		
県全体	度数	146	532	827	404	1,909	144	2,053
	パーセント	7.6	27.9	43.3	21.2	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	133	515	772	396	1,816	128	1,944
	パーセント	7.3	28.4	42.5	21.8	100.0		
【性別】								
男性	度数	91	285	364	150	890	59	949
	パーセント	10.2	32.0	40.9	16.9	100.0		
女性	度数	44	233	441	240	958	73	1,031
	パーセント	4.6	24.3	46.0	25.1	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	71	304	579	284	1,238	59	1,297
	パーセント	5.7	24.6	46.8	22.9	100.0		
65歳以上	度数	65	208	223	104	600	73	673
	パーセント	10.8	34.7	37.2	17.3	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	22	71	91	53	237	13	250
	パーセント	9.3	30.0	38.4	22.4	100.0		
仙台圏域	度数	18	75	114	54	261	15	276
	パーセント	6.9	28.7	43.7	20.7	100.0		
大崎圏域	度数	16	87	104	59	266	21	287
	パーセント	6.0	32.7	39.1	22.2	100.0		
栗原圏域	度数	30	79	113	46	268	19	287
	パーセント	11.2	29.5	42.2	17.2	100.0		
登米圏域	度数	17	72	121	51	261	23	284
	パーセント	6.5	27.6	46.4	19.5	100.0		
石巻圏域	度数	12	69	125	57	263	16	279
	パーセント	4.6	26.2	47.5	21.7	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	15	56	116	55	242	14	256
	パーセント	6.2	23.1	47.9	22.7	100.0		

【重視度】 (県がこの取組を今後行っていくことが、どのくらい重要と考えるか)

<概要>

■県全体

「重要」「やや重要」を合わせた『高重視群』は38.1%、「あまり重要ではない」「重要ではない」を合わせた『低重視群』は27.2%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『高重視群』が58.4%、『低重視群』は41.6%となる。

■性別

男性の『高重視群』は43.7%で、県全体より5.6ポイント高い。

女性の『高重視群』は33.2%で、県全体より4.9ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『高重視群』は33.7%で、県全体より4.4ポイント低い。

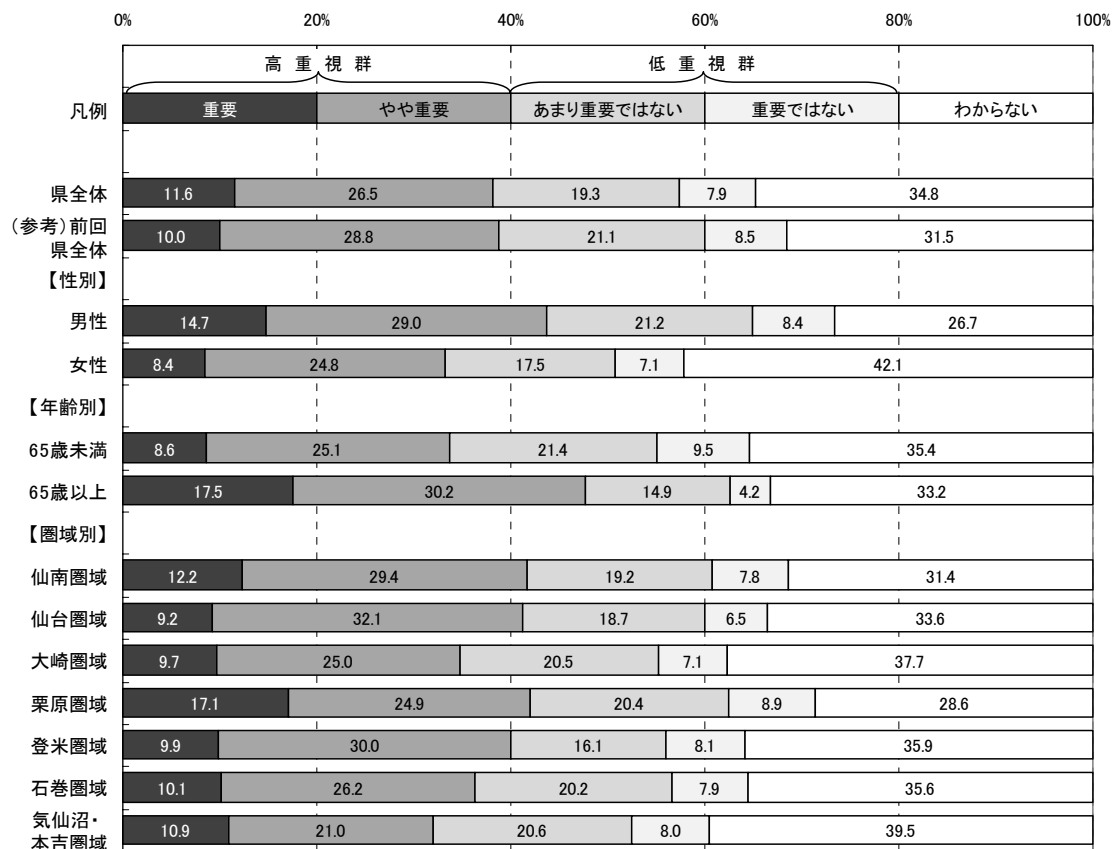
65歳以上の『高重視群』は47.7%で、県全体より9.6ポイント高い。

■圏域別

気仙沼・本吉圏域の『高重視群』は31.9%で、県全体より6.2ポイント低い。

その他の圏域の『高重視群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-8-3 取組8 重視度割合(属性別)



取組8 「県内企業のグローバルビジネスの推進
と外資系企業の立地促進」

表2-2-8-3 取組8 重視度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		重要	やや重要	あまり重要 ではない	重要では ない	わからない			
県全体	度数	223	511	371	152	670	1,927	126	2,053
	パーセント	11.6	26.5	19.3	7.9	34.8	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	17.7	40.7	29.5	12.1		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	183	527	386	156	576	1,828	116	1,944
	パーセント	10.0	28.8	21.1	8.5	31.5	100.0		
【性別】									
男性	度数	133	262	191	76	241	903	46	949
	パーセント	14.7	29.0	21.2	8.4	26.7	100.0		
女性	度数	81	240	169	69	407	966	65	1,031
	パーセント	8.4	24.8	17.5	7.1	42.1	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	107	313	267	119	441	1,247	50	1,297
	パーセント	8.6	25.1	21.4	9.5	35.4	100.0		
65歳以上	度数	107	185	91	26	203	612	61	673
	パーセント	17.5	30.2	14.9	4.2	33.2	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	30	72	47	19	77	245	5	250
	パーセント	12.2	29.4	19.2	7.8	31.4	100.0		
仙台圏域	度数	24	84	49	17	88	262	14	276
	パーセント	9.2	32.1	18.7	6.5	33.6	100.0		
大崎圏域	度数	26	67	55	19	101	268	19	287
	パーセント	9.7	25.0	20.5	7.1	37.7	100.0		
栗原圏域	度数	46	67	55	24	77	269	18	287
	パーセント	17.1	24.9	20.4	8.9	28.6	100.0		
登米圏域	度数	27	82	44	22	98	273	11	284
	パーセント	9.9	30.0	16.1	8.1	35.9	100.0		
石巻圏域	度数	27	70	54	21	95	267	12	279
	パーセント	10.1	26.2	20.2	7.9	35.6	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	26	50	49	19	94	238	18	256
	パーセント	10.9	21.0	20.6	8.0	39.5	100.0		

【満足度】 (県が行ってきたこの取組について、どのくらい満足しているか)

<概要>

■県全体

「満足」「やや満足」を合わせた『満足群』は24.8%、「やや不満」「不満」を合わせた『不満群』は22.4%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『満足群』が52.5%、『不満群』は47.4%となる。

■性別

男性の『満足群』は28.3%で、県全体より3.5ポイント高い。

女性の『満足群』は21.8%で、県全体より3.0ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『満足群』は20.1%で、県全体より4.7ポイント低い。

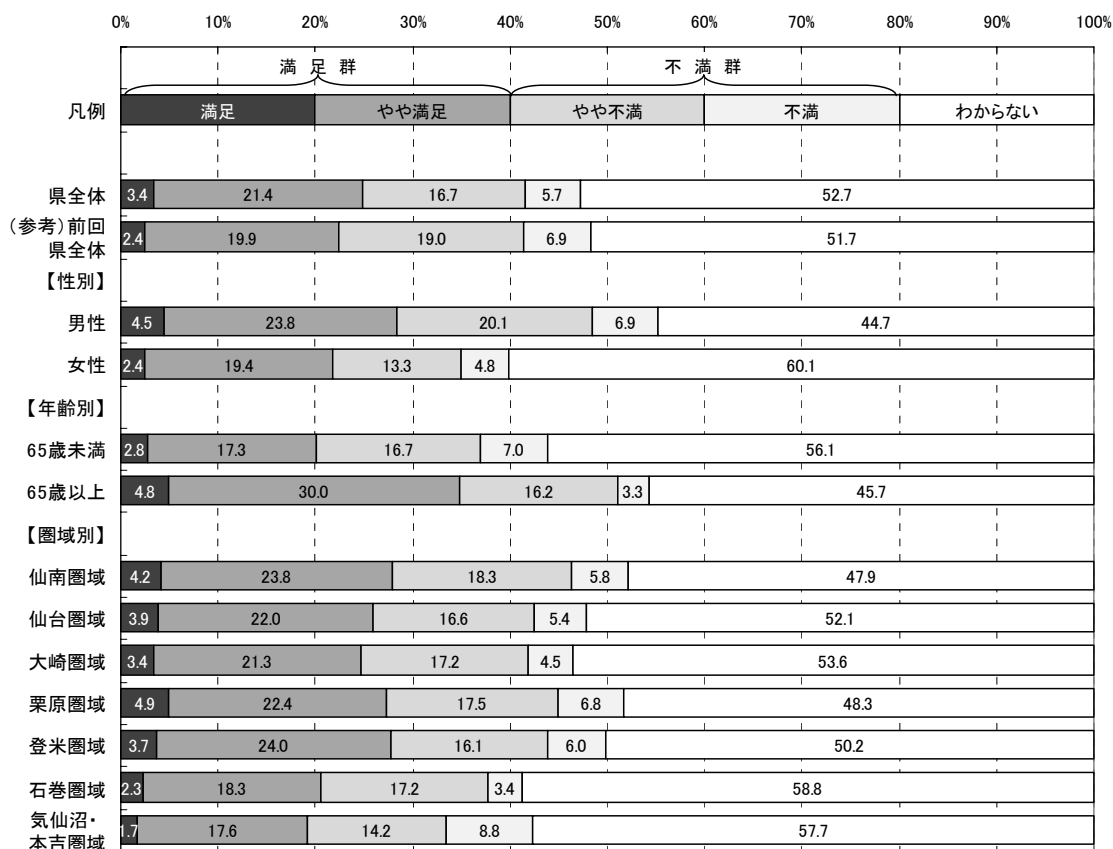
65歳以上の『満足群』は34.8%で、県全体より10.0ポイント高い。

■圏域別

気仙沼・本吉圏域の『満足群』は19.3%で、県全体より5.5ポイント低い。

その他の圏域の『満足群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-8-4 取組8 満足度割合(属性別)



取組8 「県内企業のグローバルビジネスの推進
と外資系企業の立地促進」

表2-2-8-4 取組8 満足度集計(属性別)

		有 効						欠 損 値	合 計
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	合計		
県全体	度数	65	407	317	109	1,002	1,900	153	2,053
	パーセント	3.4	21.4	16.7	5.7	52.7	100.0		
	「わからない」を除くパーセント	7.2	45.3	35.3	12.1		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	44	358	343	125	931	1,801	143	1,944
	パーセント	2.4	19.9	19.0	6.9	51.7	100.0		
【性別】									
男性	度数	40	212	179	61	398	890	59	949
	パーセント	4.5	23.8	20.1	6.9	44.7	100.0		
女性	度数	23	185	127	46	575	956	75	1,031
	パーセント	2.4	19.4	13.3	4.8	60.1	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	35	214	207	86	694	1,236	61	1,297
	パーセント	2.8	17.3	16.7	7.0	56.1	100.0		
65歳以上	度数	29	180	97	20	274	600	73	673
	パーセント	4.8	30.0	16.2	3.3	45.7	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	10	57	44	14	115	240	10	250
	パーセント	4.2	23.8	18.3	5.8	47.9	100.0		
仙台圏域	度数	10	57	43	14	135	259	17	276
	パーセント	3.9	22.0	16.6	5.4	52.1	100.0		
大崎圏域	度数	9	57	46	12	143	267	20	287
	パーセント	3.4	21.3	17.2	4.5	53.6	100.0		
栗原圏域	度数	13	59	46	18	127	263	24	287
	パーセント	4.9	22.4	17.5	6.8	48.3	100.0		
登米圏域	度数	10	64	43	16	134	267	17	284
	パーセント	3.7	24.0	16.1	6.0	50.2	100.0		
石巻圏域	度数	6	48	45	9	154	262	17	279
	パーセント	2.3	18.3	17.2	3.4	58.8	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	4	42	34	21	138	239	17	256
	パーセント	1.7	17.6	14.2	8.8	57.7	100.0		

【特に優先すべきと思う項目】

取組8に関し、目標とする宮城の姿を目指して、県が下記の項目の中で今後特に優先すべきと思う項目について調査した。(複数回答可)

- ア 県の海外事務所、関係機関及び海外取引実績のある企業等が連携し、海外展開を目指す県内企業の国際的経済活動への総合的な支援体制づくり
- イ 県内企業が国際的経済活動を行う際のニーズ調査、海外取引事務や知的財産保護対策等の専門知識の提供、アドバイスや取引仲介機能など支援体制の強化
- ウ 県産品の販売先開拓や原材料調達のための商談会開催など、海外との取引機会の拡大支援
- エ 独自技術を有する地元企業等や最先端の技術を有する東北大学等との協力による、外資系研究開発型企业等の進出促進
- オ 県内企業の進出及び本県産品等の輸出拡大が見込める諸外国との経済交流の促進
- カ 国際交流、国際協力及び多文化共生社会の形成を通じた、海外との交流基盤強化と経済交流支援

(参考: 目標とする宮城の姿)

- 国際競争力のある製品・技術を持つ企業が増えたり、多くの県内企業が海外に展開したりすることで、海外との経済交流が進んでいます。
- 県産農林水産物やその加工品の海外市場での取引が拡大しています。
- 外資系の高度な技術を持った企業などが県内に立地し、共同研究やさまざまな取引が進展しています。

<概要>

■県全体及び属性別(性別・年齢別・圏域別)の優先順位第1位から第3位までは以下のとおり。

	◆県全体	■性別		■年齢別	
		男性	女性	65歳未満	65歳以上
第1位:	オ	オ	オ	オ	オ
第2位:	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ
第3位:	ア	ア	ア	ア	ア

	■圏域別						
	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
第1位:	オ	オ	オ	オ	オ	ウ	ア
第2位:	ア	ア	ウ	ウ	ウ	ア	ウ
第3位:	ウ	ウ	ア	イ	ア	オ	オ

※属性別の優先順位が県全体と異なる場合、項目記号を網掛けしている。

取組8 「県内企業のグローバルビジネスの推進
と外資系企業の立地促進」

図2-2-8-5 取組8 特に優先すべきと思う項目回答数(県全体)

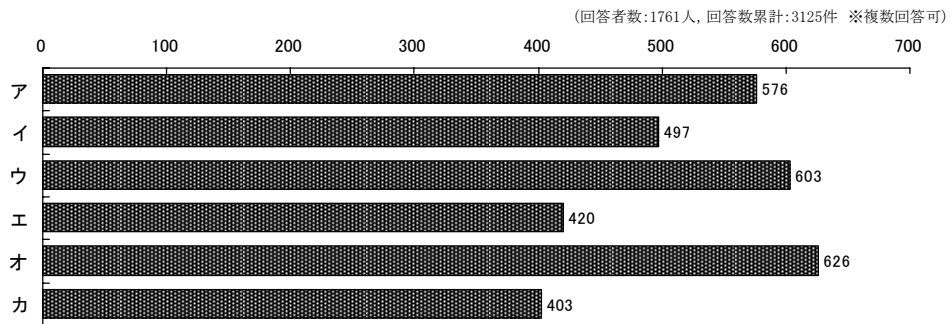
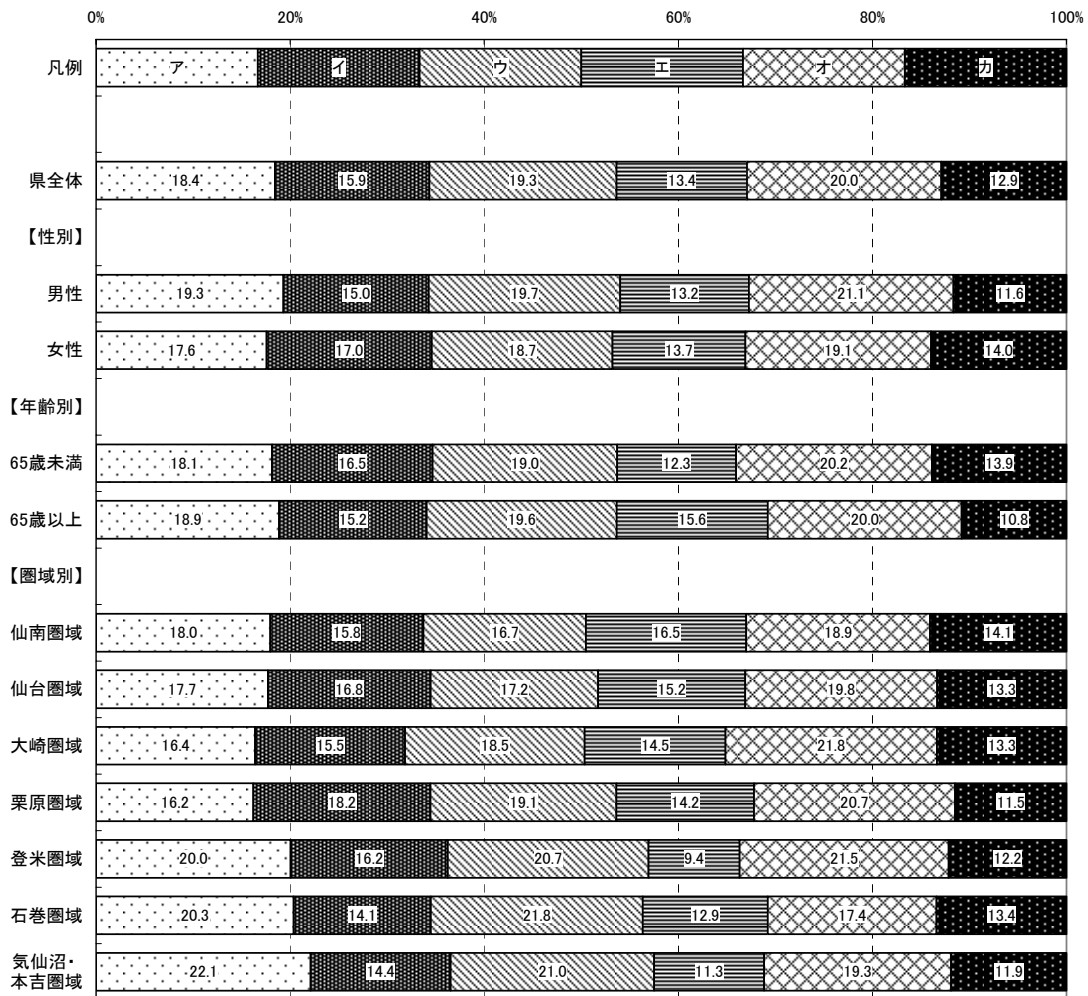


図2-2-8-6 取組8 特に優先すべきと思う項目割合(属性別)



※本図は、回答数累計に占める各項目の回答数の割合を属性別に示したものです。

取組 8 「県内企業のグローバルビジネスの推進
と外資系企業の立地促進」

取組 9 自律的に発展できる経済システム構築に向けた広域経済圏の形成



取組概要

東北各県が保有する資源や特性を生かした機能分担や協力体制の構築などの連携を進め、自動車関連産業分野をはじめとする各種産業政策を展開し、自律的に発展できる広域経済圏の形成を目指します。

平成22年度の主な取組

- 東北6県が連携して自動車関連産業の振興を図るため、自動車メーカーや部品メーカー向けに共同で展示商談会を開催するなど、歩調を合わせた取組を進めています。
[成果等] 商談会開催回数 4回予定
- 山形県をはじめ隣接県との連携強化に向けて、連携施策に関する検討・調整を行っています。
- 隣接県と連携した国外拠点事務所の共同運営(山形県とソウル事務所(韓国)、岩手県と大連事務所(中国))を通じて、企業の海外進出支援や外国人観光客の誘致を行っています。
- 自動車関連産業をはじめとする、東北の産業集積・拠点化を支えるため、高速道路の整備や港湾の機能強化を進めています。
[成果等]三陸縦貫自動車道 唐桑道路 平成22年度開通、仙台北部道路と三陸縦貫自動車道を接続する利府JCTのフル化完成

【認知度】 (県がこの取組を行っていたことについて、どのくらい知っているか)

<概要>

■県全体

「知っている」「ある程度知っている」を合わせた『高認知群』は56.9%、
「あまり知らない」「知らない」を合わせた『低認知群』は43.1%である。

■性別

男性の『高認知群』は65.3%で、県全体より8.4ポイント高い。

女性の『高認知群』は49.3%で、県全体より7.6ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『高認知群』は53.5%で、県全体より3.4ポイント低い。

65歳以上の『高認知群』は64.1%で、県全体より7.2ポイント高い。

■圏域別

仙台圏域の『高認知群』は51.0%で、5.9ポイント低い。

気仙沼・本吉圏域の『高認知群』は62.2%で、5.3ポイント高い。

その他の圏域の『高認知群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-9-1 取組9 認知度割合(属性別)

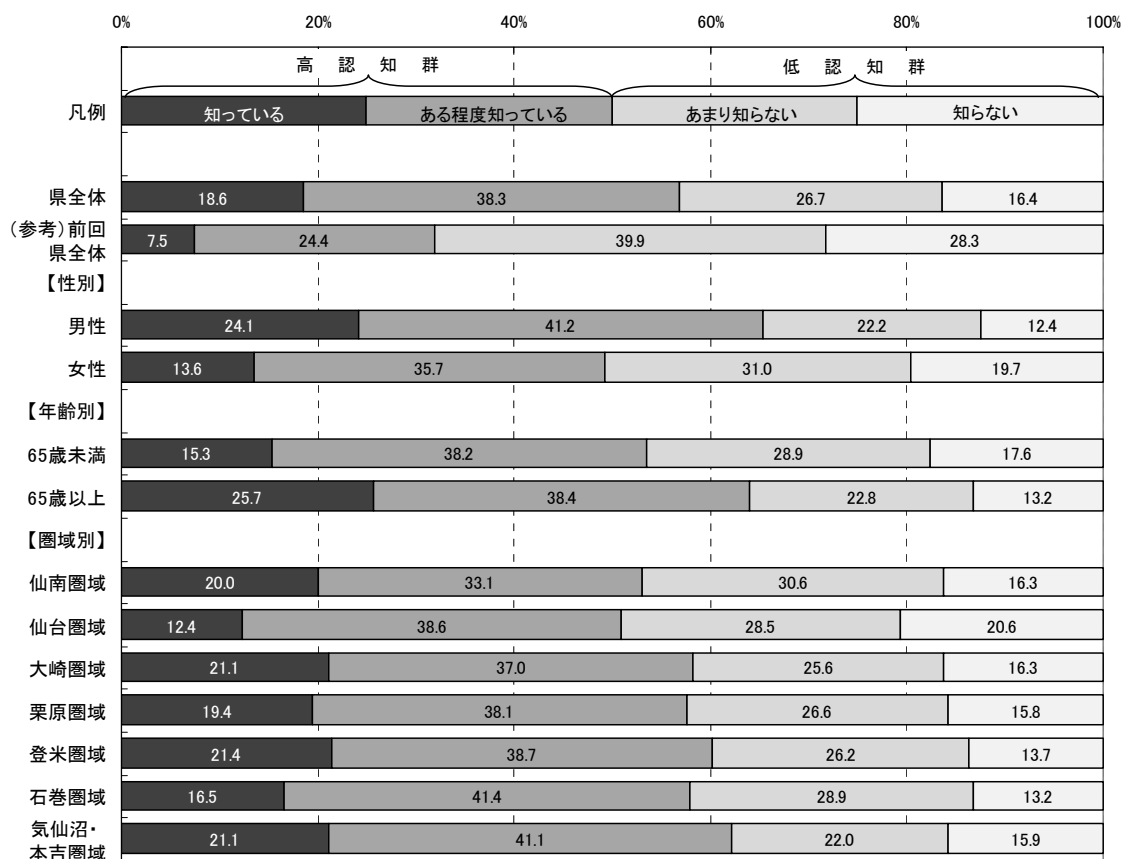


表2-2-9-1 取組9 認知度集計(属性別)

		有 効					欠 損 値	合 計
		知っている	ある程度 知っている	あまり 知らない	知らない	合計		
県全体	度数	363	749	523	321	1,956	97	2,053
	パーセント	18.6	38.3	26.7	16.4	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	136	443	725	514	1,818	126	1,944
	パーセント	7.5	24.4	39.9	28.3	100.0		
【性別】								
男性	度数	219	374	202	113	908	41	949
	パーセント	24.1	41.2	22.2	12.4	100.0		
女性	度数	134	352	306	194	986	45	1,031
	パーセント	13.6	35.7	31.0	19.7	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	192	479	362	221	1,254	43	1,297
	パーセント	15.3	38.2	28.9	17.6	100.0		
65歳以上	度数	162	242	144	83	631	42	673
	パーセント	25.7	38.4	22.8	13.2	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	49	81	75	40	245	5	250
	パーセント	20.0	33.1	30.6	16.3	100.0		
仙台圏域	度数	33	103	76	55	267	9	276
	パーセント	12.4	38.6	28.5	20.6	100.0		
大崎圏域	度数	57	100	69	44	270	17	287
	パーセント	21.1	37.0	25.6	16.3	100.0		
栗原圏域	度数	54	106	74	44	278	9	287
	パーセント	19.4	38.1	26.6	15.8	100.0		
登米圏域	度数	58	105	71	37	271	13	284
	パーセント	21.4	38.7	26.2	13.7	100.0		
石巻圏域	度数	44	110	77	35	266	13	279
	パーセント	16.5	41.4	28.9	13.2	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	52	101	54	39	246	10	256
	パーセント	21.1	41.1	22.0	15.9	100.0		

【関心度】 (県が行ってきたこの取組の内容について、どのくらい関心があるか)

<概要>

■県全体

「関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた『高関心群』は63.9%、
「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた『低関心群』は36.0%である。

■性別

男性の『高関心群』は73.7%で、県全体より9.8ポイント高い。

女性の『高関心群』は55.8%で、県全体より8.1ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『高関心群』は61.3%で、県全体より2.6ポイント低い。

65歳以上の『高関心群』は70.8%で、県全体より6.9ポイント高い。

■圏域別

仙南圏域の『高関心群』は57.2%で、県全体より6.7ポイント低い。

仙台圏域の『高関心群』は58.2%で、県全体より5.7ポイント低い。

登米圏域の『高関心群』は70.1%で、県全体より6.2ポイント高い。

気仙沼・本吉圏域の『高関心群』は72.8%で、県全体よりも8.9ポイント高い。

その他の圏域の『高関心群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-9-2 取組9 関心度割合(属性別)

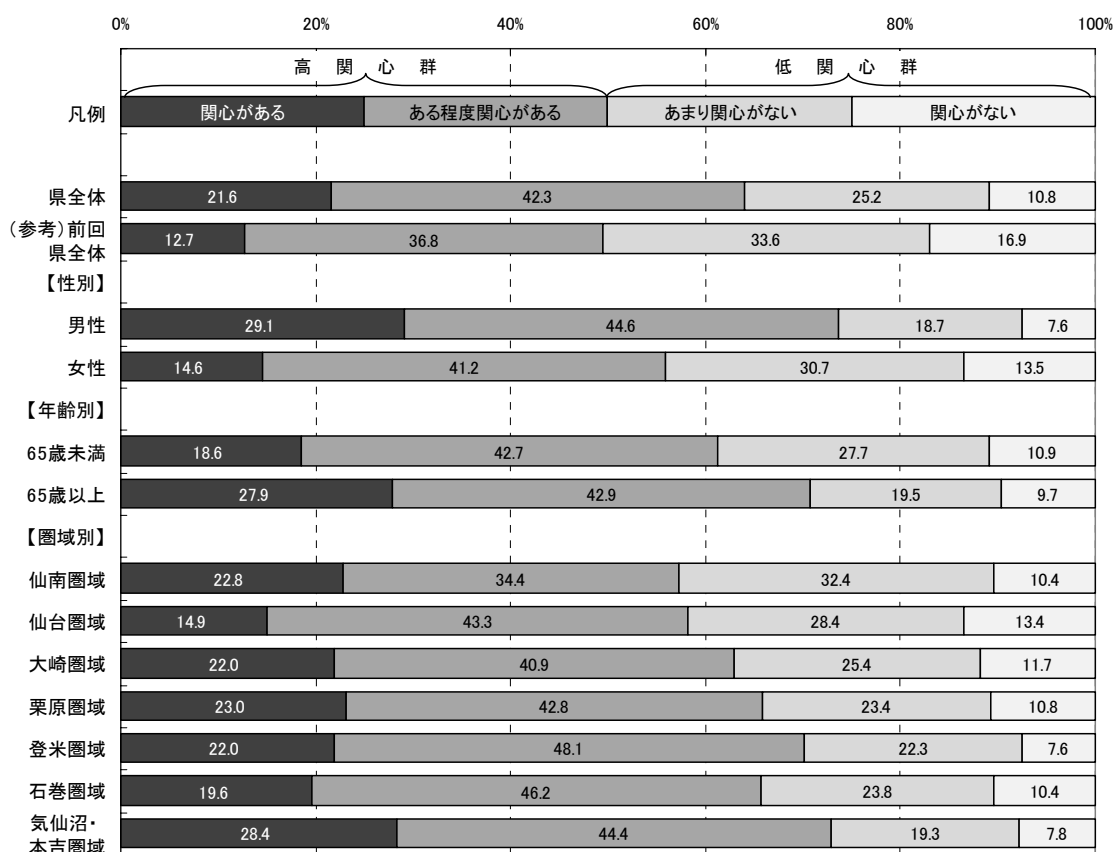


表2-2-9-2 取組9 関心度集計(属性別)

		有 効					欠 損 値	合 計
		関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	関心がない	合計		
県全体	度数	412	807	481	206	1,906	147	2,053
	パーセント	21.6	42.3	25.2	10.8	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	225	655	597	301	1,778	166	1,944
	パーセント	12.7	36.8	33.6	16.9	100.0		
【性別】								
男性	度数	258	395	166	67	886	63	949
	パーセント	29.1	44.6	18.7	7.6	100.0		
女性	度数	141	398	296	130	965	66	1,031
	パーセント	14.6	41.2	30.7	13.5	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	229	527	342	135	1,233	64	1,297
	パーセント	18.6	42.7	27.7	10.9	100.0		
65歳以上	度数	170	261	119	59	609	64	673
	パーセント	27.9	42.9	19.5	9.7	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	55	83	78	25	241	9	250
	パーセント	22.8	34.4	32.4	10.4	100.0		
仙台圏域	度数	39	113	74	35	261	15	276
	パーセント	14.9	43.3	28.4	13.4	100.0		
大崎圏域	度数	58	108	67	31	264	23	287
	パーセント	22.0	40.9	25.4	11.7	100.0		
栗原圏域	度数	62	115	63	29	269	18	287
	パーセント	23.0	42.8	23.4	10.8	100.0		
登米圏域	度数	58	127	59	20	264	20	284
	パーセント	22.0	48.1	22.3	7.6	100.0		
石巻圏域	度数	51	120	62	27	260	19	279
	パーセント	19.6	46.2	23.8	10.4	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	69	108	47	19	243	13	256
	パーセント	28.4	44.4	19.3	7.8	100.0		

【重視度】 (県がこの取組を今後行っていくことが、どのくらい重要と考えるか)

<概要>

■県全体

「重要」「やや重要」を合わせた『高重視群』は64.9%、「あまり重要ではない」「重要ではない」を合わせた『低重視群』は14.2%である。
なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『高重視群』が82.0%、『低重視群』は18.0%となる。

■性別

男性の『高重視群』は74.4%で、県全体より9.5ポイント高い。
女性の『高重視群』は56.9%で、県全体より8.0ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『高重視群』は63.0%で、県全体より1.9ポイント低い。
65歳以上の『高重視群』は70.2%で、県全体より5.3ポイント高い。

■圏域別

仙南圏域の『高重視群』は59.8%で、県全体より5.1ポイント低い。
気仙沼・本吉圏域の『高重視群』は70.9%で、県全体より6.0ポイント高い。
その他の圏域の『高重視群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-9-3 取組9 重視度割合(属性別)

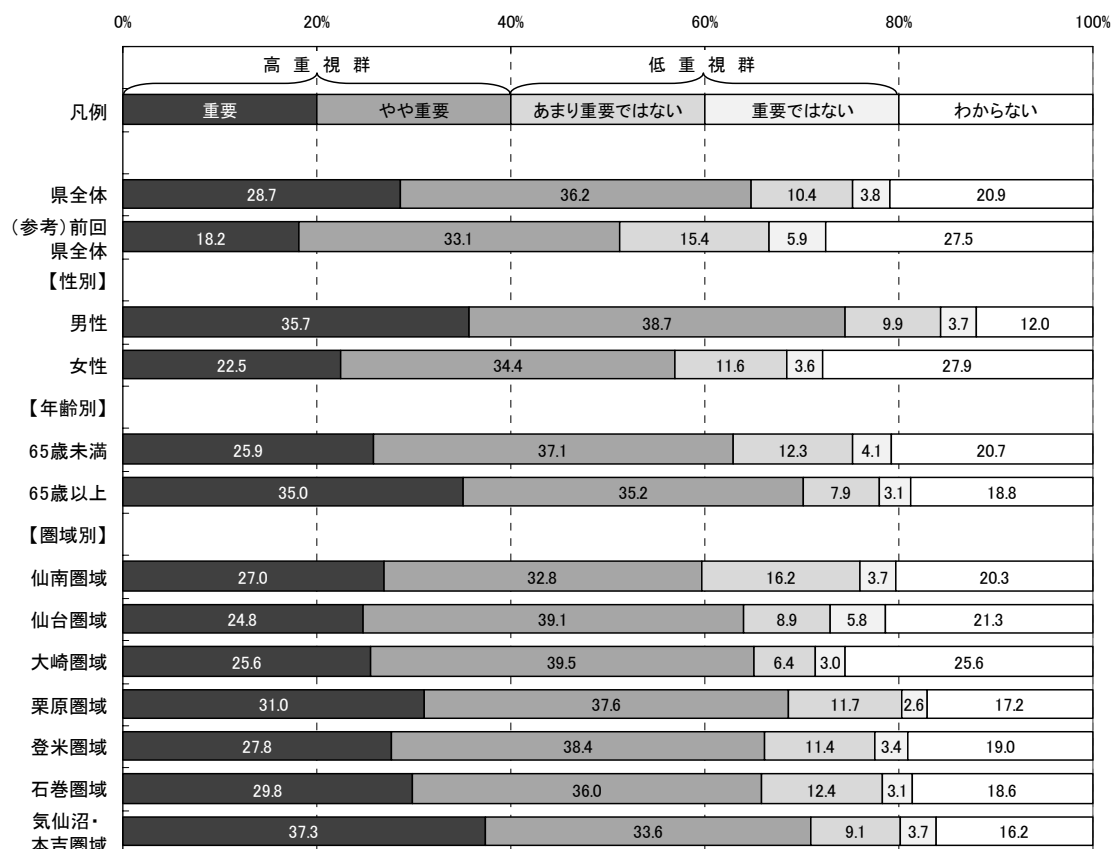


表2-2-9-3 取組9 重視度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		重要	やや重要	あまり重要 ではない	重要では ない	わからない			
県全体	度数	549	692	200	73	400	1,914	139	2,053
	パーセント	28.7	36.2	10.4	3.8	20.9	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	36.3	45.7	13.2	4.8		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	323	586	273	104	487	1,773	171	1,944
	パーセント	18.2	33.1	15.4	5.9	27.5	100.0		
【性別】									
男性	度数	318	345	88	33	107	891	58	949
	パーセント	35.7	38.7	9.9	3.7	12.0	100.0		
女性	度数	216	331	111	35	268	961	70	1,031
	パーセント	22.5	34.4	11.6	3.6	27.9	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	319	457	151	50	255	1,232	65	1,297
	パーセント	25.9	37.1	12.3	4.1	20.7	100.0		
65歳以上	度数	214	215	48	19	115	611	62	673
	パーセント	35.0	35.2	7.9	3.1	18.8	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	65	79	39	9	49	241	9	250
	パーセント	27.0	32.8	16.2	3.7	20.3	100.0		
仙台圏域	度数	64	101	23	15	55	258	18	276
	パーセント	24.8	39.1	8.9	5.8	21.3	100.0		
大崎圏域	度数	68	105	17	8	68	266	21	287
	パーセント	25.6	39.5	6.4	3.0	25.6	100.0		
栗原圏域	度数	85	103	32	7	47	274	13	287
	パーセント	31.0	37.6	11.7	2.6	17.2	100.0		
登米圏域	度数	73	101	30	9	50	263	21	284
	パーセント	27.8	38.4	11.4	3.4	19.0	100.0		
石巻圏域	度数	77	93	32	8	48	258	21	279
	パーセント	29.8	36.0	12.4	3.1	18.6	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	90	81	22	9	39	241	15	256
	パーセント	37.3	33.6	9.1	3.7	16.2	100.0		

【満足度】 (県が行ってきたこの取組について、どのくらい満足しているか)

<概要>

■県全体

「満足」「やや満足」を合わせた『満足群』は50.8%、「やや不満」「不満」を合わせた『不満群』は16.8%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『満足群』が75.1%、『不満群』は24.9%となる。

■性別

男性の『満足群』は58.9%で、県全体より8.1ポイント高い。

女性の『満足群』は43.4%で、県全体より7.4ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『満足群』は46.4%で、県全体より4.4ポイント低い。

65歳以上の『満足群』は60.4%で、県全体より9.6ポイント高い。

■圏域別

登米圏域の『満足群』は58.6%で、県全体より7.8ポイント高い。

その他の圏域の『満足群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-9-4 取組9 満足度割合(属性別)

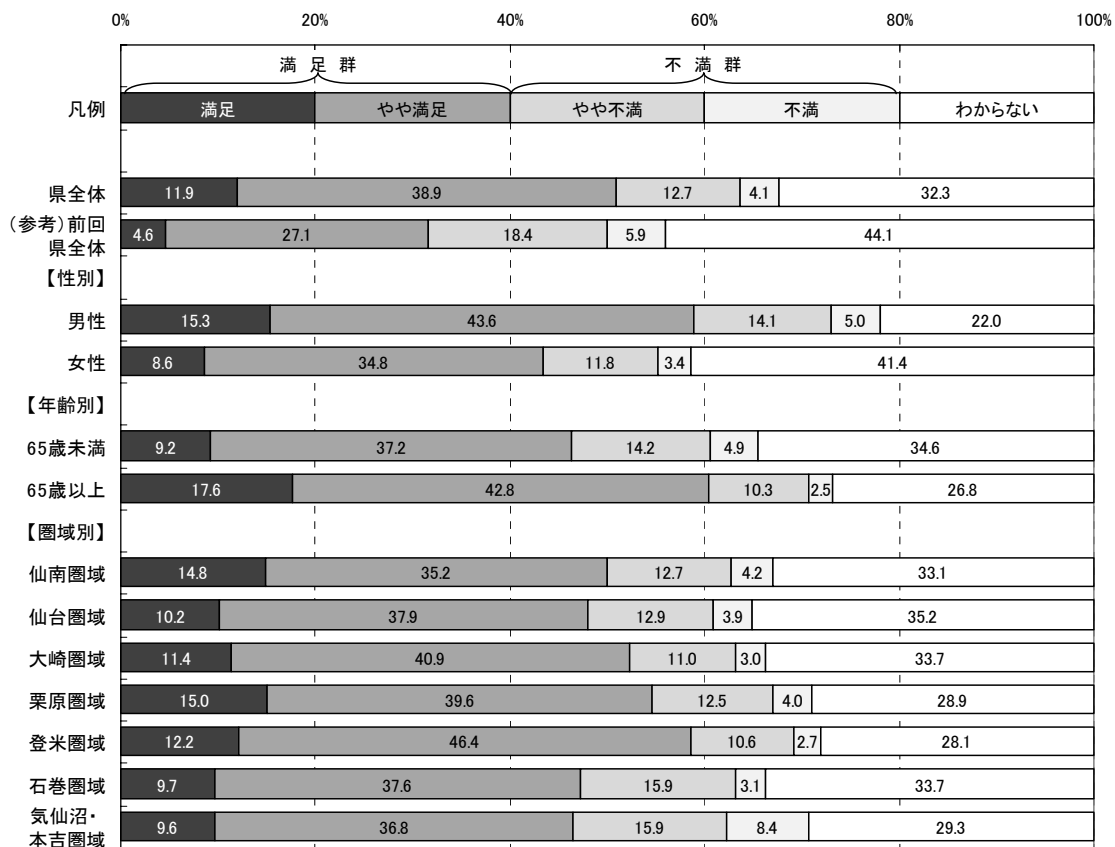


表2-2-9-4 取組9 満足度集計(属性別)

		有 効						欠 損 値	合 計
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	合計		
県全体	度数	226	738	241	78	612	1,895	158	2,053
	パーセント	11.9	38.9	12.7	4.1	32.3	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	17.6	57.5	18.8	6.1		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	80	473	321	104	770	1,748	196	1,944
	パーセント	4.6	27.1	18.4	5.9	44.1	100.0		
【性別】									
男性	度数	136	386	125	44	195	886	63	949
	パーセント	15.3	43.6	14.1	5.0	22.0	100.0		
女性	度数	82	331	112	32	393	950	81	1,031
	パーセント	8.6	34.8	11.8	3.4	41.4	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	113	456	174	60	424	1,227	70	1,297
	パーセント	9.2	37.2	14.2	4.9	34.6	100.0		
65歳以上	度数	106	257	62	15	161	601	72	673
	パーセント	17.6	42.8	10.3	2.5	26.8	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	35	83	30	10	78	236	14	250
	パーセント	14.8	35.2	12.7	4.2	33.1	100.0		
仙台圏域	度数	26	97	33	10	90	256	20	276
	パーセント	10.2	37.9	12.9	3.9	35.2	100.0		
大崎圏域	度数	30	108	29	8	89	264	23	287
	パーセント	11.4	40.9	11.0	3.0	33.7	100.0		
栗原圏域	度数	41	108	34	11	79	273	14	287
	パーセント	15.0	39.6	12.5	4.0	28.9	100.0		
登米圏域	度数	32	122	28	7	74	263	21	284
	パーセント	12.2	46.4	10.6	2.7	28.1	100.0		
石巻圏域	度数	25	97	41	8	87	258	21	279
	パーセント	9.7	37.6	15.9	3.1	33.7	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	23	88	38	20	70	239	17	256
	パーセント	9.6	36.8	15.9	8.4	29.3	100.0		

【特に優先すべきと思う項目】

取組9に関し、目標とする宮城の姿を目指して、県が下記の項目の中で今後特に優先すべきと思う項目について調査した。(複数回答可)

- ア 東北各県と連携した競争力のある広域経済圏の形成と人口流出に歯止めをかけるための取組実施
- イ 山形県との連携に関する構想の具体化と岩手県や福島県と連携施策の実施に向けた検討
- ウ 県境を越えた企業、研究機関の間での役割分担や協力体制づくりによる、東北地方への産業集積の支援
- エ 東北が自動車関連産業の集積拠点化していくことを見据えた取引拡大、人材育成など必要な環境整備についての東北各県との連携強化
- オ 東北地方の観光推進組織との連携による誘客と国内外からの交流人口の増加を図るための取組実施
- カ 隣接県と連携した国内外拠点事務所の共同運営や、企業の海外進出を支援する体制づくり
- キ 港湾や高規格幹線道路などの広域的な経済活動を支えるインフラ整備の促進

(参考: 目標とする宮城の姿)

- 東北地方各県との間で、それぞれの資源や特性を生かした協力体制がつけられ、自動車関連分野などさまざまな産業政策が行われています。
- 特に山形県との連携が進み、仙台市・山形市を中心に両県が東北の中核圏域として地域の発展をリードしています。また、岩手県や福島県ともさまざまな分野で連携が進んでいます。
- 観光や文化的活動では、東北各県と連携することでそれぞれの地域の魅力が更に高まり、国内外からの交流人口が増えています。

<概要>

■県全体及び属性別(性別・年齢別・圏域別)の優先順位第1位から第3位までは以下のとおり。

	◆県全体	■性別		■年齢別	
		男性	女性	65歳未満	65歳以上
第1位:	ア	ア	エ	ア	ア
第2位:	エ	エ	ア	エ	エ
第3位:	ウ	キ	ウ	ウ	ウ

	■圏域別						
	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
第1位:	ア	エ	ア	ア	エ	ア	ア
第2位:	エ	ア	エ	エ	ア	キ	キ
第3位:	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ	エ	エ

※属性別の優先順位が県全体と異なる場合、項目記号を網掛けしている。

図2-2-9-5 取組9 特に優先すべきと思う項目回答数(県全体)

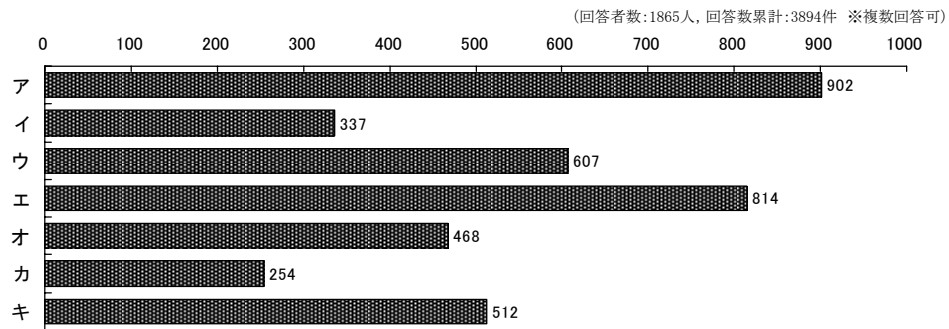
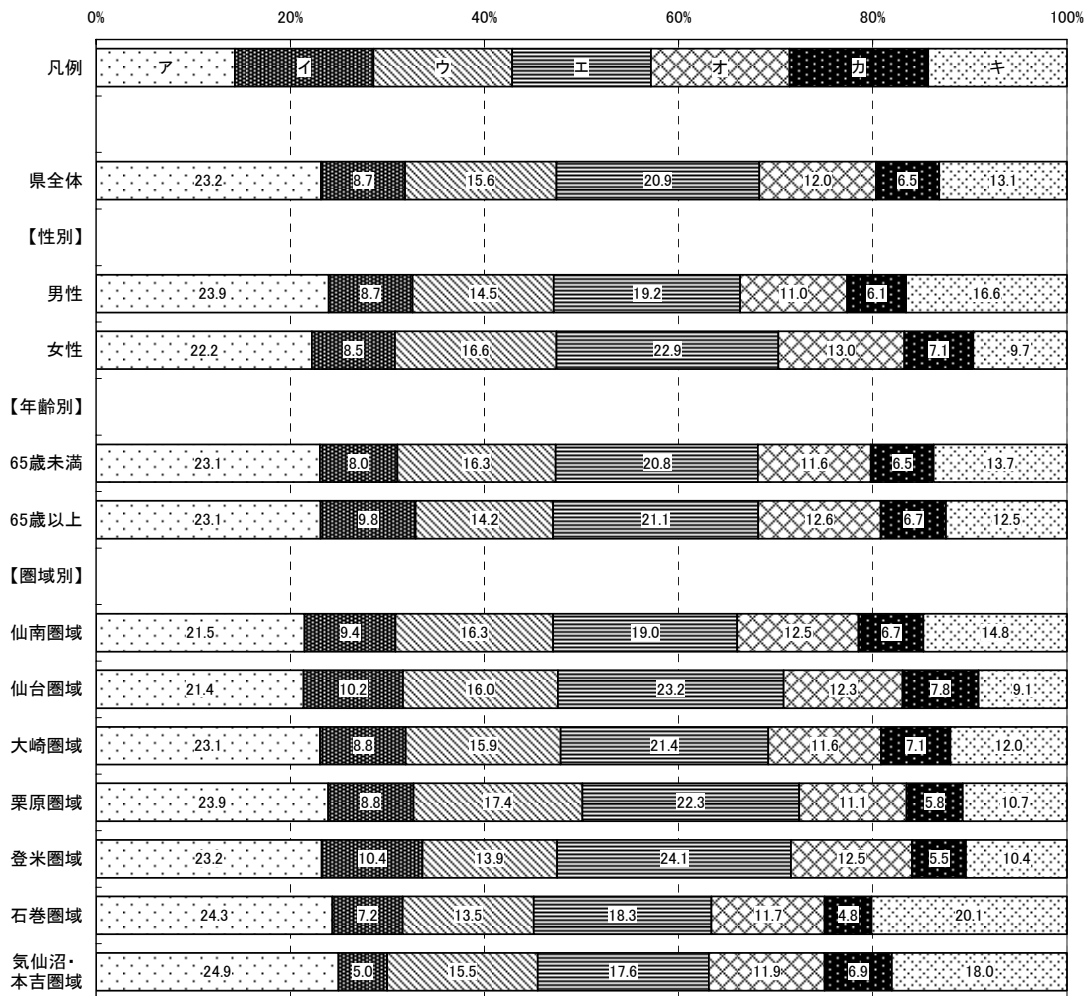


図2-2-9-6 取組9 特に優先すべきと思う項目割合(属性別)



※ 本図は、回答数累計に占める各項目の回答数の割合を属性別に示したものです。

取組9 「自律的に発展できる経済システム
構築に向けた広域経済圏の形成」

取組10 産業活動の基礎となる人材の育成・確保



取組概要

地域の産業を担う人材の育成と確保に向けて取り組むとともに、社会情勢の変化やグローバル化に対応できる人材の育成を進めるほか、学校と地域が一体となった人材の育成を目指します。

平成22年度の主な取組

- 地域の産業を担う人材の体系的な育成体制をつくるため、「みやぎ産業人材育成プラットフォーム」と県内7圏域に「圏域版産業人材育成プラットフォーム」を設置し、関係機関の情報共有を図るとともに、学校と企業が連携した人材育成を進めています。
- キャリアカウンセラーを高等学校に派遣し、県内製造業への就職拡大や早期離職を防止するためのセミナー等を行っています。また、県内製造業の認知度向上を図るため、工場見学会やものづくり企業セミナーを実施しています。
[成果等] 工場見学会開催 県内11コース(延べ22社)で実施予定
- 工業学科を有する高等学校において、企業等の熟練技能者による実践的な指導や最新の工作機械を導入し、高校生のものづくり技能と技術の向上を図っています。
- 農林漁業の担い手の減少や就業者の高齢化が進む中、新規参入者や後継者の育成確保に必要な取組として、知識や技術の習得を図る研修会開催などの支援を行っています。
[成果等] 研修会開催 農業関係 3コース 参加人数144人
- 女性の積極的な登用のための取組を行っている企業を「女性のチカラを活かす企業」として認証、特に優れた取組を行っている企業を表彰するなど、男女ともに働きやすい就業環境づくりを進めています。

【認知度】 (県がこの取組を行っていたことについて、どのくらい知っているか)

<概要>

■県全体

「知っている」「ある程度知っている」を合わせた『高認知群』は26.0%、
「あまり知らない」「知らない」を合わせた『低認知群』は74.0%である。

■性別

男性の『高認知群』は28.5%で、県全体より2.5ポイント高い。

女性の『高認知群』は23.6%で、県全体より2.4ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『高認知群』は22.9%で、県全体より3.1ポイント低い。

65歳以上の『高認知群』は31.6%で、県全体より5.6ポイント高い。

■圏域別

各圏域の『高認知群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-10-1 取組10 認知度割合(属性別)

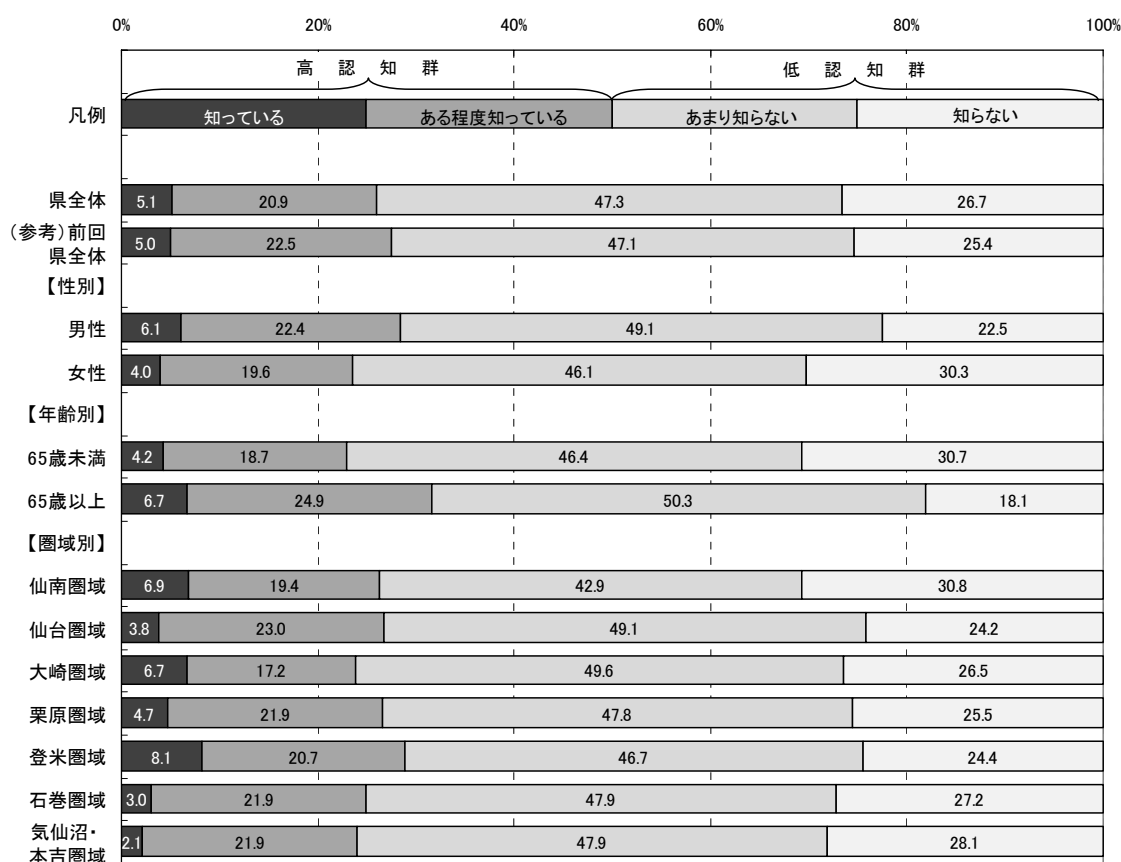


表2-2-10-1 取組10 認知度集計(属性別)

		有 効					欠 損 値	合 計
		知っている	ある程度 知っている	あまり 知らない	知らない	合計		
県全体	度数	100	408	922	520	1,950	103	2,053
	パーセント	5.1	20.9	47.3	26.7	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	91	413	863	466	1,833	111	1,944
	パーセント	5.0	22.5	47.1	25.4	100.0		
【性別】								
男性	度数	55	203	445	204	907	42	949
	パーセント	6.1	22.4	49.1	22.5	100.0		
女性	度数	39	192	451	296	978	53	1,031
	パーセント	4.0	19.6	46.1	30.3	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	53	234	580	384	1,251	46	1,297
	パーセント	4.2	18.7	46.4	30.7	100.0		
65歳以上	度数	42	156	315	113	626	47	673
	パーセント	6.7	24.9	50.3	18.1	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	17	48	106	76	247	3	250
	パーセント	6.9	19.4	42.9	30.8	100.0		
仙台圏域	度数	10	61	130	64	265	11	276
	パーセント	3.8	23.0	49.1	24.2	100.0		
大崎圏域	度数	18	46	133	71	268	19	287
	パーセント	6.7	17.2	49.6	26.5	100.0		
栗原圏域	度数	13	61	133	71	278	9	287
	パーセント	4.7	21.9	47.8	25.5	100.0		
登米圏域	度数	22	56	126	66	270	14	284
	パーセント	8.1	20.7	46.7	24.4	100.0		
石巻圏域	度数	8	58	127	72	265	14	279
	パーセント	3.0	21.9	47.9	27.2	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	5	53	116	68	242	14	256
	パーセント	2.1	21.9	47.9	28.1	100.0		

【関心度】 (県が行ってきたこの取組の内容について、どのくらい関心があるか)

<概要>

■県全体

「関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた『高関心群』は61.5%、
「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた『低関心群』は38.6%である。

■性別

男性の『高関心群』は64.8%で、県全体より3.3ポイント高い。
女性の『高関心群』は58.7%で、県全体より2.8ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『高関心群』は60.1%で、県全体より1.4ポイント低い。
65歳以上の『高関心群』は64.9%で、県全体より3.4ポイント高い。

■圏域別

各圏域の『高関心群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-10-2 取組10 関心度割合(属性別)

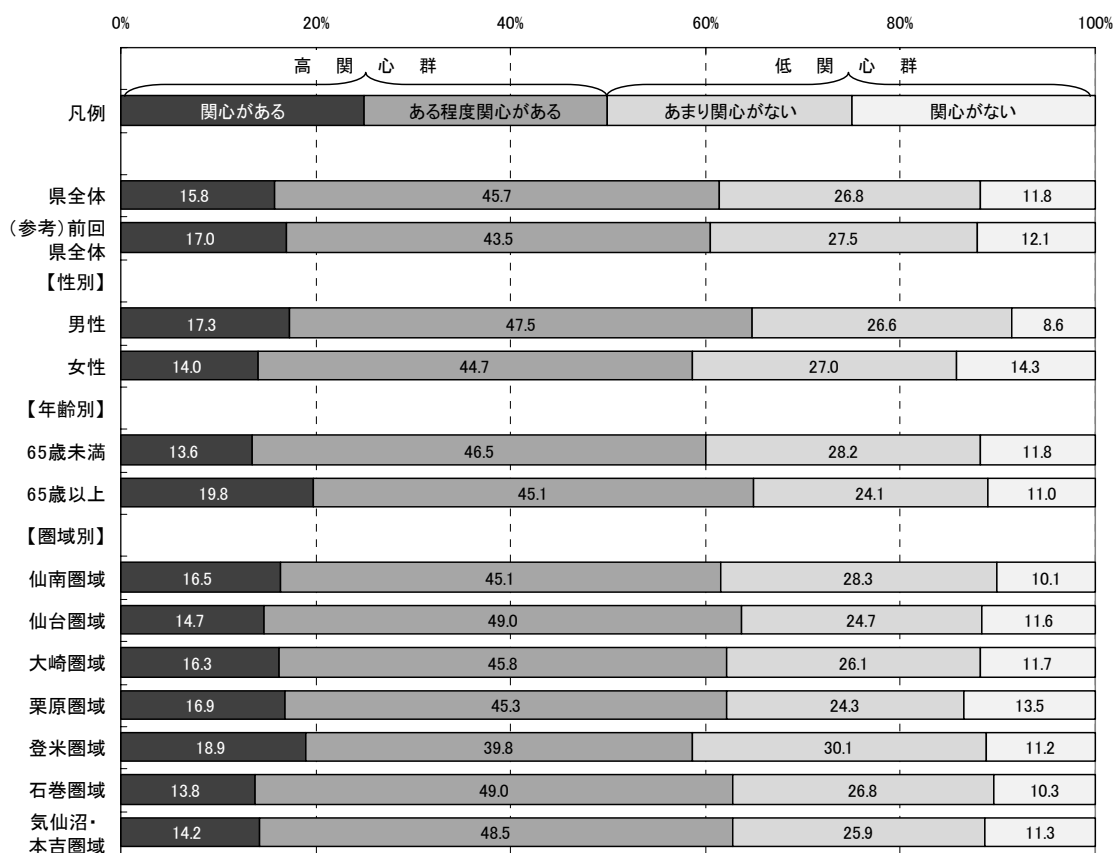


表2-2-10-2 取組10 関心度集計(属性別)

		有 効					欠 損 値	合 計
		関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	関心がない	合計		
県全体	度数	299	866	507	223	1,895	158	2,053
	パーセント	15.8	45.7	26.8	11.8	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	302	774	489	216	1,781	163	1,944
	パーセント	17.0	43.5	27.5	12.1	100.0		
【性別】								
男性	度数	152	418	234	76	880	69	949
	パーセント	17.3	47.5	26.6	8.6	100.0		
女性	度数	134	426	258	136	954	77	1,031
	パーセント	14.0	44.7	27.0	14.3	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	166	570	345	144	1,225	72	1,297
	パーセント	13.6	46.5	28.2	11.8	100.0		
65歳以上	度数	119	271	145	66	601	72	673
	パーセント	19.8	45.1	24.1	11.0	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	39	107	67	24	237	13	250
	パーセント	16.5	45.1	28.3	10.1	100.0		
仙台圏域	度数	38	127	64	30	259	17	276
	パーセント	14.7	49.0	24.7	11.6	100.0		
大崎圏域	度数	43	121	69	31	264	23	287
	パーセント	16.3	45.8	26.1	11.7	100.0		
栗原圏域	度数	45	121	65	36	267	20	287
	パーセント	16.9	45.3	24.3	13.5	100.0		
登米圏域	度数	49	103	78	29	259	25	284
	パーセント	18.9	39.8	30.1	11.2	100.0		
石巻圏域	度数	36	128	70	27	261	18	279
	パーセント	13.8	49.0	26.8	10.3	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	34	116	62	27	239	17	256
	パーセント	14.2	48.5	25.9	11.3	100.0		

【重視度】 (県がこの取組を今後行っていくことが、どのくらい重要と考えるか)

<概要>

■県全体

「重要」「やや重要」を合わせた『高重視群』は62.1%、「あまり重要ではない」「重要ではない」を合わせた『低重視群』は13.3%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『高重視群』が82.4%、『低重視群』は17.6%となる。

■性別

男性の『高重視群』は66.6%で、県全体より4.5ポイント高い。

女性の『高重視群』は58.2%で、県全体より3.9ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『高重視群』は60.6%で、県全体より1.5ポイント低い。

65歳以上の『高重視群』は66.0%で、県全体より3.9ポイント高い。

■圏域別

各圏域の『高重視群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-10-3 取組10 重視度割合(属性別)

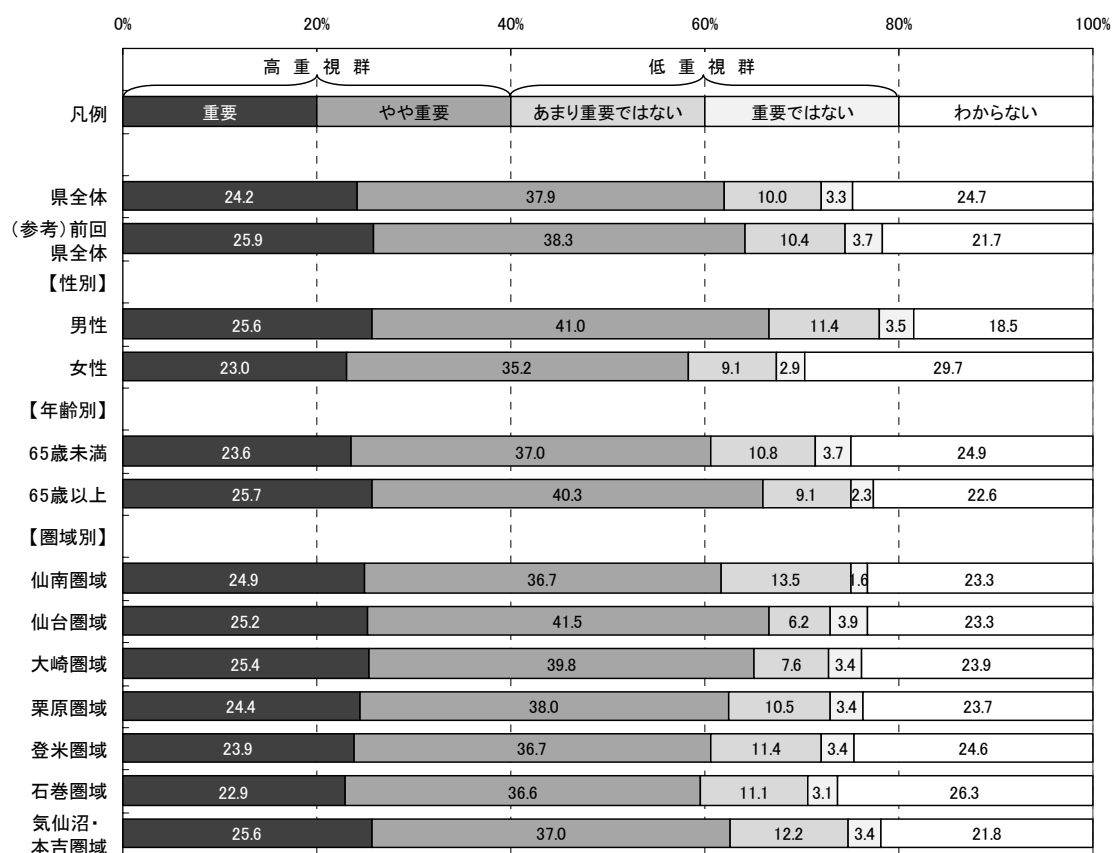


表2-2-10-3 取組10 重視度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		重要	やや重要	あまり重要 ではない	重要では ない	わからない			
県全体	度数	460	721	190	62	471	1,904	149	2,053
	パーセント	24.2	37.9	10.0	3.3	24.7	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	32.1	50.3	13.3	4.3		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	464	687	186	67	390	1,794	150	1,944
	パーセント	25.9	38.3	10.4	3.7	21.7	100.0		
【性別】									
男性	度数	227	363	101	31	164	886	63	949
	パーセント	25.6	41.0	11.4	3.5	18.5	100.0		
女性	度数	221	338	87	28	285	959	72	1,031
	パーセント	23.0	35.2	9.1	2.9	29.7	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	290	456	133	46	306	1,231	66	1,297
	パーセント	23.6	37.0	10.8	3.7	24.9	100.0		
65歳以上	度数	156	244	55	14	137	606	67	673
	パーセント	25.7	40.3	9.1	2.3	22.6	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	61	90	33	4	57	245	5	250
	パーセント	24.9	36.7	13.5	1.6	23.3	100.0		
仙台圏域	度数	65	107	16	10	60	258	18	276
	パーセント	25.2	41.5	6.2	3.9	23.3	100.0		
大崎圏域	度数	67	105	20	9	63	264	23	287
	パーセント	25.4	39.8	7.6	3.4	23.9	100.0		
栗原圏域	度数	65	101	28	9	63	266	21	287
	パーセント	24.4	38.0	10.5	3.4	23.7	100.0		
登米圏域	度数	63	97	30	9	65	264	20	284
	パーセント	23.9	36.7	11.4	3.4	24.6	100.0		
石巻圏域	度数	60	96	29	8	69	262	17	279
	パーセント	22.9	36.6	11.1	3.1	26.3	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	61	88	29	8	52	238	18	256
	パーセント	25.6	37.0	12.2	3.4	21.8	100.0		

【満足度】 (県が行ってきたこの取組について、どのくらい満足しているか)

<概要>

■県全体

「満足」「やや満足」を合わせた『満足群』は34.1%、「やや不満」「不満」を合わせた『不満群』は25.5%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『満足群』が57.2%、『不満群』は42.8%となる。

■性別

男性の『満足群』は35.6%で、県全体より1.5ポイント高い。

女性の『満足群』は32.9%で、県全体より1.2ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『満足群』は30.0%で、県全体より4.1ポイント低い。

65歳以上の『満足群』は43.2%で、県全体より9.1ポイント高い。

■圏域別

栗原圏域の『満足群』は40.1%で、県全体より6.0ポイント高い。

気仙沼・本吉圏域の『満足群』は27.3%で、県全体より6.8ポイント低い。

その他の圏域の『満足群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-10-4 取組10 満足度割合(属性別)

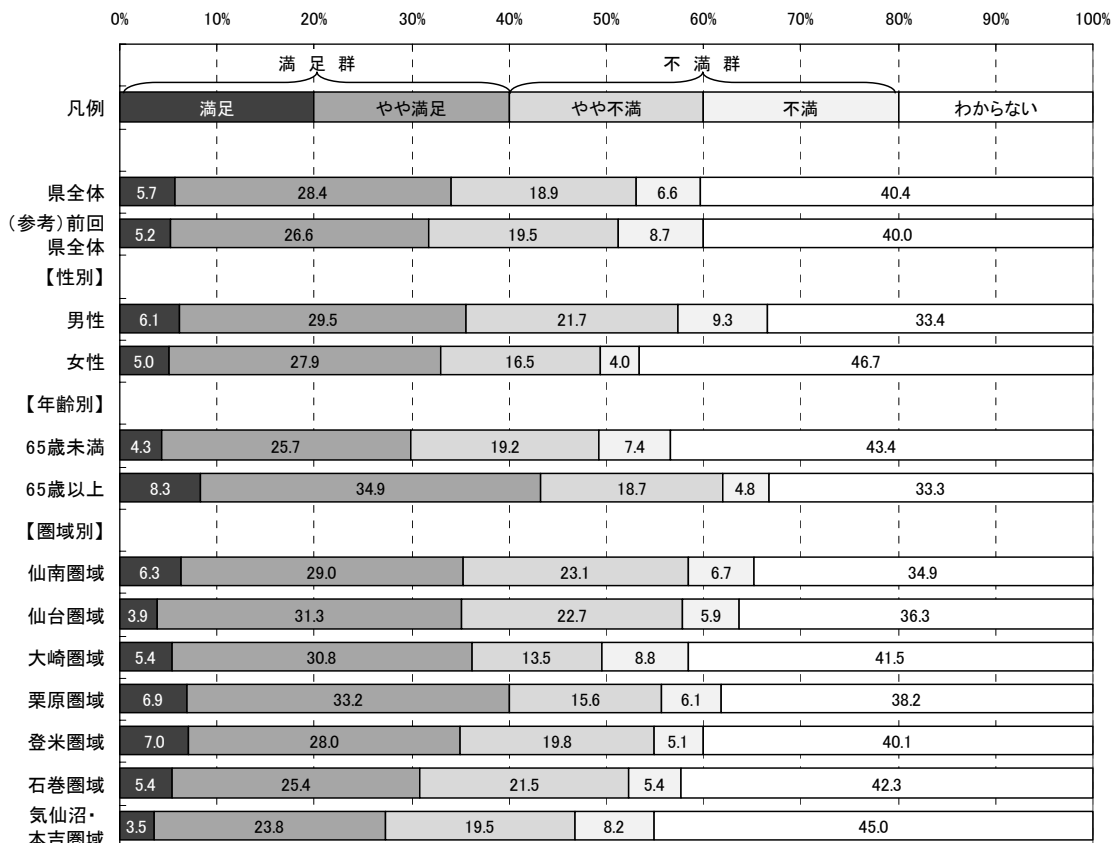


表2-2-10-4 取組10 満足度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない			
県全体	度数	106	531	353	123	754	1,867	186	2,053
	パーセント	5.7	28.4	18.9	6.6	40.4	100.0		
	「わからない」を除くパーセント	9.5	47.7	31.7	11.1		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	91	469	344	154	706	1,764	180	1,944
	パーセント	5.2	26.6	19.5	8.7	40.0	100.0		
【性別】									
男性	度数	53	258	190	81	292	874	75	949
	パーセント	6.1	29.5	21.7	9.3	33.4	100.0		
女性	度数	47	261	154	37	437	936	95	1,031
	パーセント	5.0	27.9	16.5	4.0	46.7	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	52	312	233	90	527	1,214	83	1,297
	パーセント	4.3	25.7	19.2	7.4	43.4	100.0		
65歳以上	度数	49	205	110	28	196	588	85	673
	パーセント	8.3	34.9	18.7	4.8	33.3	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	15	69	55	16	83	238	12	250
	パーセント	6.3	29.0	23.1	6.7	34.9	100.0		
仙台圏域	度数	10	80	58	15	93	256	20	276
	パーセント	3.9	31.3	22.7	5.9	36.3	100.0		
大崎圏域	度数	14	80	35	23	108	260	27	287
	パーセント	5.4	30.8	13.5	8.8	41.5	100.0		
栗原圏域	度数	18	87	41	16	100	262	25	287
	パーセント	6.9	33.2	15.6	6.1	38.2	100.0		
登米圏域	度数	18	72	51	13	103	257	27	284
	パーセント	7.0	28.0	19.8	5.1	40.1	100.0		
石巻圏域	度数	14	66	56	14	110	260	19	279
	パーセント	5.4	25.4	21.5	5.4	42.3	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	8	55	45	19	104	231	25	256
	パーセント	3.5	23.8	19.5	8.2	45.0	100.0		

【特に優先すべきと思う項目】

取組10に関し、目標とする宮城の姿を目指して、県が下記の項目の中で今後特に優先すべきと思う項目について調査した。(複数回答可)

- ア 宮城県の基幹産業である製造業の発展を担うものづくり人材の育成体制づくり
- イ 企業での実習と学校での座学を並行して行うなど、学校と地域企業が一体となった産業人材の育成
- ウ まちづくりと連携した地域の活性化につながる商店街づくりやものづくり産業の競争力強化と県内企業の経営安定化に向けた次代を担う経営者の育成
- エ 社会情勢の変化に対応しながら、次代の農林水産業を担う人材・後継者の育成確保
- オ 県内大学等への留学生をはじめとした高度な専門知識や技術力を持つ外国人の卒業後の県内企業や研究機関への就業促進
- カ 女性の積極的活用に取り組んでいる企業が社会的に評価されるような普及・啓発の推進

(参考:目標とする宮城の姿)

- 新たな事業モデルを立案し、実行できる人材や、新分野に挑戦したり、技術革新を進めたりできる人材が育成されています。
- 職業に関する高い意識や勤労意欲を持つ就労者や学生、起業意欲のある人材が増えています。
- 県内製造業の技術革新を支える人材が確保されています。また、団塊の世代の退職後も、技術が引き継がれています。
- 優秀な留学生が県内企業に就職し、活躍しています。

<概要>

■県全体及び属性別(性別・年齢別・圏域別)の優先順位第1位から第3位までは以下のとおり。

	◆県全体	■性別		■年齢別	
		男性	女性	65歳未満	65歳以上
第1位:	エ	ア	イ	イ	エ
第2位:	ア	エ	エ	ア	ア
第3位:	イ	イ	カ	エ	イ

	■圏域別						
	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
第1位:	イ	ア	ア	エ	エ	エ	エ
第2位:	エ	イ	エ	ア	ア	ア	イ
第3位:	ウ	カ	イ	イ	イ	イ	ア

※属性別の優先順位が県全体と異なる場合、項目記号を網掛けしている。

図2-2-10-5 取組10 特に優先すべきと思う項目回答数(県全体)

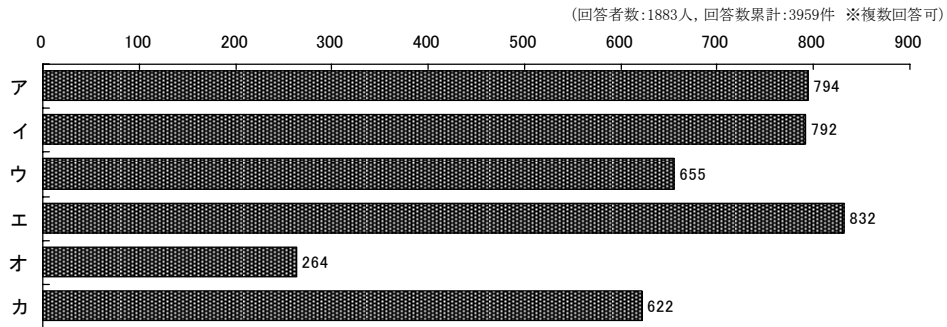
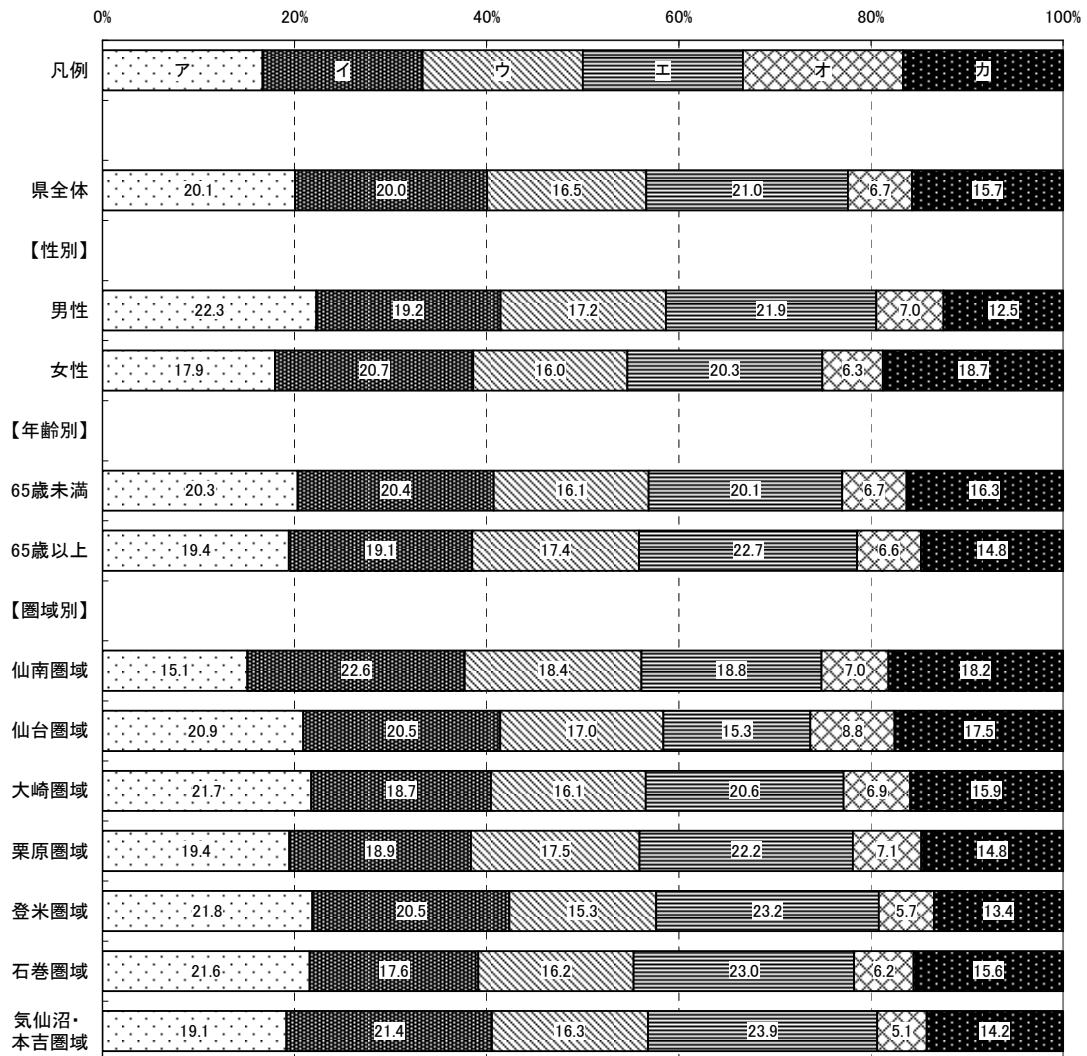


図2-2-10-6 取組10 特に優先すべきと思う項目割合(属性別)



※本図は、回答数累計に占める各項目の回答数の割合を属性別に示したものです。

取組10 「産業活動の基礎となる人材の育成・確保」

取組 1 1 経営力の向上と経営基盤の強化



取組概要

中小企業等の経営力向上や融資制度の充実など多様な資金調達環境の整備に取り組むとともに、農林水産業の生産・販売力強化のための経営支援体制を充実し、社会情勢の変化に的確に対応できる経営体の育成を目指します。

平成22年度の主な取組

○県内の中小企業をサポートする(財)みやぎ産業振興機構を通じて、企業の成長段階に応じ、起業から経営革新、ビジネスプランの作成、取引支援、販路開拓までを一貫して支援しています。

[成果等] 創業や経営革新の支援件数 78 件(平成 22 年 10 月末現在)

○国の景気対応緊急保証制度に呼応したセーフティネット資金をはじめとする経営安定資金や、創業しようとする方を対象とした創業育成資金を含む産業振興資金など、長期低利の県制度資金による県内中小企業への円滑な資金調達・提供により、経営基盤の強化と経営の安定化を支援しています。

○中小企業の経営再生に向けた取組を行っている「中小企業再生支援協議会」に支援を行い、県内中小企業の経営基盤の強化を促進しています。

○集落営農組織が農業の担い手として発展していけるよう、経営計画の作成や新たな作物の導入などを支援しています。

○漁獲量重視の経営から収益性重視の経営へ転換を図るため、漁船漁業構造改革に取り組む漁業者等に対し、省エネ・省人化や水揚物の高付加価値化などに係る支援を行っています。

○積極的に経営基盤や経営体質の強化に取り組む建設業者を支援するため、各種支援講座を開催するとともに、地域のニーズを把握する中で建設業者が中心となり、地域ビジネスを事業化する取組を実施しています。

[成果等] 建設業振興支援講座開催回数 6 回、参加人数 212 人

【認知度】 (県がこの取組を行っていたことについて、どのくらい知っているか)

< 概要 >

■ 県全体

「知っている」「ある程度知っている」を合わせた『高認知群』は24.8%、
「あまり知らない」「知らない」を合わせた『低認知群』は75.2%である。

■ 性別

男性の『高認知群』は30.9%で、県全体より6.1ポイント高い。

女性の『高認知群』は18.9%で、県全体より5.9ポイント低い。

■ 年齢別

65歳未満の『高認知群』は22.3%で、県全体より2.5ポイント低い。

65歳以上の『高認知群』は29.9%で、県全体より5.1ポイント高い。

■ 圏域別

各圏域の『高認知群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-11-1 取組11 認知度割合(属性別)

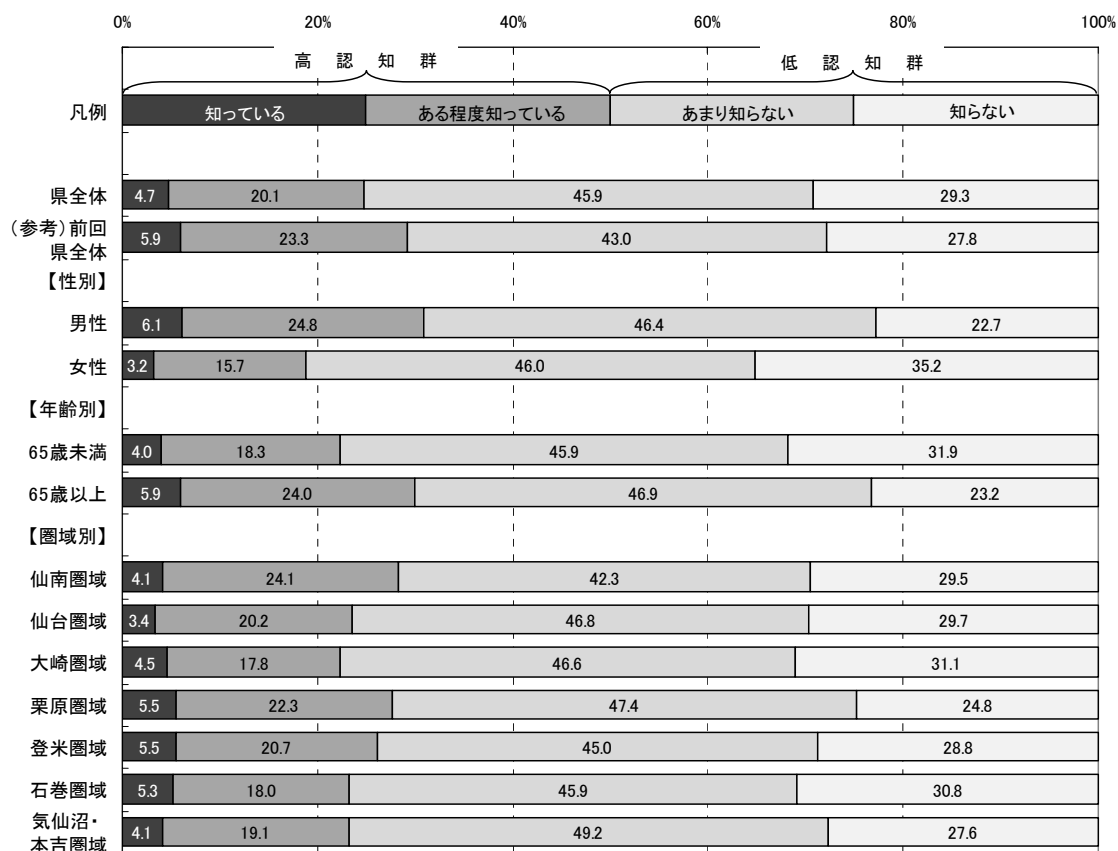


表2-2-11-1 取組11 認知度集計(属性別)

		有 効					欠 損 値	合 計
		知っている	ある程度 知っている	あまり 知らない	知らない	合計		
県全体	度数	91	389	890	567	1,937	116	2,053
	パーセント	4.7	20.1	45.9	29.3	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	110	434	801	517	1,862	82	1,944
	パーセント	5.9	23.3	43.0	27.8	100.0		
【性別】								
男性	度数	55	225	420	206	906	43	949
	パーセント	6.1	24.8	46.4	22.7	100.0		
女性	度数	31	152	446	341	970	61	1,031
	パーセント	3.2	15.7	46.0	35.2	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	50	227	570	396	1,243	54	1,297
	パーセント	4.0	18.3	45.9	31.9	100.0		
65歳以上	度数	37	150	293	145	625	48	673
	パーセント	5.9	24.0	46.9	23.2	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	10	58	102	71	241	9	250
	パーセント	4.1	24.1	42.3	29.5	100.0		
仙台圏域	度数	9	53	123	78	263	13	276
	パーセント	3.4	20.2	46.8	29.7	100.0		
大崎圏域	度数	12	47	123	82	264	23	287
	パーセント	4.5	17.8	46.6	31.1	100.0		
栗原圏域	度数	15	61	130	68	274	13	287
	パーセント	5.5	22.3	47.4	24.8	100.0		
登米圏域	度数	15	56	122	78	271	13	284
	パーセント	5.5	20.7	45.0	28.8	100.0		
石巻圏域	度数	14	48	122	82	266	13	279
	パーセント	5.3	18.0	45.9	30.8	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	10	47	121	68	246	10	256
	パーセント	4.1	19.1	49.2	27.6	100.0		

【関心度】 (県が行ってきたこの取組の内容について、どのくらい関心があるか)

< 概要 >

■ 県全体

「関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた『高関心群』は50.4%、
「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた『低関心群』は49.6%である。

■ 性別

男性の『高関心群』は58.7%で、県全体より8.3ポイント高い。
女性の『高関心群』は42.3%で、県全体より8.1ポイント低い。

■ 年齢別

65歳未満の『高関心群』は47.8%で、県全体より2.6ポイント低い。
65歳以上の『高関心群』は55.7%で、県全体より5.3ポイント高い。

■ 圏域別

各圏域の『高関心群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-11-2 取組11 関心度割合(属性別)

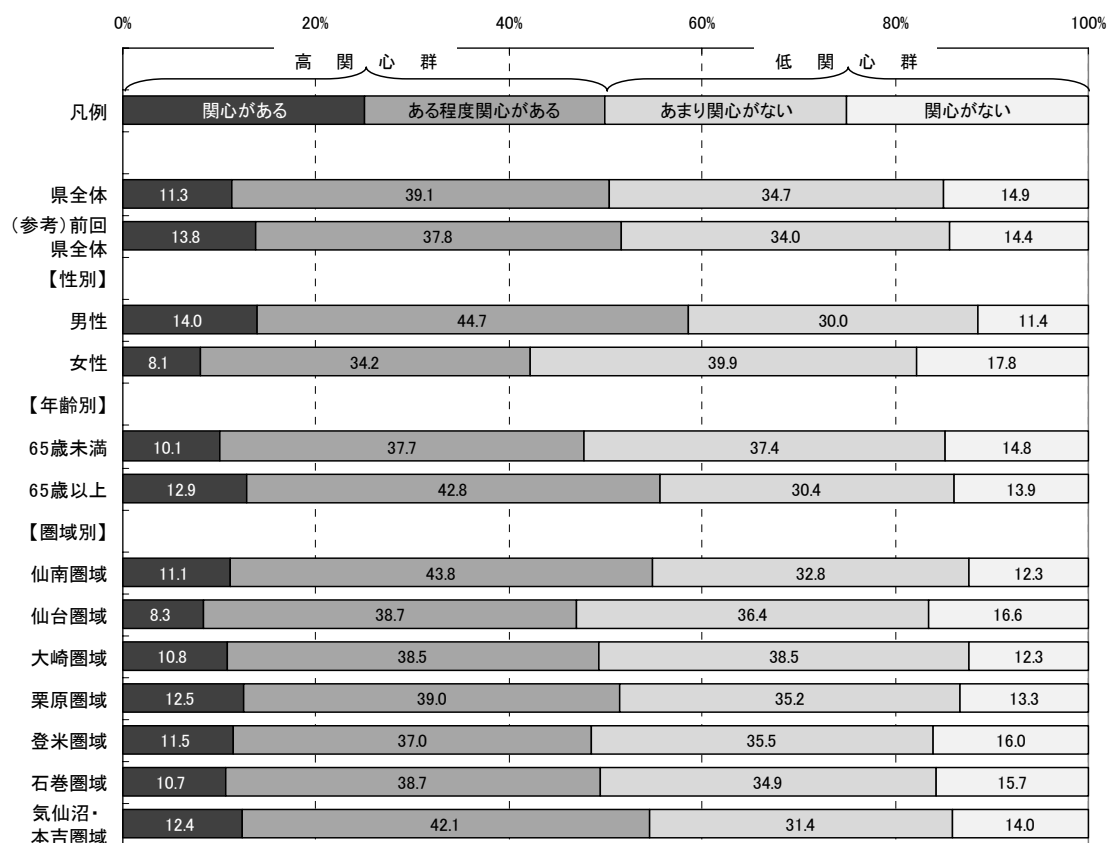


表2-2-11-2 取組11 関心度集計(属性別)

		有 効					欠 損 値	合 計
		関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	関心がない	合計		
県全体	度数	212	737	653	281	1,883	170	2,053
	パーセント	11.3	39.1	34.7	14.9	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	251	686	617	262	1,816	128	1,944
	パーセント	13.8	37.8	34.0	14.4	100.0		
【性別】								
男性	度数	123	393	264	100	880	69	949
	パーセント	14.0	44.7	30.0	11.4	100.0		
女性	度数	76	322	376	168	942	89	1,031
	パーセント	8.1	34.2	39.9	17.8	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	124	462	458	182	1,226	71	1,297
	パーセント	10.1	37.7	37.4	14.8	100.0		
65歳以上	度数	76	252	179	82	589	84	673
	パーセント	12.9	42.8	30.4	13.9	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	26	103	77	29	235	15	250
	パーセント	11.1	43.8	32.8	12.3	100.0		
仙台圏域	度数	21	98	92	42	253	23	276
	パーセント	8.3	38.7	36.4	16.6	100.0		
大崎圏域	度数	28	100	100	32	260	27	287
	パーセント	10.8	38.5	38.5	12.3	100.0		
栗原圏域	度数	33	103	93	35	264	23	287
	パーセント	12.5	39.0	35.2	13.3	100.0		
登米圏域	度数	30	97	93	42	262	22	284
	パーセント	11.5	37.0	35.5	16.0	100.0		
石巻圏域	度数	28	101	91	41	261	18	279
	パーセント	10.7	38.7	34.9	15.7	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	30	102	76	34	242	14	256
	パーセント	12.4	42.1	31.4	14.0	100.0		

【重視度】 (県がこの取組を今後行っていくことが、どのくらい重要と考えるか)

< 概要 >

■ 県全体

「重要」「やや重要」を合わせた『高重視群』は54.1%、「あまり重要ではない」「重要ではない」を合わせた『低重視群』は16.1%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『高重視群』が77.1%、『低重視群』は22.9%となる。

■ 性別

男性の『高重視群』は61.9%で、県全体より7.8ポイント高い。

女性の『高重視群』は46.5%で、県全体より7.6ポイント低い。

■ 年齢別

65歳未満の『高重視群』は53.6%で、県全体より0.5ポイント低い。

65歳以上の『高重視群』は55.2%で、県全体より1.1ポイント高い。

■ 圏域別

仙南圏域の『高重視群』は59.4%で、県全体より5.3ポイント高い。

その他の圏域の『高重視群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-11-3 取組11 重視度割合(属性別)

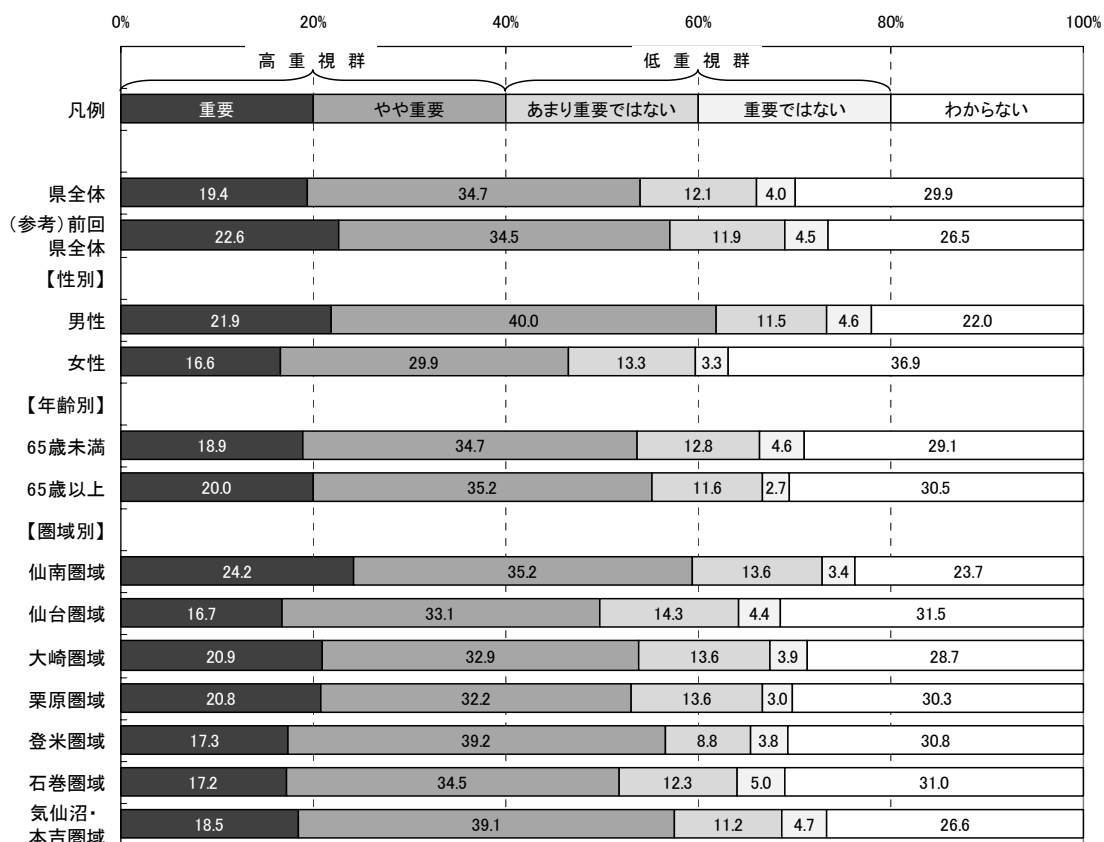


表2-2-11-3 取組11 重視度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		重要	やや重要	あまり重要 ではない	重要では ない	わからない			
県全体	度数	362	648	226	74	560	1,870	183	2,053
	パーセント	19.4	34.7	12.1	4.0	29.9	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	27.6	49.5	17.3	5.6		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	407	622	215	82	477	1,803	141	1,944
	パーセント	22.6	34.5	11.9	4.5	26.5	100.0		
【性別】									
男性	度数	193	353	101	41	194	882	67	949
	パーセント	21.9	40.0	11.5	4.6	22.0	100.0		
女性	度数	154	277	123	31	342	927	104	1,031
	パーセント	16.6	29.9	13.3	3.3	36.9	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	230	421	155	56	353	1,215	82	1,297
	パーセント	18.9	34.7	12.8	4.6	29.1	100.0		
65歳以上	度数	117	206	68	16	179	586	87	673
	パーセント	20.0	35.2	11.6	2.7	30.5	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	57	83	32	8	56	236	14	250
	パーセント	24.2	35.2	13.6	3.4	23.7	100.0		
仙台圏域	度数	42	83	36	11	79	251	25	276
	パーセント	16.7	33.1	14.3	4.4	31.5	100.0		
大崎圏域	度数	54	85	35	10	74	258	29	287
	パーセント	20.9	32.9	13.6	3.9	28.7	100.0		
栗原圏域	度数	55	85	36	8	80	264	23	287
	パーセント	20.8	32.2	13.6	3.0	30.3	100.0		
登米圏域	度数	45	102	23	10	80	260	24	284
	パーセント	17.3	39.2	8.8	3.8	30.8	100.0		
石巻圏域	度数	45	90	32	13	81	261	18	279
	パーセント	17.2	34.5	12.3	5.0	31.0	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	43	91	26	11	62	233	23	256
	パーセント	18.5	39.1	11.2	4.7	26.6	100.0		

【満足度】 (県が行ってきたこの取組について、どのくらい満足しているか)

< 概要 >

■ 県全体

「満足」「やや満足」を合わせた『満足群』は28.4%、「やや不満」「不満」を合わせた『不満群』は27.2%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『満足群』が51.1%、『不満群』は48.9%となる。

■ 性別

男性の『満足群』は32.7%で、県全体より4.3ポイント高い。

女性の『満足群』は24.6%で、県全体より3.8ポイント低い。

■ 年齢別

65歳未満の『満足群』は24.6%で、県全体より3.8ポイント低い。

65歳以上の『満足群』は37.3%で、県全体より8.9ポイント高い。

■ 圏域別

各圏域の『満足群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-11-4 取組11 満足度割合(属性別)

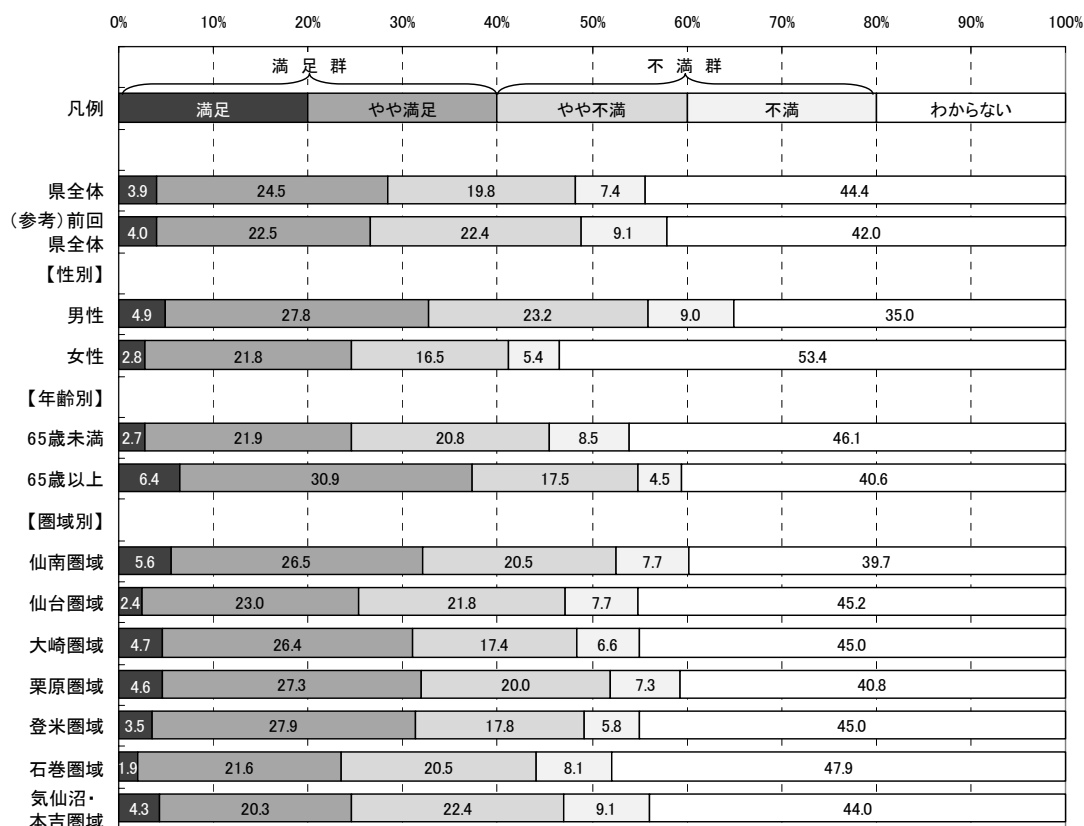


表2-2-11-4 取組11 満足度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない			
県全体	度数	73	453	367	136	821	1,850	203	2,053
	パーセント	3.9	24.5	19.8	7.4	44.4	100.0		
	「わからない」を除くパーセント	7.1	44.0	35.7	13.2		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	72	401	399	162	750	1,784	160	1,944
	パーセント	4.0	22.5	22.4	9.1	42.0	100.0		
【性別】									
男性	度数	43	243	203	79	306	874	75	949
	パーセント	4.9	27.8	23.2	9.0	35.0	100.0		
女性	度数	26	200	152	50	491	919	112	1,031
	パーセント	2.8	21.8	16.5	5.4	53.4	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	33	265	251	103	557	1,209	88	1,297
	パーセント	2.7	21.9	20.8	8.5	46.1	100.0		
65歳以上	度数	37	178	101	26	234	576	97	673
	パーセント	6.4	30.9	17.5	4.5	40.6	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	13	62	48	18	93	234	16	250
	パーセント	5.6	26.5	20.5	7.7	39.7	100.0		
仙台圏域	度数	6	57	54	19	112	248	28	276
	パーセント	2.4	23.0	21.8	7.7	45.2	100.0		
大崎圏域	度数	12	68	45	17	116	258	29	287
	パーセント	4.7	26.4	17.4	6.6	45.0	100.0		
栗原圏域	度数	12	71	52	19	106	260	27	287
	パーセント	4.6	27.3	20.0	7.3	40.8	100.0		
登米圏域	度数	9	72	46	15	116	258	26	284
	パーセント	3.5	27.9	17.8	5.8	45.0	100.0		
石巻圏域	度数	5	56	53	21	124	259	20	279
	パーセント	1.9	21.6	20.5	8.1	47.9	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	10	47	52	21	102	232	24	256
	パーセント	4.3	20.3	22.4	9.1	44.0	100.0		

【特に優先すべきと思う項目】

取組 1 1 に関し、目標とする宮城の姿を目指して、県が下記の項目の中で今後特に優先すべきと思う項目について調査した。(複数回答可)

- ア 社会情勢に的確に対応できる経営体の育成のため、商工会議所、農業協同組合など産業ごとの関連団体と連携して行う情報提供や相談機能強化
- イ 起業家の育成や事業計画の作成支援など、産業支援機関等と連携したさまざまな経営支援体制の充実と新たな支援ニーズに対応した支援策の拡充
- ウ 自動車関連産業や食品関連産業など、成長が見込まれ経済の中核をなす業種を、重点的に支援し、景気変動に対し安定的に資金調達が可能となる制度融資の充実
- エ ファンドや証券化の手法を活用した資金供給、企業の成長性を評価する融資制度づくりなど、中小企業にとっても利用しやすいさまざまな資金調達手段の整備
- オ 認定農業者などの経営安定化や集落営農の組織化、漁船漁業の構造改革に向けた取組等の支援による農林水産業の経営体質の強化

(参考: 目標とする宮城の姿)

- 優れた経営能力を持つ経営者が増え、時代の変化を先取りすることで高い収益を上げる農業者や企業が増えています。
- ベンチャー企業や新しい市場に積極的に進出する企業が増えています。
- 企業の成長段階に応じてさまざまな資金調達ができる環境が整い、活発な企業活動が行われています。

<概要>

■県全体及び属性別（性別・年齢別・圏域別）の優先順位第1位から第3位までは以下のとおり。

	◆県全体	■性別		■年齢別	
		男性	女性	65歳未満	65歳以上
第1位:	オ	オ	ア	オ	オ
第2位:	ア	ア	オ	ア	ア
第3位:	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ

	■圏域別						
	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
第1位:	ア	ア	オ	オ	ア	オ	オ
第2位:	オ	オ	ア	ア	オ	ア	ア
第3位:	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ

※属性別の優先順位が県全体と異なる場合、項目記号を網掛けしている。

図2-2-11-5 取組11 特に優先すべきと思う項目回答数(県全体)

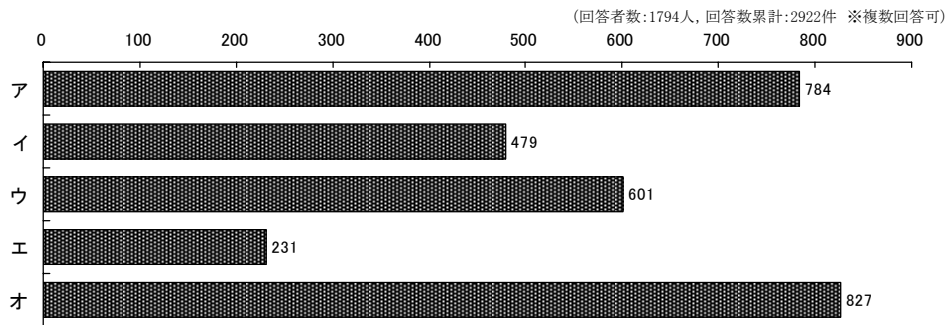
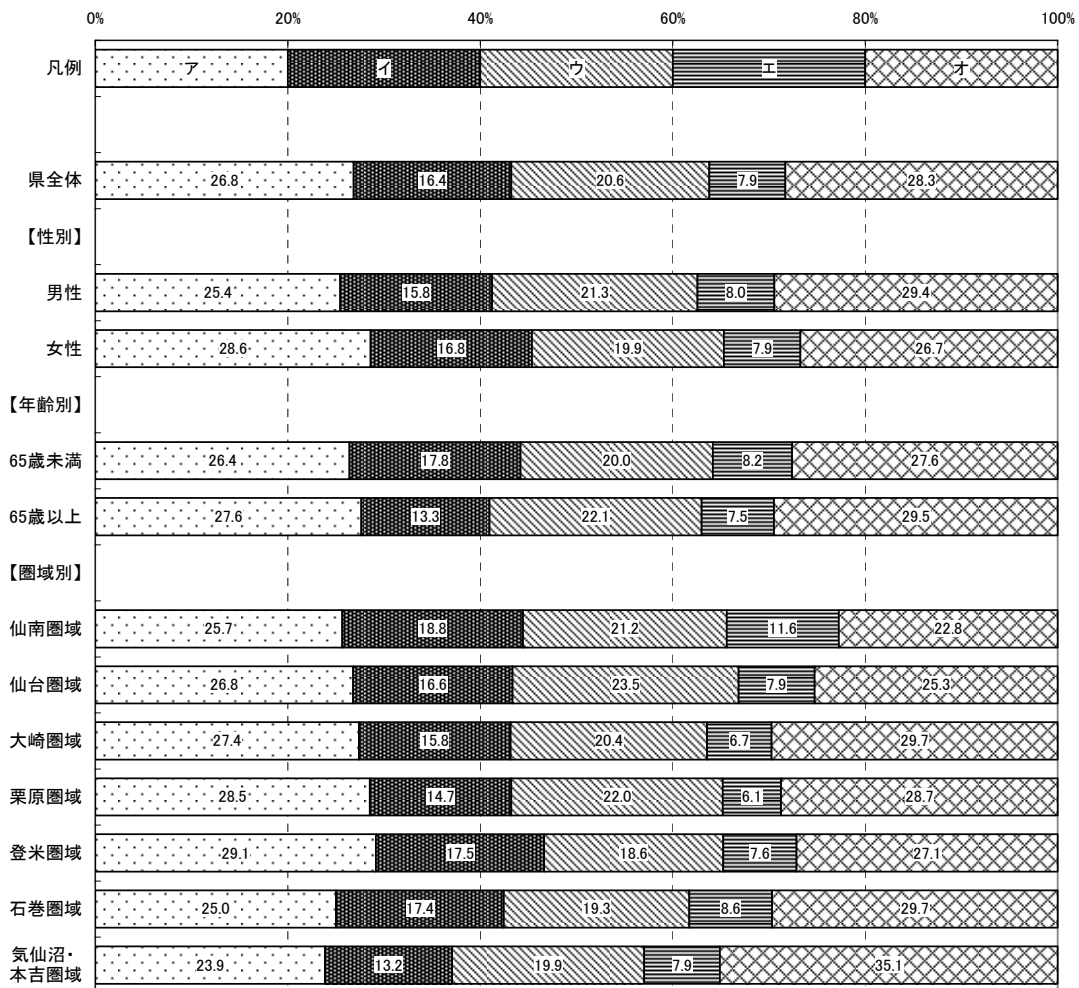


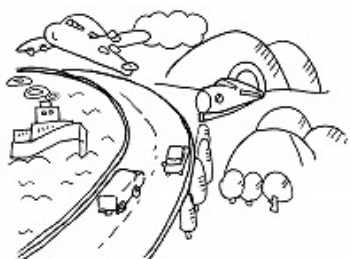
図2-2-11-6 取組11 特に優先すべきと思う項目割合(属性別)



※ 本図は、回答数累計に占める各項目の回答数の割合を属性別に示したものです。

取組 1 1 「経営力の向上と経営基盤の強化」

取組 1 2 宮城の飛躍を支える産業基盤の整備



取組概要

県内産業の飛躍のためには、その基盤となる交通・物流基盤の整備が不可欠です。そのため、空港・港湾の機能強化を進めるとともに、それらの活用促進を目指します。また、県内外の連携や交流促進のため高規格幹線道路をはじめとする広域道路ネットワークの整備を目指します。

平成 22 年度の主な取組

- 地域間の活発な交流を支える高速交通を確保するため、高規格幹線道路ネットワークの整備を促進しています。
[成果等] 仙台北部道路と三陸縦貫自動車道を接続する利府JCTのフル化完成。東北縦貫自動車道に大衡IC完成。
- 年々増加する仙台国際貿易港のコンテナ貨物取扱量に対応するため、高砂コンテナターミナルの施設整備を実施しています。また、第二仙台北部中核工業団地への自動車組立工場の立地に伴う自動車関連貨物量に対応するため、雷神ふ頭の施設整備を実施しています。
[成果等] 仙台塩釜港(仙台港区) 平成 22 年上半期 入港船舶数 3,067 隻 取扱貨物量 16 百万フレートン
- 石巻港雲雀野地区の船舶接岸の安全性を向上させるため、南防波堤と西防波堤の整備を進めています。
[成果等] 石巻港 平成 22 年上半期 入港船舶数 2,510 隻 取扱貨物量 2 百万フレートン
- 仙台国際貿易港のゲートウェイ機能(東北地方と世界各国を結ぶ物流の結節点としての機能)と仙台東部道路等の交通網を生かし、東北の産業経済拠点としての機能を強化するため、仙台港背後地に商業・流通業務地区等を整備しています。
[成果等] アウトレットモールを中心とする商業施設開業(平成 22 年 10 月)
- 増便(グアム・台北便)や再開(香港便)した路線の周知を図るとともに、仙台空港の就航路線の更なる充実に向けた各種PR活動や新規路線の開設を目指した航空会社等に対する誘致活動を行っています。
[成果等] 仙台空港定期路線 国内線 8 路線, 国際線 6 路線(平成 22 年 10 月現在)

【認知度】 (県がこの取組を行っていたことについて、どのくらい知っているか)

< 概要 >

■ 県全体

「知っている」「ある程度知っている」を合わせた『高認知群』は56.3%、
「あまり知らない」「知らない」を合わせた『低認知群』は43.7%である。

■ 性別

男性の『高認知群』は67.5%で、県全体より11.2ポイント高い。

女性の『高認知群』は46.5%で、県全体より9.8ポイント低い。

■ 年齢別

65歳未満の『高認知群』は55.3%で、県全体より1.0ポイント低い。

65歳以上の『高認知群』は59.7%で、県全体より3.4ポイント高い。

■ 圏域別

仙南圏域の『高認知群』は66.1%で、県全体より9.8ポイント高い。

仙台圏域の『高認知群』は48.7%で、県全体より7.6ポイント低い。

その他の圏域の『高認知群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-12-1 取組12 認知度割合(属性別)

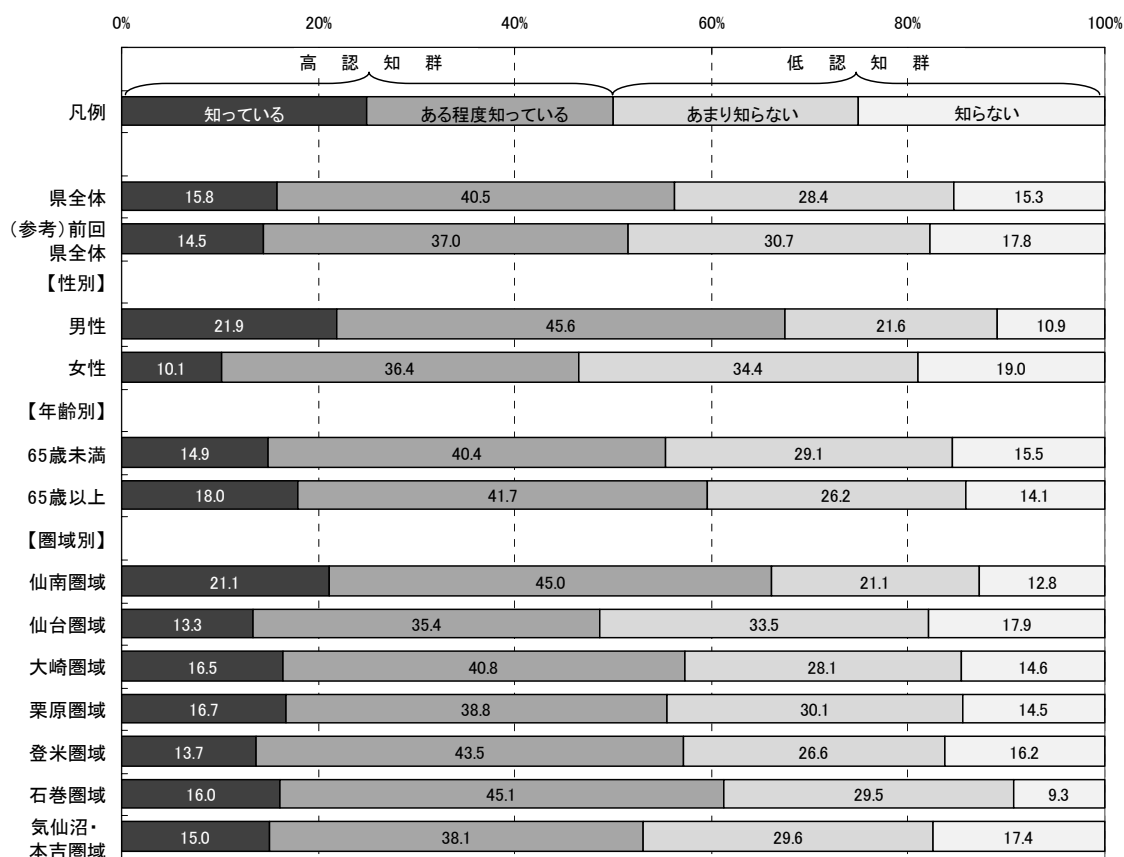


表2-2-12-1 取組12 認知度集計(属性別)

		有 効				合計	欠 損 値	合 計
		知っている	ある程度 知っている	あまり 知らない	知らない			
県全体	度数	307	789	553	298	1,947	106	2,053
	パーセント	15.8	40.5	28.4	15.3	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	272	693	576	334	1,875	69	1,944
	パーセント	14.5	37.0	30.7	17.8	100.0		
【性別】								
男性	度数	199	415	197	99	910	39	949
	パーセント	21.9	45.6	21.6	10.9	100.0		
女性	度数	99	356	336	186	977	54	1,031
	パーセント	10.1	36.4	34.4	19.0	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	186	505	364	194	1,249	48	1,297
	パーセント	14.9	40.4	29.1	15.5	100.0		
65歳以上	度数	113	262	165	89	629	44	673
	パーセント	18.0	41.7	26.2	14.1	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	51	109	51	31	242	8	250
	パーセント	21.1	45.0	21.1	12.8	100.0		
仙台圏域	度数	35	93	88	47	263	13	276
	パーセント	13.3	35.4	33.5	17.9	100.0		
大崎圏域	度数	44	109	75	39	267	20	287
	パーセント	16.5	40.8	28.1	14.6	100.0		
栗原圏域	度数	46	107	83	40	276	11	287
	パーセント	16.7	38.8	30.1	14.5	100.0		
登米圏域	度数	37	118	72	44	271	13	284
	パーセント	13.7	43.5	26.6	16.2	100.0		
石巻圏域	度数	43	121	79	25	268	11	279
	パーセント	16.0	45.1	29.5	9.3	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	37	94	73	43	247	9	256
	パーセント	15.0	38.1	29.6	17.4	100.0		

【関心度】 (県が行ってきたこの取組の内容について、どのくらい関心があるか)

<概要>

■県全体

「関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた『高関心群』は65.6%、
「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた『低関心群』は34.3%である。

■性別

男性の『高関心群』は75.5%で、県全体より9.9ポイント高い。

女性の『高関心群』は56.9%で、県全体より8.7ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『高関心群』は65.1%で、県全体より0.5ポイント低い。

65歳以上の『高関心群』は67.9%で、県全体より2.3ポイント高い。

■圏域別

仙南圏域の『高関心群』は71.7%で、県全体より6.1ポイント高い。

仙台圏域の『高関心群』は60.5%で、県全体より5.1ポイント低い。

その他の圏域の『高関心群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-12-2 取組12 関心度割合(属性別)

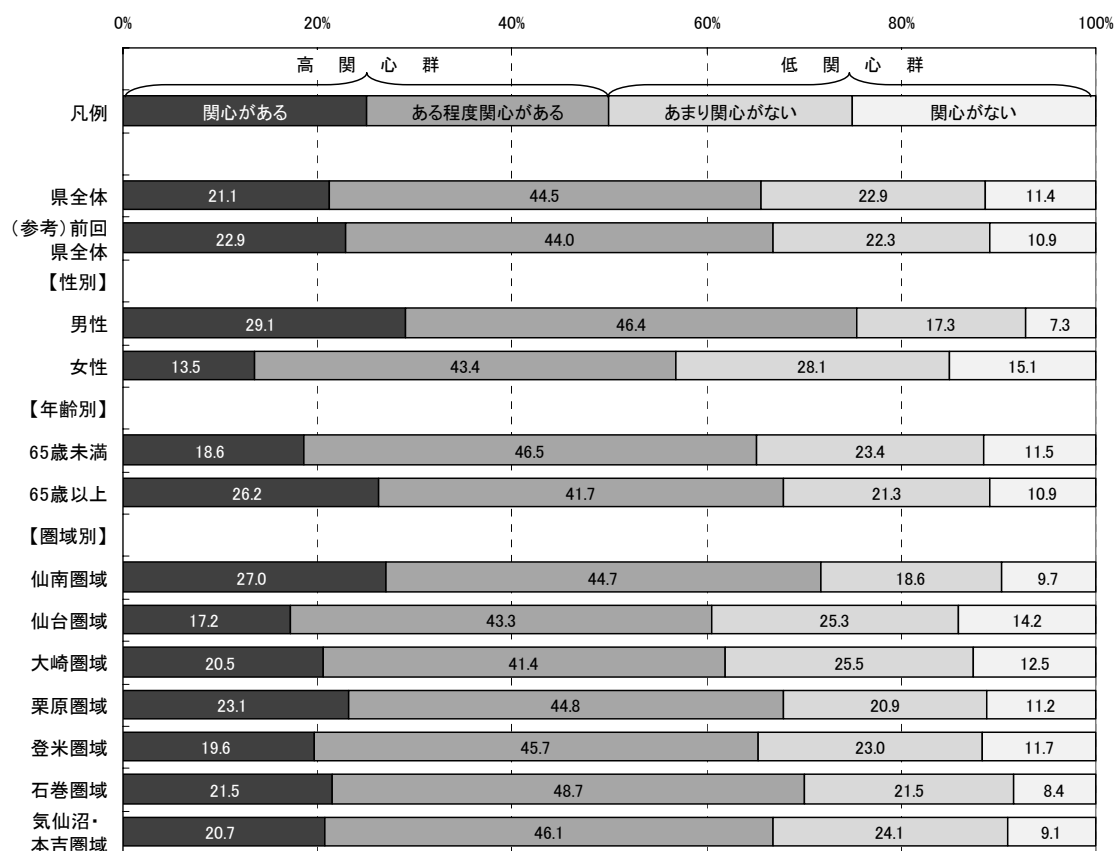


表2-2-12-2 取組12 関心度集計(属性別)

		有 効				合計	欠 損 値	合 計
		関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	関心がない			
県全体	度数	402	847	436	217	1,902	151	2,053
	パーセント	21.1	44.5	22.9	11.4	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	415	797	404	197	1,813	131	1,944
	パーセント	22.9	44.0	22.3	10.9	100.0		
【性別】								
男性	度数	259	413	154	65	891	58	949
	パーセント	29.1	46.4	17.3	7.3	100.0		
女性	度数	129	414	268	144	955	76	1,031
	パーセント	13.5	43.4	28.1	15.1	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	229	572	288	141	1,230	67	1,297
	パーセント	18.6	46.5	23.4	11.5	100.0		
65歳以上	度数	159	253	129	66	607	66	673
	パーセント	26.2	41.7	21.3	10.9	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	64	106	44	23	237	13	250
	パーセント	27.0	44.7	18.6	9.7	100.0		
仙台圏域	度数	45	113	66	37	261	15	276
	パーセント	17.2	43.3	25.3	14.2	100.0		
大崎圏域	度数	54	109	67	33	263	24	287
	パーセント	20.5	41.4	25.5	12.5	100.0		
栗原圏域	度数	62	120	56	30	268	19	287
	パーセント	23.1	44.8	20.9	11.2	100.0		
登米圏域	度数	52	121	61	31	265	19	284
	パーセント	19.6	45.7	23.0	11.7	100.0		
石巻圏域	度数	56	127	56	22	261	18	279
	パーセント	21.5	48.7	21.5	8.4	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	50	111	58	22	241	15	256
	パーセント	20.7	46.1	24.1	9.1	100.0		

【重視度】 (県がこの取組を今後行っていくことが、どのくらい重要と考えるか)

<概要>

■県全体

「重要」「やや重要」を合わせた『高重視群』は66.5%、「あまり重要ではない」「重要ではない」を合わせた『低重視群』は13.5%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『高重視群』が83.0%、『低重視群』は17.0%となる。

■性別

男性の『高重視群』は75.5%で、県全体より9.0ポイント高い。

女性の『高重視群』は58.9%で、県全体より7.6ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『高重視群』は65.8%で、県全体より0.7ポイント低い。

65歳以上の『高重視群』は69.6%で、県全体より3.1ポイント高い。

■圏域別

仙南圏域の『高重視群』は73.4%で、県全体より6.9ポイント高い。

その他の圏域の『高重視群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-12-3 取組12 重視度割合(属性別)

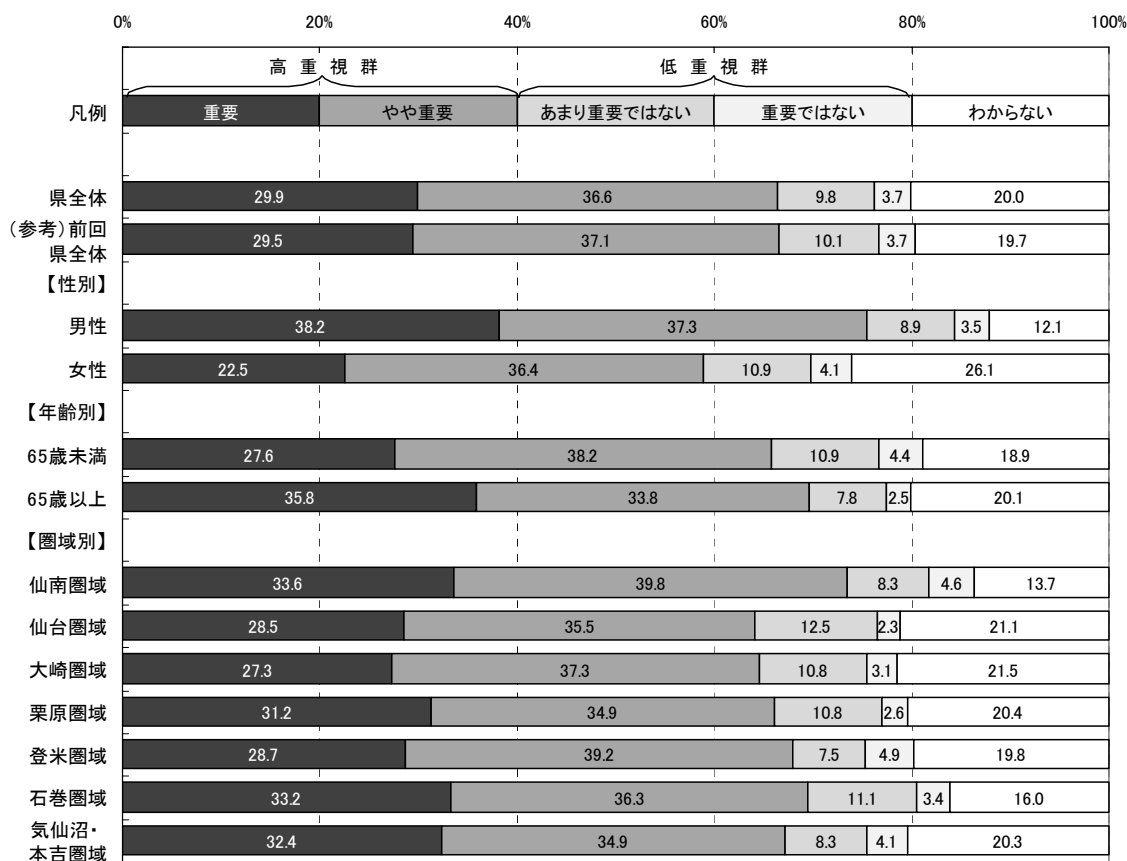


表2-2-12-3 取組12 重視度集計(属性別)

		有 効						欠 損 値	合 計
		重要	やや重要	あまり重要 ではない	重要では ない	わからない	合計		
県全体	度数	569	697	187	71	382	1,906	147	2,053
	パーセント	29.9	36.6	9.8	3.7	20.0	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	37.3	45.7	12.3	4.7		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	538	677	185	67	359	1,826	118	1,944
	パーセント	29.5	37.1	10.1	3.7	19.7	100.0		
【性別】									
男性	度数	345	336	80	32	109	902	47	949
	パーセント	38.2	37.3	8.9	3.5	12.1	100.0		
女性	度数	213	344	103	39	247	946	85	1,031
	パーセント	22.5	36.4	10.9	4.1	26.1	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	341	472	135	54	233	1,235	62	1,297
	パーセント	27.6	38.2	10.9	4.4	18.9	100.0		
65歳以上	度数	216	204	47	15	121	603	70	673
	パーセント	35.8	33.8	7.8	2.5	20.1	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	81	96	20	11	33	241	9	250
	パーセント	33.6	39.8	8.3	4.6	13.7	100.0		
仙台圏域	度数	73	91	32	6	54	256	20	276
	パーセント	28.5	35.5	12.5	2.3	21.1	100.0		
大崎圏域	度数	71	97	28	8	56	260	27	287
	パーセント	27.3	37.3	10.8	3.1	21.5	100.0		
栗原圏域	度数	84	94	29	7	55	269	18	287
	パーセント	31.2	34.9	10.8	2.6	20.4	100.0		
登米圏域	度数	77	105	20	13	53	268	16	284
	パーセント	28.7	39.2	7.5	4.9	19.8	100.0		
石巻圏域	度数	87	95	29	9	42	262	17	279
	パーセント	33.2	36.3	11.1	3.4	16.0	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	78	84	20	10	49	241	15	256
	パーセント	32.4	34.9	8.3	4.1	20.3	100.0		

【満足度】 (県が行ってきたこの取組について、どのくらい満足しているか)

< 概要 >

■ 県全体

「満足」「やや満足」を合わせた『満足群』は48.7%、「やや不満」「不満」を合わせた『不満群』は20.3%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『満足群』が70.6%、『不満群』は29.4%となる。

■ 性別

男性の『満足群』は57.8%で、県全体より9.1ポイント高い。

女性の『満足群』は40.6%で、県全体より8.1ポイント低い。

■ 年齢別

65歳未満の『満足群』は45.1%で、県全体より3.6ポイント低い。

65歳以上の『満足群』は57.8%で、県全体より9.1ポイント高い。

■ 圏域別

仙南圏域の『満足群』は56.7%で、県全体より8.0ポイント高い。

登米圏域の『満足群』は54.0%で、県全体より5.3ポイント高い。

気仙沼・本吉圏域の『満足群』は38.2%で、県全体より10.5ポイント低い。

その他の圏域の『満足群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-12-4 取組12 満足度割合(属性別)

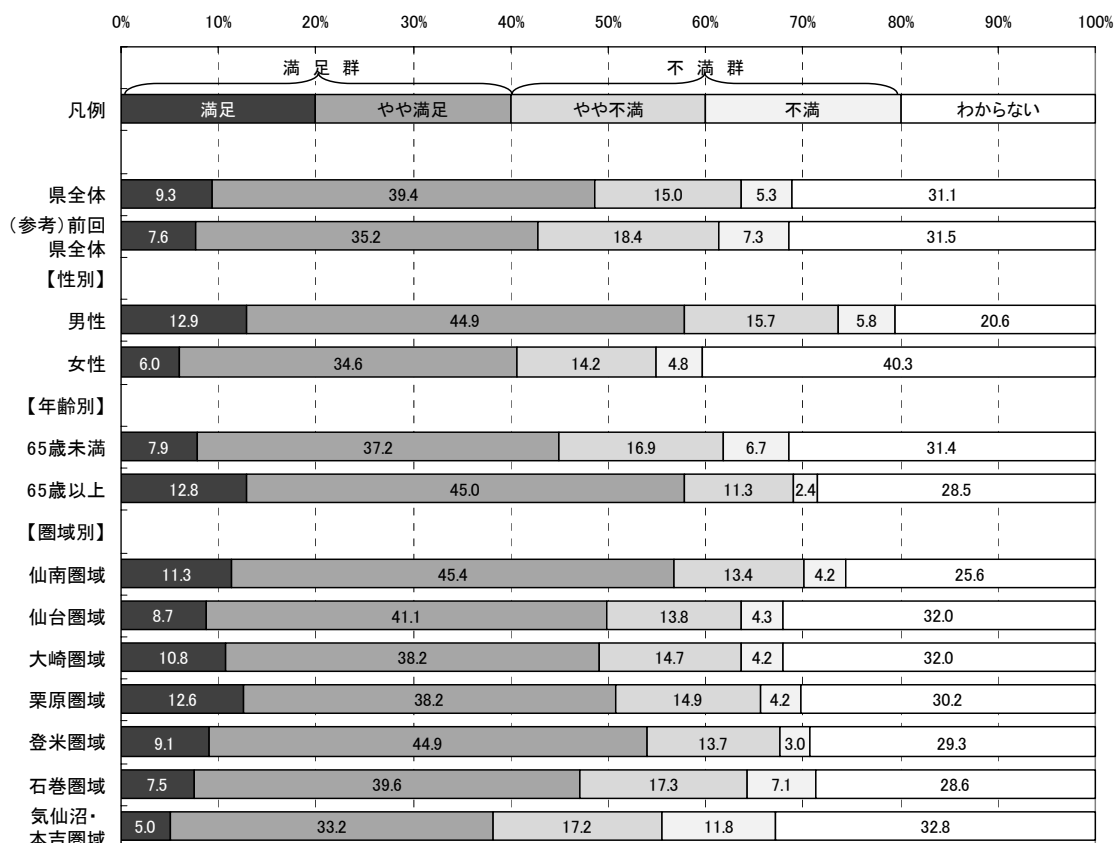


表2-2-12-4 取組12 満足度集計(属性別)

		有 効						欠 損 値	合 計
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	合計		
県全体	度数	174	737	280	99	582	1,872	181	2,053
	パーセント	9.3	39.4	15.0	5.3	31.1	100.0		
	「わからない」を除くパーセント	13.5	57.1	21.7	7.7		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	138	636	333	131	568	1,806	138	1,944
	パーセント	7.6	35.2	18.4	7.3	31.5	100.0		
【性別】									
男性	度数	115	399	140	52	183	889	60	949
	パーセント	12.9	44.9	15.7	5.8	20.6	100.0		
女性	度数	56	321	132	45	374	928	103	1,031
	パーセント	6.0	34.6	14.2	4.8	40.3	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	96	454	206	82	384	1,222	75	1,297
	パーセント	7.9	37.2	16.9	6.7	31.4	100.0		
65歳以上	度数	75	263	66	14	167	585	88	673
	パーセント	12.8	45.0	11.3	2.4	28.5	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	27	108	32	10	61	238	12	250
	パーセント	11.3	45.4	13.4	4.2	25.6	100.0		
仙台圏域	度数	22	104	35	11	81	253	23	276
	パーセント	8.7	41.1	13.8	4.3	32.0	100.0		
大崎圏域	度数	28	99	38	11	83	259	28	287
	パーセント	10.8	38.2	14.7	4.2	32.0	100.0		
栗原圏域	度数	33	100	39	11	79	262	25	287
	パーセント	12.6	38.2	14.9	4.2	30.2	100.0		
登米圏域	度数	24	118	36	8	77	263	21	284
	パーセント	9.1	44.9	13.7	3.0	29.3	100.0		
石巻圏域	度数	19	101	44	18	73	255	24	279
	パーセント	7.5	39.6	17.3	7.1	28.6	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	12	79	41	28	78	238	18	256
	パーセント	5.0	33.2	17.2	11.8	32.8	100.0		

【特に優先すべきと思う項目】

取組 1 2 に関し、目標とする宮城の姿を目指して、県が下記の項目の中で今後特に優先すべきと思う項目について調査した。(複数回答可)

- ア 貨物量の増加や船舶の大型化に対応した岸壁やふ頭用地の造成など、港湾機能拡充のための施設整備
- イ 港湾貨物の需要開拓及び新規航路開設に向けた誘致活動(ポートセールス)の強化
- ウ 港周辺地域の貿易関連機能や流通・工業機能の強化に向けた仙台港背後地の保留地販売の促進
- エ 仙台空港の航空路線の維持・増便と新規路線の開設に向けた誘致活動(エアポートセールス)の強化
- オ 仙台空港アクセス鉄道沿線の臨空都市整備など、産業経済拠点づくりに向けた流通・商業機能の整備促進
- カ 三陸縦貫自動車道など高速道路網及び広域ネットワークづくりに向けた道路網の整備促進

(参考: 目標とする宮城の姿)

- 仙台塩釜港とその周辺地域は、東北地方の経済成長や国際競争力を支える国際物流拠点に発展しています。
- 石巻港は、県北部地域の経済を支える拠点として重要な役割を果たしています。
- 仙台空港は、東北地方の空の玄関として国内外からの利用者が増加し、周辺地域には、空港に関連したサービスを行う企業などが集まっています。
- 物流・交流などの広域的な結び付きを強めるための道路網ができ、県内各地域間の移動に掛かる時間が短くなっています。

<概要>

■県全体及び属性別(性別・年齢別・圏域別)の優先順位第1位から第3位までは以下のとおり。

	◆県全体	■性別		■年齢別		
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	
第1位:	カ	カ	カ	カ	カ	
第2位:	ア	ア	オ	ア	ア	
第3位:	エオ	エ	ア	オ	エ	

	■圏域別						
	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
第1位:	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ
第2位:	ア	ア	ア	ア	ア	ア	ア
第3位:	エ	エ	オ	エ	エ	イ	オ

※属性別の優先順位が県全体と異なる場合、項目記号を網掛けしている。

図2-2-12-5 取組12 特に優先すべきと思う項目回答数(県全体)

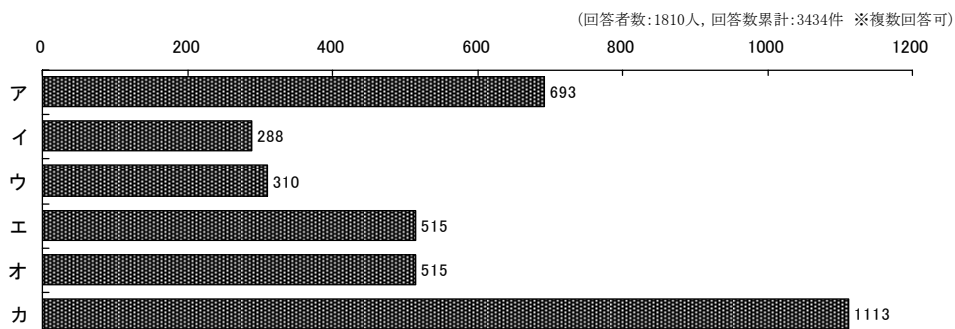
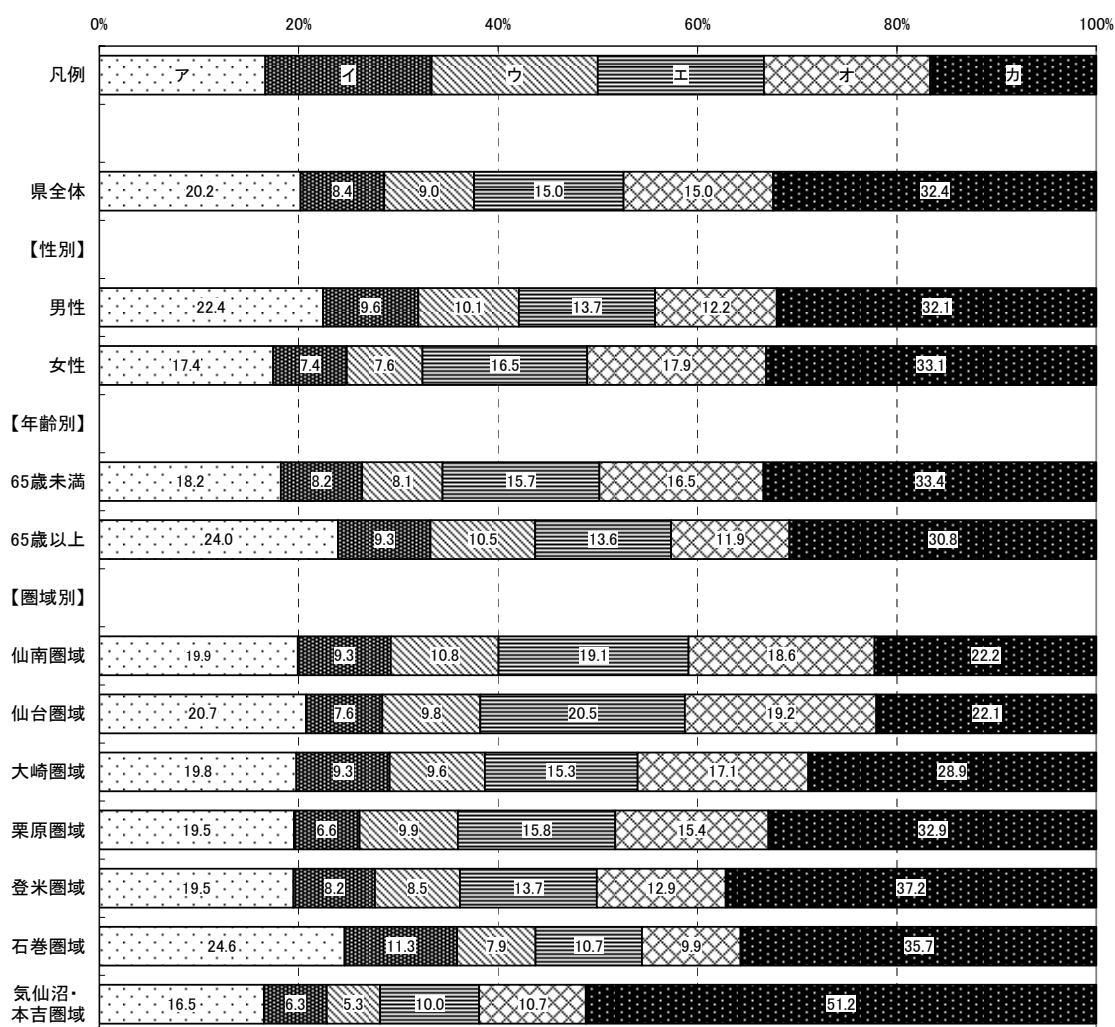


図2-2-12-6 取組12 特に優先すべきと思う項目割合(属性別)



※本図は、回答数累計に占める各項目の回答数の割合を属性別に示したものです。

